

平成 27 年度
内部評価結果報告書
(平成 26 年度実施事業評価)

平成 27 年 10 月

狛江市

目 次

1. 実施の目的 ―「行政評価」とは――	1
2. 評価対象	2
3. 評価の流れ	2
4. 後期基本計画の施策体系	3
5. 各分野ごとの評価結果	6
6. 各事業の評価（表の見方）	8

重点プロジェクト

I まちづくり推進プロジェクト	10
II 安心して安全なまちづくりプロジェクト	17
III 子ども・子育て支援プロジェクト	24
IV いたわりのあるまちづくりプロジェクト	31
V にぎわいのまち「粕江」プロジェクト	41

個別施策

【I 都市基盤】

i まちづくり	50
ii 交通	53

【II 市民生活】

i 市民交流	57
ii 市民文化	59
iii 地域振興	61
iv 生涯学習	68
v 防災・防犯	75
vi 平和・人権	82

【III 子ども】

i 子育て	84
ii 青少年	91
iii 学校教育	94

【Ⅳ 福祉・健康】

i	地域福祉	102
ii	高齢者福祉	109
iii	障がい者福祉	117
iv	生活福祉	127
v	保健・医療	129

【Ⅴ 環境】

i	自然環境	137
ii	循環型社会	143
iii	環境保全	146

7.	指標の検証	151
----	-------	-----

【参考】	後期基本計画に掲げる指標・現状値一覧	160
------	--------------------	-----

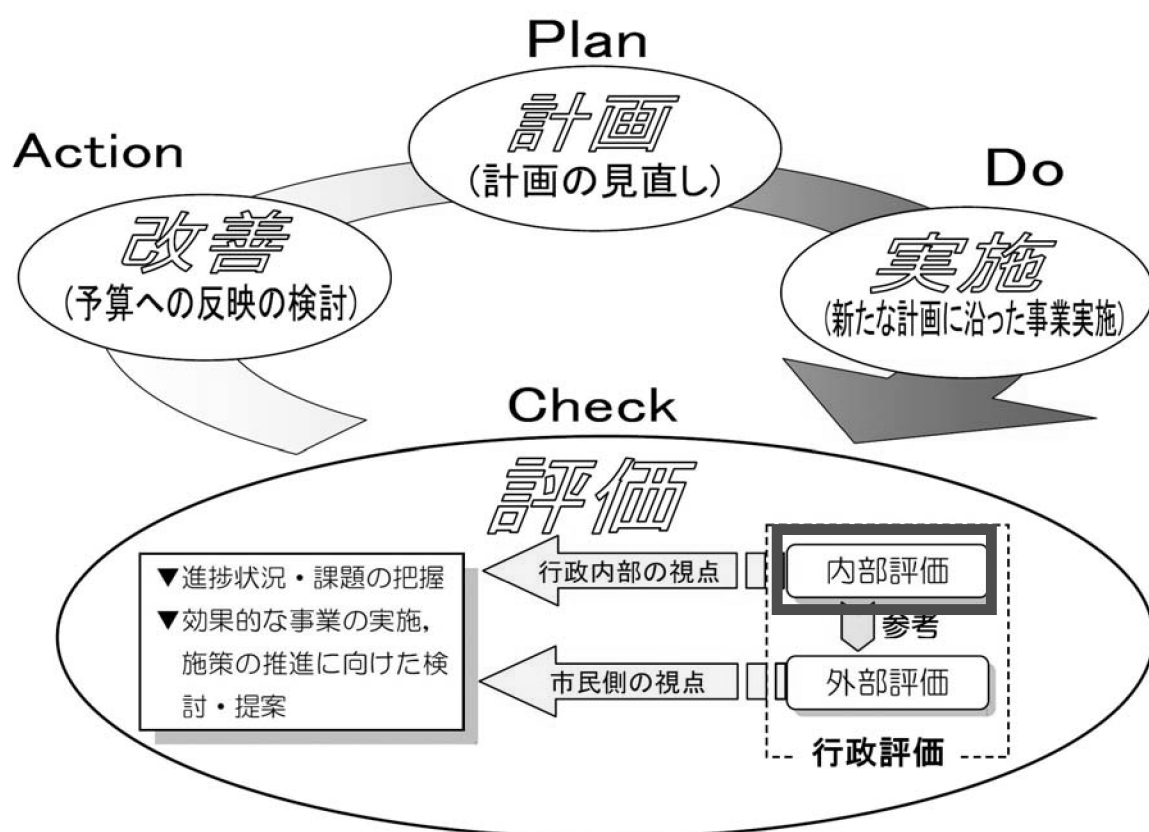
1. 実施の目的 ―「行政評価」とは―

狛江市では、将来都市像「私たちがつくる水と緑のまち（狛江市第3次基本構想）」の実現に向けて、市が取り組む施策の方向性を定めた「狛江市後期基本計画（以下「後期基本計画」といいます。）」を策定しています。

計画を円滑に推進するためには、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）というサイクルに沿った行政活動を行う必要がありますが、このうち、評価（Check）の部分を担当する取り組みが「行政評価」となります。

行政評価は、前年度に実施した行政活動を振り返り、その進捗状況や課題等を整理・評価したうえで、結果を以後の政策形成の参考とすることにより、より効果的・効率的な展開を図ることを目的とします。

狛江市が実施している行政評価は、「内部評価」と「外部評価」の2種類があり、今回実施した「内部評価」は、行政が自ら実施した取り組みを対象として行うものとなります。



2. 評価対象

評価対象事業については、後期基本計画の施策に該当するものであれば、政策的経費、経常的経費、予算事業といった枠を超えて評価の対象としており、今年度は 315（うち、重点プロジェクト※に関連する事業は 132、同事業が複数の施策に関連する場合は重複分を含む。）の事業の評価を行いました。

また、後期基本計画に定める 64 の指標のうち、前年度の値がめざす方向に沿っていない指標及び計画当初値より値が下回っている指標について、その原因の検証を踏まえた今後の展開を検討しました。

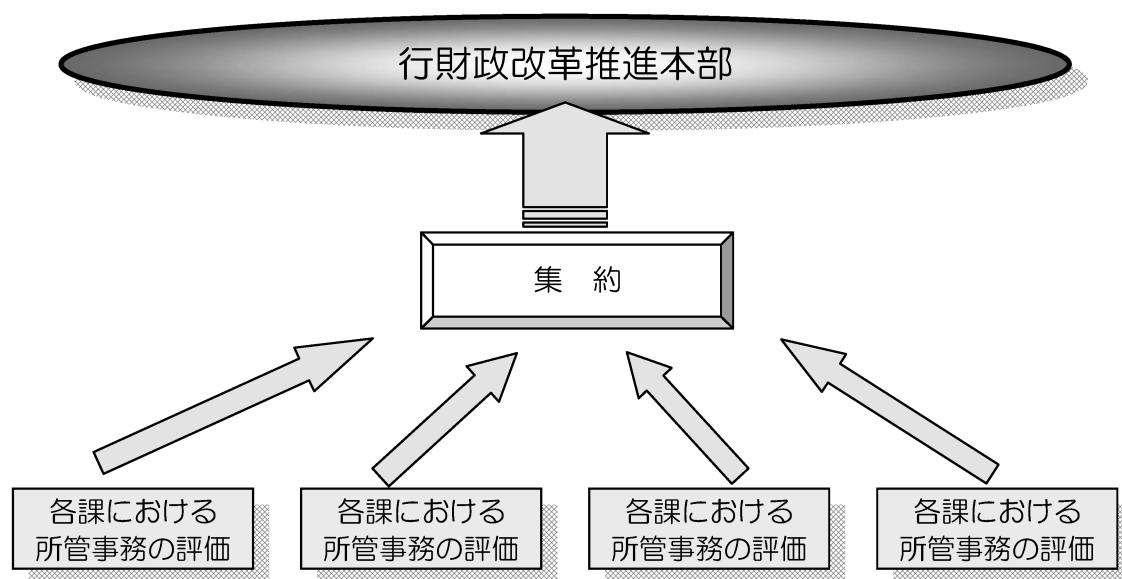
なお、後期基本計画に掲げる施策のうち、行財政改革の推進に向けたもの（行財政改革プロジェクト※²）に関連する事業・指標については、行財政改革推進計画において進捗管理を行っていることから、今回の評価対象からは除いています。

※ 1 「4. 後期基本計画の施策体系」参照。市の主要課題の解決に向けて優先して推進していく施策。

※ 2 重点のプロジェクトのひとつ。施策全般の推進の土台として行財政改革推進をめざす施策。

3. 評価の流れ

各課において、所管する評価対象事業の前年度の取組み状況、課題、課題を踏まえた今後の考え方を評価・検討し、企画財政部政策室で取りまとめた後、市長、副市長、教育長及び各部長で構成する狛江市行財政改革推進本部において確認を行いました。



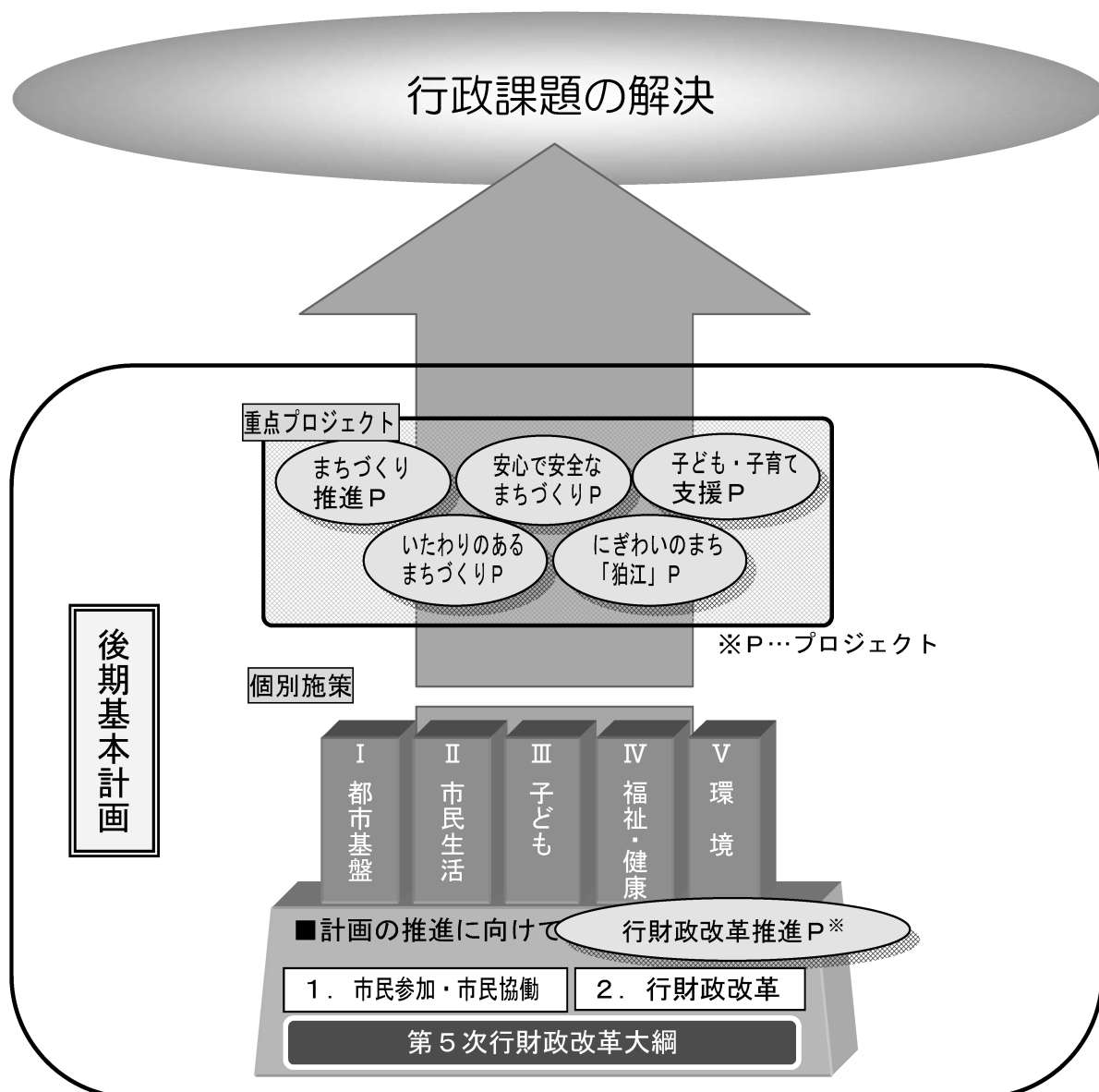
4. 後期基本計画の施策体系

後期基本計画に掲げる施策は、「都市基盤」「市民生活」「子ども」「福祉・健康」「環境」の5分野及びこれらに内包される19の小分野により体系化されています。

そして、これらの施策のうち、市の主要課題の解決に向けて優先して取り組むものとして、「まちづくり推進プロジェクト」「安心して安全なまちづくりプロジェクト」「子ども・子育て支援プロジェクト」「いたわりのあるまちづくりプロジェクト」「にぎわいのまち「狛江」プロジェクト」の5つの「重点プロジェクト」を掲げています。

なお、同計画の中では、すべての施策を推進するうえでの土台として「市民参加・市民協働」や「行財政改革」といった行財政改革の推進をめざす「行財政改革推進プロジェクト（狛江市第5次行財政改革大綱）」を定めています。

重点プロジェクトと個別施策の関係イメージ



i) 重点プロジェクトの施策体系

プロジェクト名		基本理念	施 策
I	まちづくり推進プロジェクト	水道局用地の利活用や水道道路の交通安全対策の具体化, 公共施設の整備・機能移転等を着実に進めるとともに, 地域全体を見据えた総合的な視点から市のまちづくりを推進する。	① 水道局用地の利活用 ② 水道道路の安全確保 ③ 公共施設の有効活用
II	安心して安全なまちづくりプロジェクト	「狛江市安心で安全なまちづくり基本条例」に掲げる理念のもと, 関係行政機関と連携・協力し, 市民の生命, 身体及び財産に危険又は危害を及ぼすもの全般を未然に防止するための環境整備を推進する。	① 地域の活動への支援 ② 道路修繕の計画的推進 ③ 災害対応体制の整備 ④ 放射能対策の推進
III	子ども・子育て支援プロジェクト	子どもたちが笑顔でのびのびと育つとともに, 子育て家庭が安心して子育てできるよう, 子どもの育ちを地域社会全体で支援するための環境整備を推進する。	① 子どもの育ちの支援 ② 子育て家庭の支援 ③ 新たな時代に即した学校教育の推進
IV	いたわりのあるまちづくりプロジェクト	誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するとともに, 住み慣れた地域で自立していきいきと暮らすことができる福祉のまちづくりを推進する。	① 外出しやすいまちづくり ② 社会参加への支援 ③ 生活環境の整備④災害時要援護者支援体制の構築
V	にぎわいのまち「狛江」プロジェクト	市の特性を最大限活用した産業の振興やイベントの実施などを通して, 狛江のまちの魅力を高め, にぎわいのあるまちづくりを推進する。	① 商工業の活性化 ② 狛江ブランドの確立 ③ まちの魅力の発信 ④ 地域スポーツの振興

ii) 個別施策の施策体系

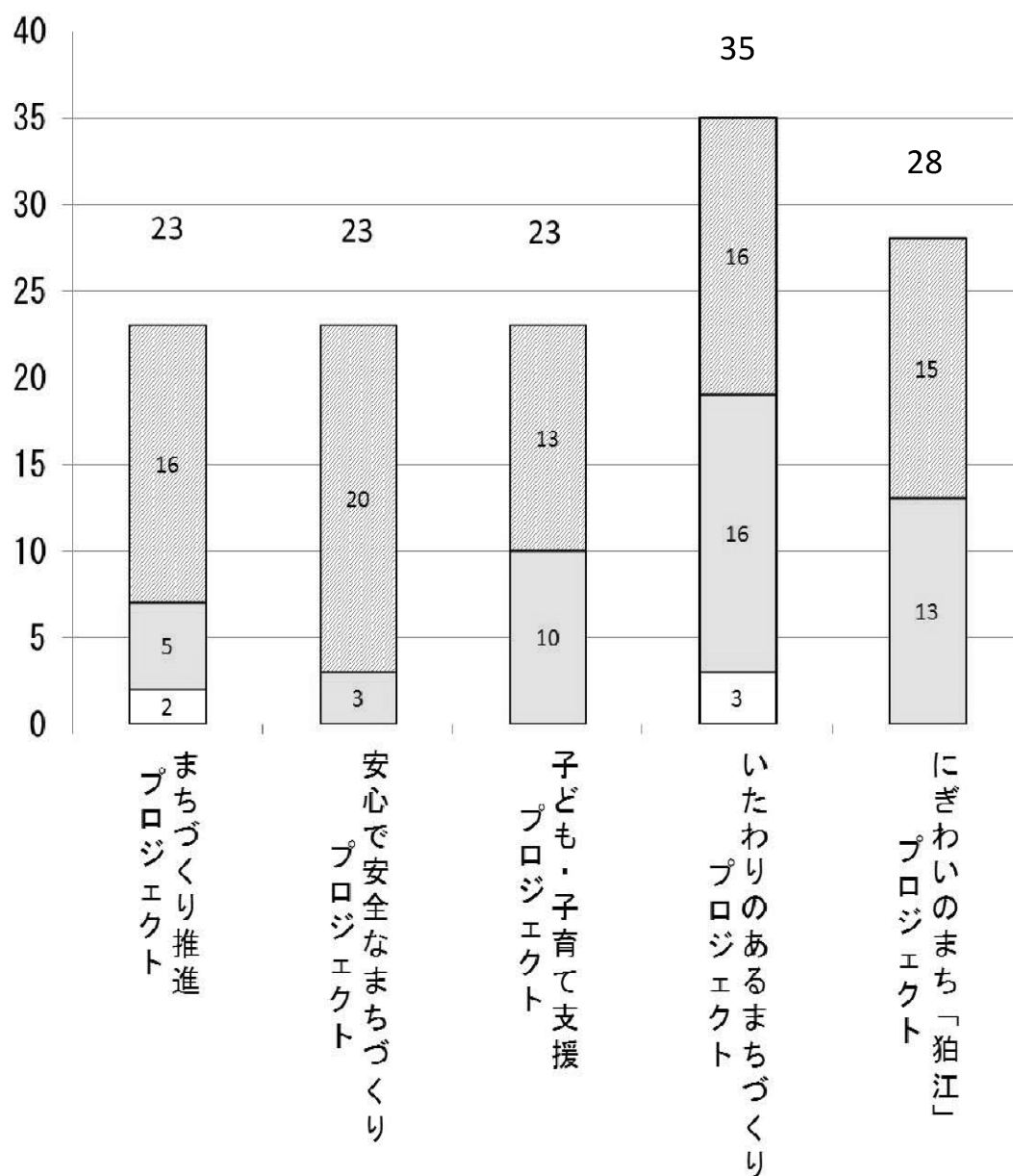
区 分		施 策
Ⅰ 都市基盤	i まちづくり	①土地利用の計画的誘導, ②住宅施策の推進, ③都市拠点の形成, ④良好な景観の作成
	ii 交通	①交通環境の整備, ②道路整備の推進
Ⅱ 市民生活	i 市民交流	①地域交流の推進, ②都市間交流の推進
	ii 市民文化	①さらなる地域文化の振興, ②文化・芸術活動の推進
	iii 地域振興	①商工業の振興, ②都市農業の振興, ③観光の推進とイベントの充実, ④消費生活の充実
	iv 生涯学習	①生涯学習機会の充実, ②図書館利用の推進, ③スポーツ・レクリエーション活動の促進, ④歴史遺産・文化財の保存の活用
	v 防災・防犯	①防災機能の強化, ②地域との連携, ③防犯対策の充実
	vi 平和・人権	①平和を求めるまちづくり, ②人権を尊重するまちづくり
Ⅲ 子育て	i 子育て	①保育環境の整備, ②子育て家庭への支援, ③ひとり親家庭への支援
	ii 青少年	①放課後対策の充実, ②青少年の自立と社会参加
	iii 学校教育	①生きる力を育む教育の推進, ②特別支援教育の推進, ③地域との連携の推進, ④教育環境の充実, ⑤教育施設の整備
Ⅳ 福祉・健康	i 地域福祉	①相談機能の充実, ②地域福祉活動の推進, ③ユニバーサルデザインの推進, ④災害時要援護者対策
	ii 高齢者福祉	①自立生活の支援, ②生きがいづくりの推進, ③介護予防・認知症予防の推進, ④介護保険制度の推進
	iii 障がい者福祉	①相談体制の強化, ②障がい福祉サービスの充実, ③自立生活・社会参加の支援, ④発達障がい者(児)の支援, ⑤高次脳機能障がい・難病者(児)の支援, ⑥虐待防止の推進
	iv 生活福祉	①生活困窮者への支援, ②就労支援・就学支援体制の強化
	v 保健・医療	①健康意識の向上, ②健康診査の充実, ③健康づくりの推進, ④母子保健の充実, ⑤地域医療体制の充実, ⑥感染症対策の充実, ⑦国民健康保険の安定的な運営
Ⅴ 環境	i 自然環境	①水環境の保全と活用, ②水環境の推進と下水道施設の整備, ③緑の保全と創出, ④公園の整備と管理
	ii 循環型社会	①ごみ減量化の推進, ②安定した資源回収体制の確立, ③安定的なごみ処理体制の確立
	iii 環境保全	①環境保全意識の啓発, ②低酸素社会の構築, ③日常生活の環境の維持, ④地域美化の推進, ⑤放射線量の測定・公表

5. 各分野ごとの評価結果

各事業の評価では、取組みの成果を「A：進捗している・期待通りの成果がでている」「B：現状維持・ある程度の成果がでている」「C：あまり進捗していない・あまり成果がでない」「D：まったく進捗していない・まったく成果がでない」の4段階で評価しました。その中で、評価結果を各分野ごとに整理した結果は以下のとおりとなりました。

i) 重点プロジェクト

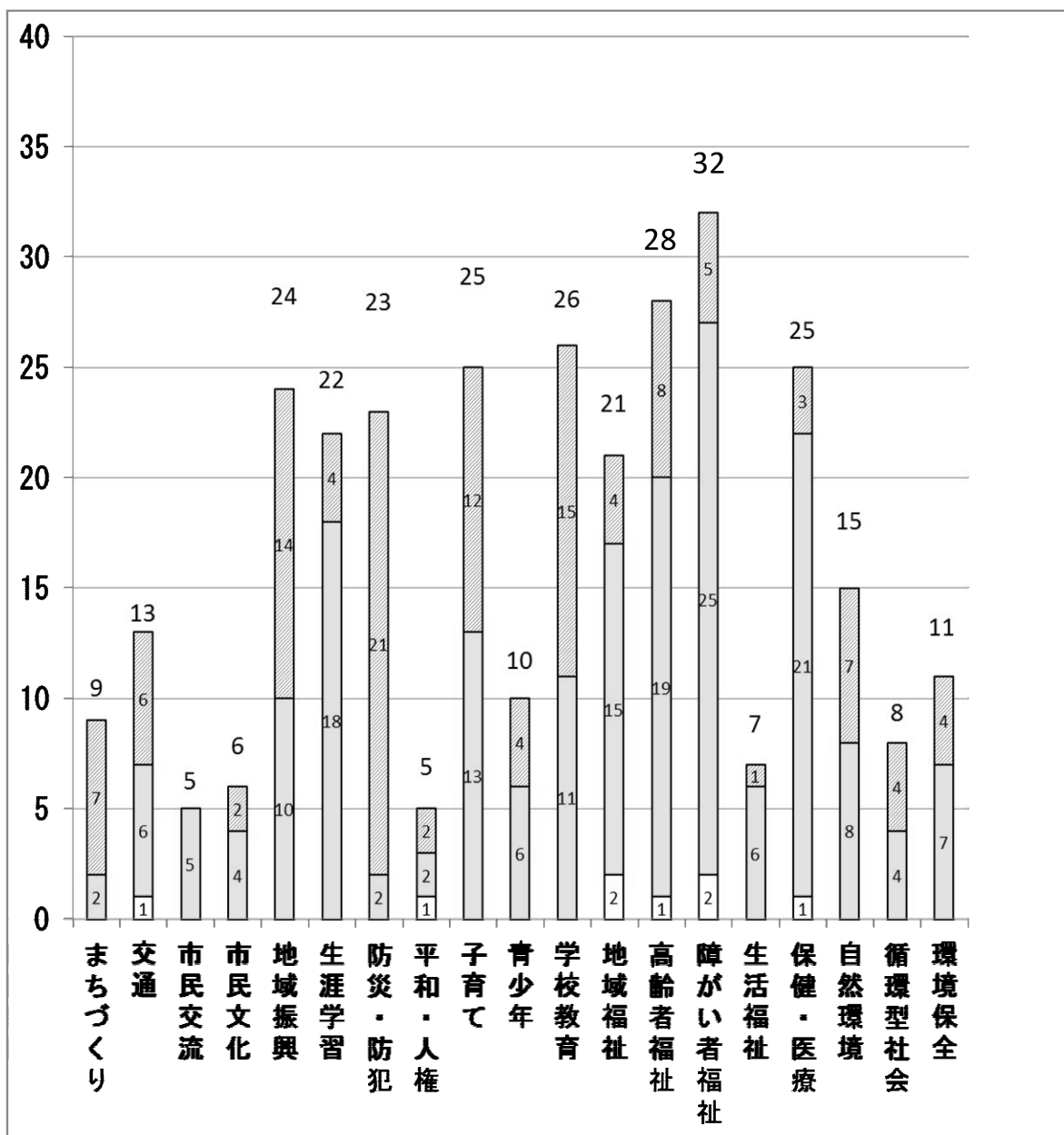
(事業)



A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
C	あまり進捗していない・あまり成果がでない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでない

ii) 個別施策

(事業)



A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない

6. 各事業の評価

表の見方

施策2. 住宅施策の推進									
施策小項目		①							
・一般住宅における耐震診断や耐震改修の実施に向けた財政的支援，都条例に基づく緊急輸送道路※の沿道建築物の耐震化に向けた支援を行うことで，一般建築物の耐震化を推進する。									
事業名	住宅耐震診断等助成			所管課	まちづくり推進課			予算科目	3-1-7
事業概要・26年度の成果	木造住宅減少した②，4件，木造住宅耐震改修は，3件であった。平成25年度と比較して，平成26年度は助成件数が輸送道路沿道建築物については，補強設計が1件完了した。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの⑤	B	現状維持・ある程度の成果がでている		
耐震診断助成件数(木造)(戸)	③	4		C	あまり進捗・あまり成果がでない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでない		
耐震改修助成件数(木造)(戸)	10	3		課題・課題を踏まえた今後の展開					
決算額(千円)	17	④	10,306	市の耐震診断⑥耐震改修助成制度の周知のため，広報やビラ配り等の既存の体制は，助成件数の増加が難しいと感じている。平成27年度には，新たに耐震アドバイザー派遣制度を導入し，助成制度の啓発活動を強化し，助成件数の増加を図る。					

- ① 後期基本計画の施策ごとに，関連する事業を評価しています。
- ② 評価対象事業について，平成26年度の成果を含めた概要を記載してます。
- ③ 事業の成果・実績を表す指標を設定したうえで，平成25年度・26年度の値を記載しています。(事業によっては，指標を設定されていないものもあります。)
- ④ 平成25年度・26年度の事業費(決算額)を記載しています。
- ⑤ 事業の進捗・成果について，AからDの4段階で評価しています。
- ⑥ 事業の課題を踏まえた今後の展開を記載しています。

重点プロジェクト

重点プロジェクト① まちづくり推進プロジェクト

施策1. 水道局用地の利活用

施策小項目

・所有者である都との協議・調整を進めるとともに、市民の意見を集約しながら利用計画を取りまとめ、用地の有効活用に必要な手続き等を着実に推進する。

事業名	和泉多摩川緑地都立公園整備化推進関係費		所管課	まちづくり推進課		予算科目	8-4-1	
事業概要・26年度の成果		庁内検討委員会を8回、策定委員会を3回開催し、構想素案のとりまとめに向けて、議論、検討を行った。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
					課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)		-	6,932	構想素案をとりまとめ、シンポジウムや市民説明会、パブリックコメントを経て、構想の策定を行う。構想策定後は、都立公園誘致のため、東京都と協議を進めていく。				

施策2. 水道道路の安全確保

施策小項目

・都や警察等と連携し、自転車や歩行者の安全確保に向けた実効性の高い交通安全対策を進める。

事業名	水道道路の安全確保		所管課	まちづくり推進課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	水道道路沿道地域の各町内会及び沿道の小中PTAへ水道道路整備推進に向けた説明を行い、東京都に対して水道道路の整備推進等に係る要望書の提出をいただいた。水道道路の早期整備の実現に向けて、東京都の関連部署及び警察等関係機関と協議を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
			課題・課題を踏まえた今後の展開	水道道路は平成27年度に計画期間が満了となる、第三次事業化計画の優先整備路線となっている。平成28年度に新たに策定予定の第四次事業化計画の優先整備路線として選定してもらうよう東京都と協議を進め、早期整備実現に向け、引き続き地域住民への説明も行い、関係機関とも協議を進めていく。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	調布都市計画道路3・4・16号線整備費(七差路※)		所管課	整備課		予算科目	8-4-3
事業概要・26年度の成果	七差路交差点の安全を確保するため路面標示等の改修工事を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
用地取得面積(㎡)	10	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
整備延長(m)	0	65	課題・課題を踏まえた今後の展開	調布都市計画道路3・4・16号線（電中研前）整備の進捗に合わせた改修工事を検討する必要がある。			
決算額(千円)	10,150	10,214					

【脚注】

※ 七差路：調布都市計画道路3・4・16号線と小田急線の側道等が交わる交差点

事業名	調布都市計画道路3・4・16号線整備費(電中研前)			所管課		整備課		予算科目	8-4-3
事業概要・26年度の成果		都市計画事業の認可を取得し事業説明会を行った。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	計画的に事業を進めるため意向調査等を行い、円滑な用地取得及び道路整備を目指す。				
決算額(千円)		14,385	3,896						
事業名	市道34号線整備事業			所管課		整備課		予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果		用地の取得のため継続的な用地折衝を行うが、事業への理解が得られなかった。また、土地評価の時点修正を行うため、不動産鑑定評価を行った。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
整備延長(m)		138	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
用地取得面積(m ²)		0	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	事業に必要な用地の取得が難航しているが、引続き事業の必要性を十分に説明するとともに、他の手法についても検討する。				
決算額(千円)		10,260	898						

施策3. 公共施設の有効活用

施策小項目

- ・公共施設整備計画を踏まえ、公共施設の整備・機能移転等を進め、公共施設の有効的な利活用を推進する。

事業名	市民ホールの修繕		所管課	地域活性課		予算科目	10-5-5
事業概要・26年度の成果		平成26年度は音響設備出力系修繕を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民ホールの修繕は、舞台修繕という大規模であり特殊なものであることから、費用がかさみがちであるが、文化庁の芸術文化活動支援員による指導・助言等をもとに策定された修繕計画に基づき、着実に修繕を行っていく必要がある。			
決算額(千円)	21,057	53,676					

事業名	西河原公民館管理費			所管課	公民館		予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	平成25年度に策定した西河原公民館ホール舞台設備修繕（更新）計画に基づき、調光器盤及び操作卓の更新を行った。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	945	17,820	計画に基づく対応を進めつつ、平成29年度以降予定されている西河原公民館設備等改修工事での対応等も考慮し、公民館利用者の利便性向上と効率的・効果的な設備修繕の両立を視野に対応する。					
予算事業決算額のうち、該当部分の額								
事業名	庁舎維持管理費（庁舎改修）			所管課	施設課		予算科目	2-1-1
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、市庁舎の耐震等改修を平成24年度から26年度、防災センターの建設を平成24年度から25年度にかけて行った。防災センターについては、平成25年度8月に竣工し、市庁舎の耐震等改修のうち、耐震化は26年3月に、耐震化を除く改修は地下倉庫設置も含め、26年6月に完了した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	1,093,449	645,625	平成26年6月をもって工事を完了している。					
予算事業決算額のうち、該当部分の額								
事業名	地域・地区センター費			所管課	施設課		予算科目	3-1-6
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、岩戸地域センターの改築工事を実施し、平成27年3月に完了した。谷戸橋地区センターの基礎沈下復旧等工事を実施し、平成27年1月に完了した。和泉多摩川地区センターは基本設計を完了した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	128,431	499,947	地域・地区センターの構造体の耐震化は完了した。今後は各センターの改築・改修工事を進めていく。					
予算事業決算額のうち、該当部分の額								
事業名	保育園維持管理費			所管課	施設課		予算科目	3-2-4
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、三島保育園の耐震等改修工事を実施し、平成26年11月に完了した。宮前保育園については、民営化の手法において、社会福祉法人により複合施設として改築するため、平成27年1月に解体工事の契約を締結した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	217,462	174,960	宮前保育園の解体工事を平成27年6月に完了させ、社会福祉法人により複合施設として建設を行い、28年4月に民設民営の保育園としてオープン予定。					

事業名	消防施設整備費（消防施設改築）		所管課	施設課		予算科目	9-1-3
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、第五分団器具置場の改築工事を実施し、平成27年3月に完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	第三分団器具置場の改築に向け、調査・研究を進める。			
決算額(千円)	3,077	50,359					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	西和泉体育館、西和泉グランド維持管理費		所管課	施設課		予算科目	10-1-2
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、西和泉体育館の耐震等改修工事を実施し、平成27年3月に完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	西和泉体育館の構造体の耐震化は完了した。平成27年度に非構造部材の対策を行う。			
決算額(千円)	3,885	17,866					
事業名	市民センター管理費（市民センター改修）		所管課	施設課		予算科目	10-5-2
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、非構造部材耐震化のための設計を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	非構造部材耐震化のための、市民センター耐震等改修工事を実施する。			
決算額(千円)	15,593	3,244					
事業名	中学校給食費(給食センター)		所管課	施設課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	平成26-27年度工事である中学校給食センター新築工事の契約を締結し、27年5月に工事完了。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年6月引渡し・7月運用開始ができるように工事を完了させた。			
決算額(千円)	10,037	387,199					

事業名	既存施設改修工事(中学校昇降機)		所管課	施設課		予算科目	10-3-5
事業概要・26年度の成果		給食センターの新築に合わせて設置する中学校昇降機設置の実施設計・工事を完了した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年1月をもって工事を完了している。			
決算額(千円)	5,250	254,855		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	学校維持管理費(小学校)		所管課	学校教育課		予算科目	10-2-1
事業概要・26年度の成果		平成25年度の屋内運動場の点検結果を受け、屋内運動場の非構造部材の修繕を行った。また、屋内運動場新基準箇所と校舎について、非構造部材※の点検を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
非構造部材耐震化小学校数(校)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度実施予定のバスケットゴールと照明の耐震化を終えれば、屋内運動場の必要箇所の耐震化は終了する。			
決算額(千円)	1,273	2,901		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	学校維持管理費(中学校)		所管課	学校教育課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果		平成25年度の屋内運動場の点検結果を受け、屋内運動場の非構造部材の修繕を行った。また、屋内運動場新基準箇所と校舎について、非構造部材の点検を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
非構造部材耐震化中学校数(校)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度実施予定の吊り天井(粕江第二中学校)とバスケットゴール、照明の耐震化を終えれば、屋内運動場の必要箇所の耐震化は終了する。			
決算額(千円)	1,246	6,613		予算事業決算額のうち、該当部分の額			

【脚注】

※ 非構造部材：柱や梁、壁、床など構造設計・構造計算の主な対象となる構造部材以外の天井材や内装材、照明器具、窓ガラス、書棚などを指す。

事業名	既存施設改修工事(小学校)		所管課	施設課		予算科目	10-2-6
事業概要・26年度の成果	設計として、狛江第五小学校大規模改修工事の設計等を、工事として狛江第一小学校管理諸室及び特別教室空調設備整備工事を完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	設計を完了した事業について、平成27年度以降に工事を行っている。			
決算額(千円)	146,985	42,069					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	既存施設改修工事(中学校)		所管課	施設課		予算科目	10-3-5
事業概要・26年度の成果	狛江第四中学校管理諸室及び特別教室空調設備整備工事の設計を、工事として中学校昇降機設置工事を完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	設計を完了した事業について、平成27年度以降に工事を行っている。			
決算額(千円)	36,127	256,799					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	教育研究所		所管課	政策室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	狛江市公共施設整備計画を見直す際に、教育研究所の場所についてPFI等の手法も含めて検討したが、耐震改修を行い現状を維持することとした。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	公共施設整備計画に基づき、耐震改修を進める。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	福祉作業所の一体化(地域生活支援拠点の創設)		所管課	高齢障がい課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	現在市内に3か所ある福祉作業所について、作業環境の改善、受け入れ体制の拡充、その他地域で暮らす障がい者に対して地域生活支援拠点として包括的な支援を行うため、施設の統合を図る。また、施設を設置・運営する法人に対して施設整備の補助を行う。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	緊急対応、コーディネート機能等の地域生活支援拠点として持つべき機能を検討する。			
決算額(千円)	-	-					

事業名	(旧) 根川学童保育所			所管課	政策室		予算科目	-	
事業概要・26年度の成果	狛江市公共施設整備計画を見直す際に、(旧) 根川学童保育所場所の今後の利活用について保育施設以外の用途も含めて検討したが、今後も市全体の公共施設のニーズ・バランスを見極めながら慎重に検討することとした。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後における市全体の公共施設のニーズ・バランスを見ながら、引き続き検討を行っていく。					
決算額(千円)		-		-					

事業名	狛江駅前三角地関係費			所管課	政策室		予算科目	2-1-7	
事業概要・26年度の成果	近隣住民、公募市民、商業・農業関係者で構成する狛江駅前三角地活用方針検討委員会による提言を受け、平成27年1月に狛江駅前三角地活用方針を策定した。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	活用方針を踏まえ、三角地を整備するための基本計画を作成する必要がある。狛江駅前三角地整備基本計画策定委員会を設置し検討する。なお、検討の際には、庁内の若手職員で構成する狛江駅前三角地及び狛江弁財天池緑地保全地区利活用促進プロジェクトチームからの報告書（平成27年7月作成）を参考に予定である。					
決算額(千円)		-		188					

重点プロジェクト② 安心で安全なまちづくりプロジェクト

施策1. 地域の活動への支援

施策小項目

・地域等における防災・防犯等の活動に対する支援を通じて、地域ぐるみで住民同士の連携を深め、安心で安全な地域づくりを推進する。

事業名	災害対策関係費（避難所運営協議会）		所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4
事業概要・26年度の成果	市内におけるほぼすべての避難所において、地域住民の協力を得て協議会を設立することができた。また、既存の協議会と新設の協議会で情報の共有や交流の場として連絡会を開催した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
避難所運営協議会設置数(箇所)	3(累計5)	6(累計11)		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	それぞれの協議会の実情にあわせて、知識の習熟や顔の見える関係づくりを実施していく。また、協議会ごとの横のつながりを強化するために、連絡会などを定期的に開催することで、地域全体の防災力の底上げを図っていく。			
決算額(千円)	120	300		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	災害対策関係費（防災会・各種研修等）		所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4
事業概要・26年度の成果	防災会では例年通り各種訓練や研修会への参加した他、平成26年度に新規事業として「防災防犯実施まちあるき研修」を実施することにより、新たな視点での防災活動の意識づけを図った。また、防災講演会では平成25年度よりも多くの参加者を集めることができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
防災講演会参加者数(人)	100	700		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	防災会では活動のマンネリ化、防災会支部による活動の差、認知度の低さが課題である。研修やキャンペーンを通じて防災会の認知度向上や防災活動に参加することの少ない世代の参加を促す活動を進めていく必要がある。防災講演会では今後も講演内容を工夫していく。			
決算額(千円)	513	513					
事業名	生活安全対策費（防犯カメラ）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11
事業概要・26年度の成果	平成25年度から町会・自治会や商店街の防犯カメラ設置費用に対する補助制度を設けており、26年度は町会2団体（4台）の補助を実施した。市としても、車通りの多い電力中央研究所南側七差路付近に、2台の防犯カメラを設置したほか、東京都の通学路防犯設備整備補助金を活用して、緑野小学校と柏江第三小学校の通学路に5台ずつ計10台の防犯カメラを設置した。（通学路の防犯カメラは学校教育課が設置）						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
市が設置した防犯カメラ(台)	5	12		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
地域で設置した防犯カメラへの補助(件)	4	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	防犯カメラの有用性や補助制度の周知を図るなど、地域による防犯取組の推進に向けて補助制度のさらなる活用を促していく。あわせて、警察と設置場所の協議を行いながら、駅周辺や交差点を中心に、市による防犯カメラの設置を進め、補助制度とともに市全体の防犯体制の強化を図っていく。			
決算額(千円)	2,708	2,093		予算事業決算額のうち、該当部分の額			

【脚注】

※ 避難所運営協議会：地震等の大規模災害が発生した際、避難所の開設・運営・閉鎖を行う組織。地域住民を中心に構成している。

事業名	生活安全対策費（防犯協会関連）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11	
事業概要・26年度の成果	安心安全パトロール、青色回転灯搭載車によるパトロール、子ども見守り、各種イベントにおける巡回、歳末警戒など、年間を通じた活動を実施している。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	1,410	1,410		課題・課題を踏まえた今後の展開		防犯協会は、日常的に地域の防犯に取り組んでおり、また、毎月狛江支部全体で情報交換を行うなど、市の犯罪の抑制に貢献している。現在狛江市では、調布警察署、調布市と連携した特殊詐欺対策を展開しており、防犯協会にも協力を要請しながら、市内の防犯啓発について、協働して取り組んでいく。		
事業名		安心で安全なまちづくり関係費（安心で安全なまちづくり地域協議会等）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11
事業概要・26年度の成果	平成25年度より、協議会（通称：安全協）としての活動を行っており、地域を構成する各団体間の連携を図り、市全体の安心安全へ取り組むための活動を行っている。平成26年度は、児童・生徒を主に広く「狛江市安心で安全なまちキャッチフレーズ」を募集し、市民が安心安全について考える機会の創出を行うとともに、10月25日「狛江市安心で安全なまちづくりの日」において、各種防災防犯関係機関の展示や防犯講演会など、防災防犯の各種イベントを行い、安全協の周知を進め、安心安全の啓発に取り組んだ。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	140	265		課題・課題を踏まえた今後の展開		市事業への共催・協力や、安全協としての事業を実施する。防災防犯のみにとどまらず、多分野での安心安全啓発事業を毎年通して行っていくほか、安全協の活動が地域に根付くようなキャンペーンを実施していく。		
事業名	生活安全対策費（安心安全情報メール）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11	
事業概要・26年度の成果	登録者数は、9,502人（H26年3月末現在）から10,508人（H27年3月末現在）へと着実に増加している。配信については、平成27年1月のシステム改修に伴い、防犯・防災・その他安心安全情報と配信情報をカテゴリーに分け、登録者が希望するメールを受信できるようにした。配信内容については、防犯情報を中心に、台風、ゲリラ豪雨等の防災情報、インフルエンザ、熱中症等への注意喚起などとあわせ計111件配信した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
登録者数(人)	9,502	10,508		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	346	357		課題・課題を踏まえた今後の展開		本事業は、市の安心安全情報を入手するツールの柱として、概ね定着してきていると考える。今後は、突発的な事象において、より一層適時かつ正確な配信に努めるとともに、情報収集ツールである携帯電話・スマートフォンのさらなる活用方法を検討していく。		
事業名	生活安全対策費（防犯キャンペーン等）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11	
事業概要・26年度の成果	10月25日「狛江市安心で安全なまちづくりの日」において、劇団員による振り込み詐欺実演劇や調布警察署員の指導による防犯護身術講座を行ったほか、12月3日に「防犯・防災まちあるき研修」を行い、パトロールの際に注視するポイントについて、講師の指導のもと、まちあるき体験を含めたワークショップを実施した。また、防犯意識の啓発を図るため、防犯ガイドブックを新たに作成し、市内全戸に配布した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
防犯講演会参加者数(人)	61	183		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	132	1,744		課題・課題を踏まえた今後の展開		安心安全に関するイベント等で、知識習得や意識向上を図ったうえで配布するなど、より効果的に啓発へとつながるような実施方法を検討していくほか、安全協などの団体の協力を要請しながら、地域に密着した啓発活動を行っていく。		

事業名	生活安全対策費（特殊詐欺対策等）		所管課		安心安全課		予算科目	2-1-11		
事業概要・26年度の成果		特殊詐欺被害の防止を図るため、調布警察署と「特殊詐欺への注意喚起に伴う個人情報の取扱いに関する覚書」を締結し、調布警察署による高齢者世帯への戸別訪問し、特殊詐欺等に関する注意喚起を実施した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市、調布市、調布警察署の三者で連携した対策をとるとともに、庁内の警戒態勢を構築する。					
決算額(千円)		-	-							

事業名	災害対策関係費（医療救護関係）		所管課		安心安全課		予算科目	9-1-2		
事業概要・26年度の成果		災害時の医療救護活動に係る体制整備を図るため、昨年度に引き続き、緊急医療救護所の設置運営訓練を福祉保健部と連携して実施するとともに、災害用の医薬品・医療資機材の整備を図った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	関係部署・機関等と連携しながら、訓練等を実施し、災害時の医療救護活動体制の強化を図っていく。					
決算額(千円)		-	2,000							

事業名	災害対策関係費（避難場所表示看板）		所管課		安心安全課		予算科目	9-1-2		
事業概要・26年度の成果		粕江市地域防災計画の修正にあわせ、避難所等に設置してある看板を中心に、避難場所表示看板の内容が適切な表記となるよう必要な修正を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	改修が終わっていない市内各所にある避難場所表示場所看板について、今後も計画的に改修を実施していく。					
決算額(千円)		-	1,944							

施策2. 道路修繕の計画的推進

施策小項目

- ・道路点検調査の結果を踏まえ、誰もが安心して安全に通行できる道路の修繕を推進する。

事業名	道路維持費		所管課	整備課		予算科目	8-2-2
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線の工事（路線）及び設計（路線）を行った。さらに橋梁の長寿命化を図るため、箕和田橋と小足立橋の補修設計を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	972	528		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,550	1,148	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、早期の修繕完了を目指すとともに、橋梁補修工事を行い橋梁の長寿命化を図る。			
決算額(千円)	87,043	49,539					
道路修繕計画(平成25年度～)に基づく整備延長							
事業名	道路新設改良費		所管課	整備課		予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線等の設計（5路線）を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	0	467		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,080	633	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、狭あい道路整備を行いながら早期の修繕完了を目指す。			
決算額(千円)	11,881	97,441					
事業名	道路台帳作成・境界石設置・境界測量図作成		所管課	道路交通課		予算科目	8-2-1
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づき、境界測量図作成を実施。（379号線，226号線，227号線，487号線，110号線，222号線，524号線，196号線，706号線）						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	現在の事業規模を維持し，継続して展開する。			
決算額(千円)	32,269	35,752					

施策3. 災害対応体制の整備

施策小項目

・隣接自治体や関係団体等と連携・協力し、大規模災害を想定した防災訓練を実施することで、迅速で効果的な災害対応体制を整備する。

事業名	庁舎維持管理費(庁舎改修)(再掲)		所管課	施設課		予算科目	2-1-1		
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、市庁舎の耐震等改修を平成24年度から26年度、防災センターの建設を平成24年度から25年度にかけて行った。防災センターについては、平成25年度8月に竣工し、市庁舎の耐震等改修のうち、耐震化は26年3月に、耐震化を除く改修は地下倉庫設置も含め、26年6月に完了した。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年6月をもって工事を完了している。					
決算額(千円)	1,093,449	645,625		予算事業決算額の5%、該当部分の額					
事業名	相互応援協定の締結			所管課	安心安全課		予算科目	-	
事業概要・26年度の成果	8月に実施した狛江市総合防災訓練に上野原市及び長岡市川口地域に参加してもらうとともに、11月には初めて世田谷区と合同防災訓練を実施する等、相互応援協定の締結先自治体との相互連携の強化を図った。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	協手先の自治体との連携強化や相互理解を更に推進するため、訓練等の相互参加や情報連絡の確認等を適宜実施していく。					
決算額(千円)	-	-							
事業名	災害対策関係費(防災訓練等)			所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4	
事業概要・26年度の成果	多摩川堤防決壊から40年目にあたることから、地震だけでなく水害の要素も取り入れた複合災害対応訓練を実施した他、例年以上に体験コーナーを充実させ、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に参加できる内容とした。結果として、昨年度を上回る参加者を迎え入れた。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
総合防災訓練参加者(人)	1,229	1,301		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	現状も多くの市民が参加しているが、参加者の固定化や参加人数の頭打ちが課題となっている。今後は、訓練会場の配置を工夫したり、会場に足を運ばずに家庭で気軽に参加できる訓練内容の検討などを行い、参加者増を目指し、地域防災力の向上を図る。					
決算額(千円)	993	1,185							
事業名	デジタルサイネージの設置			所管課	秘書広報室		予算科目		
事業概要・26年度の成果	屋外における市からの情報発信の強化・整備を図るため、ダイドードリンコ株式会社と協定を締結し、自動販売機併設型デジタルサイネージを前原公園、あいとびあセンターに設置した。デジタルサイネージの設置・管理に係る費用は、自動販売機の売り上げにより賄うため市の負担がなく、屋外における情報発信の強化に取り組むことができた。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
設置台数(台)	-	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	デジタルサイネージの設置・管理に係る費用は、自動販売機の売り上げにより賄うため、公共施設に自動販売機の設置可能なスペースの確保が課題である。					
決算額(千円)									

事業名	他自治体・民間事業者等との連携		所管課	安心安全課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	事業者等と協議、調整を行い、2件の協定を新たに締結した他、既存の協定12件についても協定内容の更新を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	地域防災計画の修正等を踏まえ、必要に応じて、新規協定の締結及び既存協定の見直しを適宜進めていく。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	避難行動要支援者事業		所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	避難行動要支援者名簿（旧災害時要援護者名簿）の情報と、民生委員の収集した高齢者実態調査の情報を一つのシステムに統合し、情報の共有を図ると共に、住民基本台帳とのリアルタイムの連携を可能とする「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」を整備した。また、視覚障がい者災害用ベストを当事者も含めた作成委員会で作成し、視覚障がい者に配布した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
災害時要援護者名簿登録者数(人)	2,818	3,300		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
支援組織設立箇所数(箇所)	2	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度整備した「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」の情報をもとに、避難行動要支援者の見守りについて支援組織との協定を締結し、情報連携を図る。また、災害時の避難に支援が必要であるにもかかわらず、一見して障がいがあることがわかりにくい聴覚障がい者向けの災害用ベストの開発を行う。			
決算額(千円)	5,258	7,745					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

施策4. 放射能対策の推進

施策小項目

・毎月の定点測定による空間放射線量を注視しつつ、市内の道路・公共施設等の放射線量のきめ細かな測定と速やかな情報提供を行っていく。また、放射能問題が生じた場合には、国のガイドラインに沿った早急な対応を図る。

事業名	保育園維持管理費（食材放射線検査）			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-4
事業概要・26年度の成果		認可保育園の給食食材と牛乳について、月に1度放射性物質の測定を実施し、結果を各保育園及び市ホームページで公表した。また、私立保育園に対しては測定のために提供された給食食材の費用を支給した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	807	962	空間放射線量の測定など他の放射能対策と合わせて、平成27年度も同程度の測定を行う。また、平成28年度以降の市の方針を検討していく。					

事業名	学校給食費(食材検査)			所管課	学校教育課		予算科目	10-2-5
事業概要・26年度の成果		小学校給食の食材検査の実施については、学校給食における食品の安全性を資するため、放射性物質検査、細菌検査、地場野菜の残留農薬検査、遺伝子組み換え食品の分析検査を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
食材検査の実施回数(回)	14	14		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	550	467	小学校給食の食材検査の実施については、概ね期待通りの成果が出ている。また、平成27年度も同程度の測定を行う。					

事業名	中学校給食費(食材検査)			所管課	学校教育課		予算科目	10-3-1		
事業概要・26年度の成果		ミルク給食及びあっせん弁当事業を実施し、飲用牛乳について放射性物質検査を年11回実施（小学校と共通）した。また、平成27年度7月の中学校給食再開に向けて、給食センターの準備を進めた。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
食材検査の実施回数(回)		11	11		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年7月の中学校給食開始を目標に、給食センター整備、中学校給食事業開始準備、調理委託業者選定等を行った。食材検査についても、同時期から実施していく。					
決算額(千円)		23	54							
事業名	放射線対策費			所管課	環境政策課		予算科目	4-1-4		
事業概要・26年度の成果		市内全域道路の走行サーベイによる空間放射線量測定を行い、ホームページや地図で公表した。また平成26年度から、子どもが日中の多くの時間を過ごす小・中学校、認可保育所、学童保育所（児童館を含む）、私立幼稚園などの公共施設等30施設において、四半期に一度定点における空間放射線量測定を実施し、ホームページで順次公表した。このうち市有施設においては年に1回公開測定日を設定し、市が行う測定を市民に対し公開した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
モニタリング地点の空間放射線量の最高値(μSv/h)		0.08	0.08		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市全域道路の空間放射線量の最高値(μSv/h)		0.10	0.10	課題・課題を踏まえた今後の展開	市内全域道路の測定事業は平成24年度から26年度まで実施した結果、除染が必要となる値が一度も出ていないことや、大きな値の変動が見られなかったことから、平成26年度で終了とする。市内全域道路の測定事業と同様に、現在行っている測定事業に係る回数等の展開を市民の安心安全や他市での動向を勘案し検討する必要がある。					
決算額(千円)		1,000	897							

重点プロジェクト③ 子ども・子育て支援プロジェクト

施策1. 子どもの育ちの支援

施策小項目

・子ども・子育て関連3法の施行に伴う新制度への移行を踏まえ、保育需要の変化に対して適切な対応を図るとともに、保育サービスの充実と効率化の両面から公立保育園の民営化等民間活力の導入を進める。

事業名	保育所等児童運営費（市立外保育園児童運営費補助金・認証保育所運営費補助金・家庭福祉員運営費補助金）			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-2	
事業概要・26年度の成果		市立外認可保育園，認証保育所，家庭福祉員へ運営費補助を実施した。平成26年4月と9月に家庭福祉員各1名，26年12月に認可保育園1園を開設し，保育施設受入定員の拡大を図った。							
事業名	決算額(千円)				指標				
	25年度		26年度		指標(単位)	25年度		26年度	
市立外保育園児童運営費補助金	654,153		719,780		施設数(園) 園児定数(人)	5 457		6 519	
認証保育所運営費補助金	166,889		203,966		施設数(園) 園児定数(人)	5 170		5 181	
家庭福祉員運営費補助金	12,979		25,170		施設(箇所) 児童定数(人)	3 12		5 20	
課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も待機児童対策として，私立保育園の開園を予定しており，市立外保育園児童運営費補助金の増加が見込まれることから，引き続き適切な交付事務に努める。			進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている		
					C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
事業名	子ども・子育て支援事業			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1	
事業概要・26年度の成果		粕江市子ども・子育て会議を設置した。また，粕江市子ども・子育て支援事業計画を策定。計画の策定に必要な事項等を審議した。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている		
会議数（回）		9	12		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
				課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市子ども・子育て支援事業計画の重点施策における年次計画策定，量の見込みと確保の方策のローリング等について審議し，計画の実効性を図っていく。				
決算額(千円)		3,884	3,930						
事業名	公立保育園民営化関係費			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-1	
事業概要・26年度の成果		粕江市立宮前保育園民営化に係る保育園及び粕江市立和泉児童館運営法人選定委員会を設置し，運営法人公募要項を策定した。これに基づき運営法人を公募し，プレゼンテーションを経て平成26年8月末に運営法人を選定した。また，9月より，保護者・運営法人・市の三者で構成する宮前保育園三者協議会を設置し，引継保育や民営化移行後の保育等について話し合いを進めた。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている		
なし					C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
				課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も三者協議会による話し合いを進め，それぞれが共通の認識を持ち，三者が協力し合いよりよい保育に向けて取り組むため，引続き三者の信頼関係構築に努める。				
決算額(千円)		-	244						

事業名	新設保育園整備事業		所管課	児童青少年課	予算科目	3-2-2
事業概要・26年度の成果	待機児解消を目指し、平成26年12月開園の東野川保育園みんなの家（定員60人）、27年4月開園のベネッセ狛江南保育園（定員64人）について、施設改修費及び賃借料の補助を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
認可保育所受入定員数(人)	1,115	1,236		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	本事業の実施により、認可保育園2園合計124人の定員増を図ったが、平成27年4月の待機児数は175人となっており、未だ待機児解消には至っていない。今後は狛江市待機児対策推進本部の報告を踏まえ、計画的に解消に向けた取組みを行っていく。		
決算額(千円)	0	110,696				

・旧狛江第七小学校跡地における中学校給食センターの整備や放射能対策などを通じて、子どもが健康に育つための安全な給食の提供に努める。

事業名	保育園維持管理費(食材放射線検査)(再掲)		所管課	児童青少年課	予算科目	3-2-4
事業概要・26年度の成果	認可保育園の給食食材と牛乳について、月に1度放射性物質の測定を実施し、結果を各保育園及び市ホームページで公表した。また、私立保育園に対しては測定のために提供された給食食材の費用を支給した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	空間放射線量の測定など他の放射能対策と合わせて、平成27年度も同程度の測定を行う。また、平成28年度以降の市の方針を検討していく。		
決算額(千円)	807	962				

予算事業決算額の5割、該当部分の額

事業名	学校給食費(食材検査)(再掲)		所管課	学校教育課	予算科目	10-2-5
事業概要・26年度の成果	小学校給食の食材検査の実施については、学校給食における食品の安全性を資するため、放射性物質検査、細菌検査、地場野菜の残留農薬検査、遺伝子組み換え食品の分析検査を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
食材検査の実施回数(回)	14	14		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	小学校給食の食材検査の実施については、概ね期待通りの成果が出ている。また、平成27年度も同程度の測定を行う。		
決算額(千円)	550	467				

予算事業決算額の5割、該当部分の額

事業名	中学校給食費(食材検査)(再掲)		所管課	学校教育課	予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	ミルク給食及びあっせん弁当事業を実施し、飲用牛乳について放射性物質検査を年11回実施（小学校と共通）した。また、平成27年度7月の中学校給食再開に向けて、給食センターの準備を進めた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
食材検査の実施回数(回)	11	11		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年7月の中学校給食開始を目標に、給食センター整備、中学校給食事業開始準備、調理委託業者選定等を行った。食材検査についても、同時期から実施していく。		
決算額(千円)	23	54				

予算事業決算額の5割、該当部分の額

事業名	中学校給食費(給食センター)(再掲)		所管課	施設課		予算科目	10-3-1		
事業概要・26年度の成果		平成26-27年度工事である中学校給食センター新築工事の契約を締結し、27年5月に工事完了。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年6月引渡し・7月運用開始ができるように工事を完了させる。					
決算額(千円)	10,037	387,199							
事業名	既存施設改修工事(中学校昇降機)(再掲)		所管課	施設課		予算科目	10-3-1		
事業概要・26年度の成果		給食センターの新築に合わせて設置する中学校昇降機設置の実施設計・工事を完了した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年1月をもって工事を完了している。					
決算額(千円)	5,250	254,855							
予算事業決算額のうち、該当部分の額									

- ・子どもたちに自由な遊びの場を提供できるプレーパークを市民と協働して設置し、健やかな育ちを支援する。

事業名	プレーパーク		所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1			
事業概要・26年度の成果	平成26年度は、プレーパークの27年度常設開催に向けた準備活動として、つくる会と協定を結び、西河原公園、東野川1丁目樹林地で計31日間冒険遊び場を開催した。また、平成25年度に引き続き、粕江市プレーパーク設置準備委員会を3回開催し、最終答申を行った。									
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている			B	現状維持・ある程度の成果がでている	
開催回数(日)	26	31		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない			D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民団体との事業継続及び平成27年度中の常設に向けた検討(プレーパーク設置準備委員会の開催)を行い、引き続き、27年度中の常設に向けた準備を進めていく。						
決算額(千円)	3,675	3,010								
事業名	プレーパーク(公園施設整備)		所管課	整備課		予算科目	3-2-1			
事業概要・26年度の成果	プレーパークの平成27年度常設開催に向けた整備工事を行うために設計委託を行った。									
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている			B	現状維持・ある程度の成果がでている	
整備面積(m ²)	0	1,500		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない			D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度中の開園に向けて整備工事を行う。						
決算額(千円)	0	2,916								

事業名	プレーパーク（管理棟整備）		所管課	施設課	予算科目	3-2-1	
事業概要・26年度の成果	プレーパーク管理棟整備のための設計を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	12	24		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	プレーパーク管理棟新築工事を実施する。			
決算額(千円)	0	2,268					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

施策2. 子育て家庭の支援

施策小項目

・子育てをしている親同士の交流や情報交換の場を提供する「子育てひろば」等を拡充し、子育てによる親の負担感の軽減を図る。

事業名	子育てサイト事業			所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」「こまえスマイルぴーれ」「こまえパクパクぴーれ」「狛江市子育て応援事業」「ここマップ」「育ちの森」の6本により、子育て情報を発信した。アクセス件数は伸びている。「こまえ子育てねっと」「こまえスマイルぴーれ」をスマートフォン対応とした。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
アクセス件数(件)	90,650	131,574		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子育て情報を発信し、子育てを楽しくできるような充実した情報を提供していくとともに、孤立する子育て家庭をつくらぬ取り組みを進めていく。			
決算額(千円)	3,356	4,146					
事業名	みんなで子育て事業			所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	子育てに関する世代を超えた交流の場の提供や子育て講座、親支援プログラムを実施することにより、子育ての輪を広げるとともに、親の子育て力の向上を図ることができた。野川たんぼひろばを月1回から2回に拡充。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
参加者数(人)	529	989		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子育て講座や親支援プログラムを継続させるとともに、交流の場の拡充を図り、地域の子育ての輪を広げていく。			
決算額(千円)	1,441	1,522					

事業名	むいからで遊ぼう		所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	むいから民家園で、子育て中の親子が楽しく遊び、交流する場を提供できた。また、平成25年度から参加延べ人数も増えており、たくさんの市民を含めたボランティアと協働で、遊びの場・交流の場・相談の場を提供することができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
開催数(回)	2	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
参加延べ人数(人)	1,467	1,576	課題・課題を踏まえた今後の展開	むいから民家園を活用して、子育て中の親子が楽しく遊びながら子育てについて学びあう場を提供できるよう、新たな事業を検討していく。			
決算額(千円)	57	56					
事業名	要保護児童対策事業		所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	要保護児童対策地域協議会（狛江市子ども家庭支援ネットワーク）の関係機関に対して、児童虐待の早期発見、連携のための研修会等を実施するとともに、児童虐待推進月間に市民向けの周知・啓発活動を実施した。また、親支援プログラムの実施により、親の子育てに対するスキルアップにつなげた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
開催数(回)	1	1		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
参加延べ人数(人)	6	6	課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江市子ども家庭支援ネットワーク関係機関研修等を継続し、連携強化を図ると共に、親支援プログラム、市民への周知・啓発活動の充実を図る。			
決算額(千円)	1,513	1,727					

・児童手当等の支給のほか、認証保育所に係る保育料の助成や私立幼稚園保護者負担軽減補助金の所得制限見直し等を通じて、子育て家庭にかかる経済的負担の軽減を推進する。

事業名	子育て応援事業		所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	協賛店舗数の拡大を図るとともに、子育て家庭が必要な協賛内容の充実に努め、子育てを身近な地域社会で支えるための機運の醸成を図る。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
協賛店件数(件)	116	119		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き協賛店を増やすとともに、協賛店からのアンケートを取ること、利用状況等の把握を行う。			
決算額(千円)	649	700					

事業名	児童育成手当・児童手当・児童扶養手当・乳幼児医療費助成・義務教育就学児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1・2	
事業概要・26年度の成果		各種手当の支給，医療費の助成等により子育て家庭への経済的負担軽減を図った。							
事業名	決算額(千円)			指標					
	25年度		26年度	指標(単位)		25年度		26年度	
児童育成手当	123,801		123,765	延支払児童数(人)		8,516		9,012	
児童手当	1,022,855		1,049,400	延支払児童数(人)		101,739		104,138	
児童扶養手当	154,978		152,590	延受給者数(人)		6,142		6,197	
乳幼児医療費助成	139,544		142,598	受給者数(人)		4,184		4,358	
義務教育就学児医療費助成	87,024		93,756	受給者数(人)		3,527		3,583	
ひとり親家庭等医療費助成	19,554		19,720	受給者数(人)		599		614	
扶助費のみを記載									
課題・課題を踏まえた今後の展開	引続き，各種手当等の対象者に対し手当等を適切に支給することにより，子育て世帯の負担軽減を図っていく。		進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている			
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない			
事業名	保育所等児童運営費（認証保育所等入所児童保護者負担軽減補助金）			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-2	
事業概要・26年度の成果		市内在住で，認証保育所等を利用する0～2歳児保護者の負担軽減を目的に，一定額の補助金を交付する（税額によって交付額が異なる）。認証保育所の利用者の増加により，昨年度対比で支給対象者が約15％増，交付額は概ね10％の増となった。							
指標(単位)	25年度		26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている		
支給対象者(人)	167		193		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
				課題・課題を踏まえた今後の展開	認証保育所等の利用促進は，待機児対策にとって一定の役割を担うものであることから，交付額や対象者の拡充も今後の検討課題であるとする。				
決算額(千円)	5,706		6,228						
事業名	私立幼稚園等園児保護者負担軽減			所管課	子育て支援課		予算科目	10-4-1	
事業概要・26年度の成果		平成26年度より所得制限を撤廃し，補助対象者の拡大を図った。							
指標(単位)	25年度		26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている		
延受給者(人)	8,053		12,170		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
				課題・課題を踏まえた今後の展開	子ども・子育て支援新制度における利用者負担の軽減の検討				
決算額(千円)	63,678		73,081						
決算額は補助金のみを記載									

事業名	幼稚園就園奨励費		所管課	子育て支援課	予算科目	10-4-1
事業概要・26年度の成果	平成26年度より所得制限を一部撤廃することにより、補助対象者の拡大を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
対象園児数(人)	557	711		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、円滑な事業実施を行う。		
決算額(千円)	59,601	92,862				

施策3. 新たな時代に即した学校教育の推進

施策小項目

・情報機器を活用したICT※教育を推進するとともに、子ども一人ひとりが積極的に授業に取り組める環境を整え、学力向上を図る。

事業名	情報教育推進費		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	児童・生徒がICT機器に親しみ、教員が授業をより分かりやすくするための学習指導の充実が図られた。小学校には、タブレット端末が導入され、教室や屋外でもより有効にICT機器を活用できるようになった。情報教育推進協議会や教職員夏季研修会を開催し、タブレット端末を活用した授業について学ぶことができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
授業でICT機器を活用している教員の割合(%)	73.0	91.9		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市内のすべての教員がICT機器を活用した授業を行い、教員の授業改善・授業力向上による児童・生徒の学力向上を目指していく。そのために、実践例の紹介などの情報提供を含めた教員研修が必要である。中学校でのタブレット端末導入に向け、教室内の環境整備も行った。		
決算額(千円)	59,674	67,955				
事業名	特別支援教育※推進		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対し、専門家チームによる巡回相談を実施するなど、個々のニーズに的確にこえる指導体制づくりを推進する。地域特別支援教育推進連絡協議会を3回実施し、特別支援教室モデル事業の進捗状況等を協議した。また、Q-Uアンケート※を小1から中3まで年間2回実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
Q-Uアンケート実施学年数(学年)	全学年(小1～中3)	全学年(小1～中3)※三中的みハイパーQU		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度に中学校1校で実施したハイパーQUを市内全ての小中学校で実施できるようにすることで、全ての小中学校においてより多面的に児童生徒の状況を把握し、児童生徒の健全育成に資することが課題。ハイパーQUを全ての小中学校で実施する。		
決算額(千円)	3,745	3,803				

【脚注】

- ※ ICT：情報とコミュニケーションに関する技術の総称（Information and Communication Technology）
 ※ 特別支援教育：障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導と必要な支援を行う教育
 ※ Q-Uアンケート：学校生活における児童・生徒個々の意欲や満足感、学級集団の状態を測定するアンケート

重点プロジェクト④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト

施策1. 外出しやすいまちづくり

施策小項目

・誰もが安心して歩くことができるよう道路の修繕・整備や休憩ベンチ等の設置を進めるとともに、こまバスをはじめとした公共交通機関の利用促進に向けた検討を進める。

事業名	コミュニティバス関係費		所管課	道路交通課		予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	利便性が向上するバス停の新設を検討した。利用者の増加に結びつく周知のため、市民まつりへ参加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
乗車人員(1便当り)	20.1	22.2		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、利用者増に結び付くよう利便性の改善において対応できるものから、順次取り組みを検討していくとともに、利用者の掘り起こしの機会の創出として事業の周知を推進していく。			
決算額(千円)	17,555	10,763					
事業名	道路維持費(再掲)		所管課	整備課		予算科目	8-2-2
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線の工事(路線)及び設計(路線)を行った。さらに橋梁の長寿命化を図るため、箕和田橋と小足立橋の補修設計を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	972	528		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,550	1,148	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、早期の修繕完了を目指すとともに、橋梁補修工事を行い橋梁の長寿命化を図る。			
決算額(千円)	87,043	49,539		道路修繕計画(平成25年度～)に基づく整備延長			
事業名	道路新設改良費(再掲)		所管課	整備課		予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線等の設計(5路線)を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	0	467		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,080	633	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、狭あい道路整備を行いながら早期の修繕完了を目指す。			
決算額(千円)	11,881	97,441					

事業名	道路台帳作成・境界石設置・境界測量図作成(再掲)			所管課	道路交通課		予算科目	8-2-1
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づき、境界測量図作成を実施。(379号線, 226号線, 227号線, 487号線, 110号線, 222号線, 524号線, 196号線, 706号線)							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	32,269	35,752	現在の事業規模を維持し、継続して展開する。					
事業名	交通安全施設整備費(ベンチ設置)			所管課	道路交通課		予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果	「思いやりベンチ事業」を活用した、ベンチ設置を実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
新規ベンチ設置基数(基)	1	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	500	421	継続的にベンチを設置していく。					
事業名	自然保護費(思いやりベンチ設置)			所管課	環境政策課		予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	「思いやりベンチ事業」による寄附で多摩川河川敷水神前にベンチ設置を3基実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
思いやりベンチ設置台数	-	3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	-	298	今後も継続して「思いやりベンチ事業」を周知し、寄附者を募るとともに、市内における設置候補場所を拡大し、取組みを広げていく。					
事業名	児童遊園のベンチ設置			所管課	整備課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	旧七小跡地(東京都下水道局貯留施設上部)へ新設する児童遊園に思いやりベンチを設置する計画で、募集を行い3基分の申し込みがあった。しかし、整備工事がⅠ期・Ⅱ期に分かれることになり、思いやりベンチは平成27年度に整備予定のⅡ期工事で設置することになった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
設置箇所	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開				
決算額(千円)	-	-	平成27年10月に公園の開園を目指しているため、それまでに思いやりベンチを設置する。					

事業名	障がい者移送サービス費		所管課		高齢障がい課		予算科目	3-1-2		
事業概要・26年度の成果		タクシー及び福祉車輛の利用料金の一部を助成することにより、障がい者の方の日常生活の向上を図る。タクシー券の利用者は11名、ハンディキャブ運行事業の利用者は10名増加した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
タクシー券利用者数(人)		481	492		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
迎車券利用者数(人)		6	6	課題・課題を踏まえた今後の展開	対象となる障がい者の高齢化に伴い、タクシー券とガソリン費助成の利用者は増加傾向にある。ハンディキャブ運行事業の運転協力者の高齢化が進んでおり、担い手の確保も課題である。					
決算額(千円)		17,660	18,140							
事業名	補装具費支給事業			所管課		高齢障がい課		予算科目	3-1-8	
事業概要・26年度の成果		身体欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具（補装具費について、購入又は修理のための費用を助成している。手帳取得時及びホームページ、広報等により制度の周知し、購入68件（他難聴児3件）、修理40件の支給を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
購入(件)		72	68 (他難聴児3)		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
修理(件)		54	40	課題・課題を踏まえた今後の展開	補装具難全般でみると利用は進んでいるが、聴児補聴器購入費助成については、特にさらなる周知が必要である。他の補装具とともに、引き続き、広報・HP等で制度の周知を図っていく。					
決算額(千円)		10,128	13,696							

・「公共施設の環境整備・ユニバーサルデザイン※設置指針及び整備プログラム」に沿った公共施設のユニバーサルデザイン化とあわせ、民間施設のユニバーサルデザイン化を推進する。

事業名	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業			所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1		
事業概要・26年度の成果		建築物の新設の際に行われる各課協議の場などで制度の紹介をする等、事業者への周知に力を入れたが、申請は0件となっている。このことを踏まえ、各区市の状況を調査し、より利用者にとって利用しやすい制度に改正していくための検討を現在行っている。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)		0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度の検討を踏まえ、利用者にとってより利用しやすい制度にするべく現在福祉基本条例施行規則の改正及び要綱の整備を行っている。改正後の制度の周知に努め、より市民に身近な場所でのユニバーサルデザイン化を推進していく。					
決算額(千円)		0	0							

・社会参加を促進するため、様々なメディアを活用した情報提供体制の強化を図るとともに、ホームページにおける情報ユニバーサルデザイン化を推進する。

事業名	広報関係費			所管課	秘書広報室		予算科目	2-1-3		
事業概要・26年度の成果		広報活動を通じて、市政情報その他の情報を的確に市民に伝えることにより、市民の市政への参加及び参画を促進する。平成26年度は、広報こまへの毎号2色化を実施し、引き続きユニバーサルデザイン化に取組んでいく。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
					より多くの方に広報こまえが入手できるような取組みを検討していく。					
決算額(千円)		15,499	16,313	課題・課題を踏まえた今後の展開						

事業名	ホームページ関係費		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果	市ホームページを通じて、市政情報その他の情報を的確に市内外の方に発信していく。平成26年度にウェブアクセシビリティ方針を策定し、27年度にリニューアルを実施していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
アクセス数(件)	1,640,316	2,344,185		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	総務省みんなの公共サイト運用モデル（2010 年度改定版）及び、日本工業規格 JIS X 8341-3:2010 に対応したホームページに取組む。		
決算額(千円)	2,560	2,407				

【脚注】

※ ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての人が使いやすいように設計されているデザインのこと。

事業名	歩行者移動支援に関する現地事業（ココシルこまえ）		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	粕江市内のニュースやロコミ、お知らせ、登録された店舗等の情報を発信する機能と市内施設の利用者の特性に応じたバリアフリー情報を検索できる機能を持つ「ココシルこまえ」は、Web版、携帯電話アプリケーション版ともに平成25年度に完成した。平成26年度の年間ページビューは37,773件、年間ダウンロード数は448件となっている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後は、Webを使用した市民への周知を進めるとともに、積極的に市のコンテンツを掲載していくよう検討を進めている。		
決算額(千円)	-	-				

施策2. 社会参加への支援

施策小項目

- ・障がいのある人とその家族が、生涯にわたって身近な地域で社会参加ができるよう支援する。

事業名	障害者計画・障害者福祉計画関係費		所管課	地域福祉課・高齢障がい課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	市の障がい者施策の今後の方向性と取組みを定める第4期障害者計画・障害福祉計画を策定した。音訳・点訳業務委託については未実施となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	ニーズを的確に把握したうえで、ニーズに合わせた施策を行っていくため、事業の見直しや新しい取り組みを検討する。計画は、ニーズに応えるものであると同時に、現在の財政状況や人員体制等の状況を踏まえて実現が可能なものであることが求められる。		
決算額(千円)	1,983	2,464				

事業名	地域活動支援センター事業		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果		地域で生活する障がい者の日常生活の支援及び創作活動または生産活動の機会の提供、社会との交流、障がい者の地域生活支援の促進を図る。地域交流の事業の利用者も増加しており、地域交流が促進された。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
Ⅰ型延べ利用者数(人)		4,483	5,372		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
Ⅲ型延べ利用者数(人)		3,213	3,284	課題・課題を踏まえた今後の展開	日常生活支援や地域生活支援の質の向上を目指し、人材の育成を行う必要がある。		
決算額(千円)		27,720	27,720				
事業名	発達障がい者(児)支援事業		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果		発達障がいをもつ子どもの学習支援を行う事業所を支援することにより、二次的な精神的障がい（不登校、引きこもり等）を防ぐことを目的とする。1団体へ補助を実施した。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
補助件数(件)		1	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	事業所のサービス向上と運営の支援を継続する。支援の充実のためには福祉分野に限らず、児童分野・教育分野との連携が必要であり、まずは担当部署間での情報共有・課題共有が必要である。		
決算額(千円)		1,200	1,200				
事業名	福祉作業所の一体化 (地域生活支援拠点の創設)		所管課	高齢障がい課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果		現在市内に3か所ある福祉作業所について、作業環境の改善、受け入れ体制の拡充、その他地域で暮らす障がい者に対して地域生活支援拠点として包括的な支援を行うため、施設の統合を図る。また、施設を設置・運営する法人に対して施設整備の補助を行う。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし					C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	緊急対応、コーディネート機能等の地域生活支援拠点として持つべき機能を検討する。		
決算額(千円)		-	-				

・高齢者が自らの能力や経験を活かし、地域や行政で活発に活動できる環境整備を推進する。

事業名	シルバー人材センター運営費助成			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-4		
事業概要・26年度の成果		高齢者の地域との関わりや生きがいづくりを目的に、狛江市シルバー人材センターへ補助金を交付する。平成26年度は、衣服工房ひまわりの建替えを行い、また慈恵医大やデパートへの出店等精力的な事業を展開した。会員数の減少が見られたが、平成27年10月時点では530人程度に回復しており、会員増強を図っている。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
会員数(人)		565	507		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
					課題・課題を踏まえた今後の展開					
決算額(千円)		40,927	41,710	会員数の増に向けて重点的に取り組むよう、センターの活動を見つつ、必要に応じて指導する。また、財政運営について、法人の安定した運営のためには一定程度の繰越及び内部留保は止むを得ないと考えるが、その額については適切な範囲を維持するよう注視していく。						

- ・高齢者の健康増進を通じて、高齢者の日常生活や地域活動等を支援する。

事業名	一次予防事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-1
事業概要・26年度の成果	高齢者が要介護状態になることを防ぐことを目的として、公園で遊具を活用した体操等を行う「うんどう教室」、外出・交流促進を狙いとした「会食会」、認知症の予防及び進行の抑制を狙いとした「認知症予防講座」等を実施した。平成26年度は、うんどう教室を1カ所増設したことにより、参加者数が増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
事業回数(回)	243	272		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
事業参加者延べ人数(人)	4,428	4,752	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数は平成25年度に比して増加しており、事業参加への意欲は高く一定の成果は出ている。参加者数のさらなる増に向けて周知強化に努める。また、今後は、新しい総合事業への移行も踏まえ、予防の効果分析を行い、事業の見直しを行う。		
決算額(千円)	15,061	16,111				

施策3. 生活環境の整備

施策小項目

- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、福祉・保健・医療が連携した地域包括ケアシステムの構築を推進する。

事業名	総合相談事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターに委託しており、高齢者からの多様な相談に対して制度横断的に支援する。平成26年度の相談件数は、25年度に比べて微減となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	4,571	4,399		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	相談件数は微減したが、地域包括支援センターの実施する総合相談事業の成果としては、平成25年度と同程度である。今後は、目指す方向性に沿うよう、センターの周知強化を図る。		
決算額(千円)	29,250	29,250				
事業名	あんしん見守りサービス		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	75歳以上の独居高齢者等に対し、孤独死の防止及びひとり暮らしへの不安解消を図るため、居宅に生活リズムセンサーと緊急通報ボタンを設置し、利用者の通報や一定時間センサーに反応がない時に民間の警備会社が駆けつける。平成26年度末の利用件数は61件となり、25年度末から15件の増となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
機器設置件数(件)	46	61		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	さらなる周知強化により、利用件数の増を目指す。また、類似事業として見られることの多いあんしん見守りサービスについて、双方の効果向上に向けて制度内容を再精査するとともに、必要に応じて整理を行う。		
決算額(千円)	1,745	2,006				

事業名	虐待防止見守りネットワーク事業		所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	高齢者虐待防止や虐待ケースの対応について、各関係機関の連携を強化するための会議を実施。ネットワークの充実を図るため、見守り協定の締結を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
見守りサポーター数(人)	27	27		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
ネットワーク会議開催数(回)	1	1	課題・課題を踏まえた今後の展開	虐待防止ネットワークについては、実務を通じて、着実に前進した。いわゆる見守りについては、見守り協定数だけでなく、より実効性のあるネットワーク構築が必要である。平成26年度の見守り協定の締結団体数は、12団体である。			
決算額(千円)	1,179	1,079					
事業名	高齢者地域相談事業		所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	高齢者やその家族などが困りごとなどを相談できる窓口として「こまほっとシルバー相談室柏江団地」を都営柏江団地商店街内に開設した。相談室では、相談にのるとともに、地域住民と連携して、高齢者の見守り活動を行っている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	こまホットシルバー相談室を拠点にした関係機関、住民のネットワークの形成と見守り活動をいかに展開していくかが課題である。			
決算額(千円)	-	7,482					
事業名	地域包括支援センター※運営協議会		所管課	高齢障がい課		予算科目	介護1-1-1
事業概要・26年度の成果	介護保険サービス利用者や事業者等関係者で構成される協議会において、地域包括支援センターの適切な運営、公正・中立性の確保、役割の見直し・機能強化に向けた協議等を行う。平成26年度は3回開催し、26年度の活動の方向性や25年度の取組みの評価について議論した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	議論の結果を以後の政策形成に活かすことができていない。また、ここ数年は、毎年同様のテーマのみを議論してきたが、その時々状況に応じて柔軟に議題を選定し、議論の結果を以後の政策形成に活かしていく。			
決算額(千円)	162	168					

【脚注】

※ 地域包括支援センター：地域の高齢者の心身の健康の維持・増進を図るため、総合相談支援や権利擁護、包括的・継続的マネジメント、介護予防ケアマネジメント等の事業を行う機関。市内には3か所（あいとびあセンター・こまえ正吉苑・こまえ苑）に設置されている。

事業名	包括的・継続事的ケアマネジメント事業			所管課	高齢障がい課		予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果		地域包括支援センターへの委託事業として、高齢者への包括的、継続的な支援に向けた関係機関との連携体制の構築、介護支援専門員(ケアマネジャー)への支援等を行う。平成26年度は、民生委員との合同研修会や介護支援専門員を対象としたフォローアップ研修及び事例検討会を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後ますます進展する高齢化社会において、非常に重要な事業であると考えらえるが、地域包括支援センターの業務負担が大きくなり、本事業に十分に注力できない状況にある。業務負担軽減に向けた策を地域包括支援センター運営協議会による議論を交えて検討する。				
決算額(千円)	5,850	5,850						

事業名	権利擁護事業		所管課	福祉相談課		予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	高齢者虐待対応等で、成年後見申立て支援等を実施した。地域に向けては、認知症等で判断能力を欠く状況になっても、高齢者の権利が侵害されない地域を目指し、認知症サポーター養成講座を行った。また、職員課との協働で、市職員接遇研修の一環として、平成26年度より本講座を利用した研修を行っている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
講演会開催回数(回)	2	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
委託団体数(団体)	3	3	課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者虐待等、権利擁護については、職員の専門性が確保されなければならない。組織改正を行い、専門職を配置したことで、一定の水準確保は図れた。成年後見制度利用も大きく伸びた。今後は身近な地域包括支援センターの職員への権利擁護制度の普及啓発が必要である。			
決算額(千円)	2,925	2,925					

事業名	介護予防ケアマネジメント事業		所管課	高齢障がい課		予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターへの委託事業として、身体機能の維持改善等を図り、要介護状態を予防する介護予防事業の効果向上に向けて、事業対象者に対してアセスメント(身体状況の調査)等を実施する。平成26年度は、二次予防事業参加者72人(実人数)のアセスメントを行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今般の介護保険制度の大改正により、現在の介護予防事業と一部の介護予防給付事業が平成29年度までに新しい総合事業へと移行することとなるが、本事業は、この移行に伴い内容が大きく変わることから、移行後の適切な運営に向けて検討を進める。			
決算額(千円)	20,475	29,475					

・特別養護老人ホーム[※]や小規模多機能型居宅介護複合型サービス[※]、定期巡回随時対応型訪問看護[※]など、支援を必要とする人が24時間安心して暮らせる生活基盤の整備を推進する。

事業名	特別養護老人ホーム、地域密着型サービスの整備		所管課	高齢障がい課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	都の高齢者施設整備に係る補助金を活用し、地域密着型サービスである認知症高齢者グループホーム※及び小規模多機能型居宅介護事業所の公募を行い、事業者を選定して、施設整備に着工した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
施設サービス・地域密着型サービス(グループホーム・小規模多機能)等の整備施設数	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者福祉保健計画・第6期介護保険事業計画に基づき、地域密着型事業所及び介護保険施設の整備を行っている。平成27年度は26年度着工した認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所に加え、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所及び夜間対応型訪問看護事業所、28年度は特別養護老人ホームの開設を予定している。		
決算額(千円)	-	28,700					

・生活保護受給者、ひとり親家庭等の経済的困窮者の自立に向けた支援を推進する。

事業名	生活困窮者自立支援モデル事業		所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	生活困窮者自立支援制度の本格実施前にモデル事業として、平成26年10月～27年3月まで実施。相談者数は89人で、相談延件数は525件。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
新規相談者数(人)	-	89		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	任意事業として「就労準備支援事業」を行っているが、平成28年度から新たに「子どもの学習支援事業」の実施を考えている。課題としては庁外の関係機関とのネットワークづくりと、地域に不足する社会資源の開発等の取組み。			
決算額(千円)	-	11,544					

事業名	母子家庭等自立支援		所管課		子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果		母子家庭の母等の主体的な能力開発の取組みや就業に結びつきやすい資格を取得するための費用を一部給付し、生活の負担の軽減と母子家庭等の自立促進を図った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
高等技能訓練促進費給付件数(件)	2	3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
教育訓練給付金給付件数(件)	0	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、ひとり親家庭の経済的な負担を軽減し、自立支援を行っていく。				
決算額(千円)	2,400	3,600						

事業名	専門面接相談員の配置等（生活支援）		所管課		福祉相談課		予算科目	3-3-1
事業概要・26年度の成果		専門の面接相談員（2名）の配置により、より細やかな相談・説明が可能になった。また、窓口での対応業務も行っているため、訪問等で不在がちなるケースワーカーの負担軽減になっている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
面接相談件数(件)	554	530		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民の生存権を支える最後のセーフティネットの入口として、誤った情報や誤解、偏見などを払拭し、本当に必要な人が正しく利用できる相談体制を目指していく。				
決算額(千円)	6,434	6,462						

【脚注】

- ※ 特別養護老人ホーム：介護が必要で、寝たきりや認知症など在宅での生活が困難な高齢者に入浴・排泄・食事等の介護を行う施設
- ※ 小規模多機能型居宅介護複合型サービス：小規模多機能型居宅介護と訪問看護など他のサービスを組み合わせ、一体的に提供するサービスのこと。
- ※ 定期巡回随時対応型訪問看護：訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行うサービスのこと。
- ※ グループホーム：日常生活に関する援助を受けつつ、介護を要しない障がい者が共同生活を送る住宅のこと。

事業名	専門就労支援相談員の配置			所管課	福祉相談課		予算科目	3-3-1		
事業概要・26年度の成果		稼働能力のある生活保護受給者に対しての就労相談・指導、またハローワークとの連絡調整及び就労に関する情報収集を行い、就労につなげていく。平成26年度は支援者数91人中73人が就労に至った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
就労支援相談件数(件)		84	91		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	ハローワーク及びこまYELLとの連携の強化の中で、就労に向けての支援はもちろんであるが、新たな就労支援場所の確保という面についても対応していきたい。					
決算額(千円)		3,286	3,289							
事業名	生活安定応援事業			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-1		
事業概要・26年度の成果		大学・高校受験の受験料及び塾代の貸付相談を行う。平成26年度は、学習塾の貸付27件、受験料23件と、25年度と同伴数になった。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)		268	263		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	子どもの貧困が大きな社会問題化している中で、社会福祉協議会及びこまYELLと連携して、生活安定事業とは別の形の新たな事業へに取り組んでいく。					
決算額(千円)		3,039	3,360							

事業名	住宅支援給付事業		所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	離職によって住居を失った方（そのおそれがある方を含む）に対し、住宅手当を支給するとともに、再就職に向けた支援を行っていく。新規の申請件数は、一時社会的な現象として騒がれた派遣切りが落ち着いたこともあり、減少傾向にある。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	18	11		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支給人数(人)	4	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	この事業は平成26年度末で終了となった。平成27年度から生活困窮者自立相談支援事業の中で住宅支援給付として、新たに実施している。		
決算額(千円)	943	627				

施策4. 災害時要援護者支援体制の構築

施策小項目

- ・災害時に支援を必要とする人が、迅速かつ的確に避難することができるよう、災害時要援護者▼避難支援体制を構築する。
- ・災害時における要援護者のための福祉避難所を整備するとともに、運営にかかる福祉・保健・医療関係者との連携強化を図る。

事業名	避難行動要支援者事業（再掲）		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	避難行動要支援者名簿（旧災害時要援護者名簿）の情報と、民生委員の収集した高齢者実態調査の情報を一つのシステムに統合し、情報の共有を図ると共に、住民基本台帳とのリアルタイムの連携を可能とする「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」を整備した。また、視覚障がい者災害用ベストを当事者も含めた作成委員会で作成し、視覚障がい者に配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
災害時要援護者名簿登録者数(人)	2,818	3,300		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支援組織設立箇所数(箇所)	2	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度整備した「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」の情報をもとに、避難行動要支援者の見守りについて支援組織との協定を締結し、情報連携を図る。また、災害時の避難に支援が必要であるにもかかわらず、一見して障がいがあることがわかりにくい聴覚障がい者向けの災害用ベストの開発を行う。		
決算額(千円)	5,258	7,745				

重点プロジェクト⑤ にぎわいのまち「狛江」プロジェクト

施策1. 商工業の活性化

施策小項目

・新商品の研究・開発に向けた利子負担のない融資のあっ旋を検討するなど、新たな市場の開拓の視点から商工業の活性化を支援する。

事業名	こまえ元気わくわく事業			所管課	地域活性課	予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	参加店が新たな商品等を開発し、逸品とする取組に対して支援するため、コンテストを実施した。特別賞を新たに設け、満足度を測り、また、歴代入賞商品の紹介冊子を作成し、周知を図った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
参加店数	-	14		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
参加者数	-	279	課題・課題を踏まえた今後の展開	コンテストで開発したメニューの定着は難しいと感じている。今回は総括的な事業検証を行い、事業の必要性も含めて分析する。			
決算額(千円)	-	1,253					
事業名	商工振興補助			所管課	地域活性課	予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	狛江市商工会に対し、運営管理等及び地域総合事業に係る補助を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
商工会会員数(人)	908	911		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
装飾街路灯電気料補助商店街数(件)	12	11	課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江市商工会に対しては、補助を実施するのみでなく、それぞれの事業について連携し、事業効果を高めていく必要がある。また、商店会の街路灯に係る電気料については、環境に優しく、電気料金を抑制していくため、より一層のLED化を図っていく。			
決算額(千円)	12,153	12,299					
事業名	新・元気をだせ！商店街事業費補助			所管課	地域活性課	予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	狛江市内17商店会のうち、7の商店会及び1の協議会がイベントを実施し、当該事業費に対する補助を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
活性化事業補助件数(件)	0	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
イベント事業補助件数(件)	9	8	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントを実施する商店会が固定化しているため、個店への支援等を含め、商店会の組織力向上に資する事業を検討していく。			
決算額(千円)	5,118	5,226					
事業名	中小企業者事業資金融資あっ旋等関係費			所管課	地域活性課	予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	中小企業者、小規模企業者等が事業経営をしていくために、必要な資金を融資あっ旋する。小口事業資金の件数は減少したものの、小規模企業事業資金の件数の実績は上昇しており、また、設備資金の件数も上昇しているため、景気回復による、小規模企業者の設備投資意欲も上昇しているものと考えられる。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
新規開発融資制度あっ旋件数(件)(累計)	1	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
あっ旋件数(件)	小口8件 小規模16件	小口6件 小規模21件	課題・課題を踏まえた今後の展開	創業資金及び研究開発資金の申込み件数の実績がなかったため、情報収集や情報交換を商工会と行っていく。			
決算額(千円)	6,122	4,919					

事業名	市内空き店舗等情報の提供		所管課	地域活性課		予算科目	7-1-1
事業概要・ 26年度の成果	市内空き店舗等情報検索のHPの運用。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
新規登録件数(件)	0	1		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
更新登録件数(件)	0	2	課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	周知や契約の際に、当該ホームページが寄与しているかは不明。 商工会と連携した運用のあり方の検討していく。			
決算額(千円)	67	69					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

施策2. 狛江ブランドの確立

施策小項目

・エコファーマー制度※、東京都特別栽培農産物認証制度※、GAP※制度のいずれかにより生産された農産物を“狛江ブランド野菜”と認定し、『狛江ブランド』の確立を図ることで、販路の拡大を推進するなど、農業振興を図る。

事業名	農業振興関係費(ブランド化の推進)		所管課	地域活性課		予算科目	6-1-3
事業概要・26年度の成果	平成26年度に策定した農業振興実施計画に基づき、狛江ブランド野菜の販売が開始され、その広報活動のために必要な消耗品の購入、及び農家がGAP手法に取り組むために必要な事業費の補助を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
狛江ブランド野菜生産農家数(軒)(累計)	17	18		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江ブランド野菜を認知していない市民も多くいると考えている。今後の広報活動の実施方法について検討する。			
決算額(千円)	3,067	4,411	予算事業決算額のうち、該当部分の額				
事業名	農業振興関係費(認定農業者※・体験型農園※等)		所管課	地域活性課		予算科目	6-1-3
事業概要・26年度の成果	平成26年度に策定した農業振興実施計画に基づき、市内農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、その計画達成に必要な事業費を補助している。平成26年度は、都市農業経営パワーアップ事業を活用し、農業者の経営基盤強化に寄与した。また、雪害対応として、経営体育成支援事業を活用して、被災農業者支援を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
体験農園区画数(区画)	74(市内利用者71区画)	77(市内利用者74区画)		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
認定農業者数(人)	19	20	課題・課題を踏まえた今後の展開	課題としては、新規の認定農業者の確保のための広報活動と、2回目の認定農業者に対する補助のあり方を検討する。			
決算額(千円)	5,899	8,227	予算事業決算額のうち、該当部分の額				

【脚注】

※ エコファーマー制度：たい肥等を使った土づくりや化学肥料・化学農薬の使用の低減などの環境保全型農業に取り組む農業者を支援するため、持続性の高い生産方式を導入する計画を立てた農業者を『エコファーマー』として認定する制度

※ 東京都特別栽培農産物認証制度：都内で生産された農産物のうち、農薬と化学肥料をともに5割以上削減した『特別栽培農産物』を認証する制度。

※ GAP：生産者が自ら定めた点検項目に沿って農作業を実施・記録し、検証を行うことで農業の改善に結び付けていく、一連の農業生産工程管理手法のこと。

※ 認定農業者：農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者制度により認定された農業者。認定を受けると、財政面等の支援を受けられる。

※ 体験農園：農業者の指導のもと、農作業を体験できる農園。通常、種・苗・農具・肥料は農業者が準備し、利用者は農業者に利用料を支払う。

施策3. まちの魅力の発信

施策小項目

・ 狛江の多様な地域文化を振興するとともに、狛江古代カップ多摩川いかにレースや多摩川流域郷土芸能フェスティバルなど、特徴あるイベントの開催を通じて、狛江のまちの魅力を市内外に向けて発信する。

事業名	音楽の街-狛江推進			所管課	地域活性課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	「音楽の街－狛江」構想に基づく、音楽を活用したまちづくりの推進事業として、駅前ライブ5回、市民まつり駅前ライブ1回、市役所ロビーコンサート2回、学校公演5回、エリアコンサート7回、学校協力事業3回、市内中学校校歌収録事業1回、特別支援学級を中心とした音楽交流事業4回及びこまえ文化フェスティバルを実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
有料・無料コンサート実施回数(回)	18	21		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度は、「音楽の街－狛江」構想を改訂した。またシンボルコンサートが「こまえ文化フェスティバル」と名称を変えて復活し、「音楽の街－狛江」が新たな一歩を踏み出す年となった。課題としては聴衆の固定化が挙げられる。これまで行ってきたコンサート事業等は成熟してきたため、今後はさらに発展した事業とするために創意工夫が求められる。事業周知方法も模索し、新たな聴衆を取り入れるよう努める。				
決算額(千円)	2,848	指定管理料に含む						
事業名	ラ・フォル・ジュルネ音楽祭推進関係費			所管課	地域活性課		予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	狛江市でのL F Jの開催に向けて、L F Jびわ湖2014及びラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2014を視察した。東京国際フォーラムとの打合せを実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	実行委員会形式を検討しているが、L F Jの実施に当たってはアーティスト・ディレクターであるルネ・マルタン氏の意向が優先されることから、L F Jのイメージを崩さずに、いかにして狛江らしさを出していくかが課題となる。				
決算額(千円)	-	194						
事業名	絵手紙事業推進			所管課	地域活性課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	絵手紙を通じたまちづくりの推進事業として、絵手紙教室19回、4回連続絵手紙教室延べ8回、親子絵手紙教室1回、絵手紙講師派遣30回等を実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
絵手紙教室開催数(回)	32	28		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
絵手紙教室参加者(人)	1,441	1,536	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度より市民ホール指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団の主催事業となった。課題としては、絵手紙参加者の固定化が挙げられる。絵手紙未経験者が気軽に参加できるような魅力的なイベントの創出と効果的な宣伝方法の工夫が今後の課題である。				
決算額(千円)	1,269	指定管理料に含む						
事業名	多摩川利活用基本計画策定			所管課	環境政策課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩川利活用基本計画及び実施計画を策定した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩川利活用基本計画及び実施計画に基づき、多摩川利活用の推進を着実に図る。				
決算額(千円)	196	-						
予算事業決算額のうち、該当部分の額								

事業名	観光協会補助		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果	狛江古代カップ多摩川いかだレース、多摩川流域郷土芸能フェスティバルへの支援、観光協会推奨商品の増加、狛江ロケーションサービスの事業試行、こまえ枝豆産ピアガーデンの開催をした。また、花火大会実施に向けた検討をしていく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
推奨商品数(商品)	10	12		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	花火大会の実施、狛江ロケーションサービスの本格実施、その他観光事業の推進をしていく。		
決算額(千円)	1,017	1,040				
事業名	観光マップ作成		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果	平成25年度に作成した観光マップの在庫が不足したため、増刷し、市内公共施設及び掲載店等で追加配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
作成部数(部)	10,000	4,000		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	観光マップの掲載内容については、順次変化するため、情報を更新し、見直しを図る必要がある。そのため、新たな観光マップを作成するための検討を行っていく。		
決算額(千円)	1,102	298				
事業名	協働まちづくり関係費(狛江のまち-魅力百選)		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	「狛江のまち-魅力百選」を6,000部発行し、小中学校も含め約5,000部を無料配布を行った。その他イベントにおいても配布を行い、周知した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も周知に努めるとともに、狛江のまち-魅力百選を活用したまち歩き等を実施する等により狛江の魅力を発信し、認識を高めていく。		
決算額(千円)	1,491	357				
事業名	市民まつり関係費		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-9
事業概要・26年度の成果	第二中学校のダブルタッチの演技や、狛江高校の箏の演奏、災害時相互応援協定締結市(静岡県三島市、山梨県上野原市)の出店等により、平成26年度は69,000人の来場者を迎え、市内最大のお祭りとして盛り上った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
来場者数(人)	67,000	69,000		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度は市制施行45周年のため、スタンプラリーなど新規事業を行う。		
決算額(千円)	5,000	5,300				

事業名	狛江古代カップ多摩川いかだレース		所管課	地域活性課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩川の夏の風物詩として定着しているいかだレースを共催した。河川敷で禁止されていたバーベキューを試験的に解禁し、出場選手やその家族などを対象にバーベキューを行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
参加チーム数(チーム)	86	80		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
主催者発表来場者数(人)	約10,000	約10,000	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントとしての新たな充実を図り、市内外からの来訪者を増加させる。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	初春まつり関係費		所管課	秘書広報室		予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	1月に市制施行45周年記念事業第1弾として、毎年第2日曜日に開催している「狛江多摩川ロードレース」「どんど焼き」「狛江市消防団出初式」の3つのイベントを同一会場に集めて開催した。会場ではとん汁の無料配布も行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	3つのイベントを同一会場ですべて実施し、各団体との連携が不足していた。各団体との連携の強化、とん汁の無料配布や会場の整理の人員の確保に市民と協働して実施していく。			
決算額(千円)	-	443					
事業名	桜まつり関係費		所管課	秘書広報室		予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	シティセールスの取組みとして、根川さくら通りで3月29日から4月4日にかけて桜のライトアップを行い、魅力的な景観を演出した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	初めての開催にあたり近隣町会、関係団体との調整が多かった。秘書広報室の広報業務・情報発信に専念できなかった。次の開催に向けては、市主体から市民参加の実行委員会形式による開催を検討したい。			
決算額(千円)	-	655					
事業名	シティセールス推進		所管課	秘書広報室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	狛江市のシティセールスの指針として、平成26年4月に狛江市シティセールスプランを策定した。庁内組織として狛江市シティセールス推進庁内検討委員会を設置し、10月に狛江市シティセールスプラン実施計画を策定した。実施計画に基づいて、観光大使の設置やこまえ初春まつり等を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江市シティセールスプラン実施計画にもとづいた重点・個別事業の実施にあたり、市民・事業者との連携、財源の確保を図りながら推進していく。			
決算額(千円)	-	-					

事業名	(仮称) 市制施行45周年事業花火大会関係費		所管課	地域活性課		予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果	狛江市観光協会において、狛江市民花火大会実行委員会を立ち上げ、4回の実行委員会を開催した。狛江側の関係機関と調整を行うとともに、対岸である川崎側の関係機関との円滑な調整に重点を置いた。平成26年度時点での関係機関との調整事項等を反映した実施計画として作成した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度中に狛江側・川崎側の関係機関と多くの調整を行ったことで、実施計画を作成し、花火大会の開催に向けて具体的な動きが定まった。これにより平成27年度では関係機関との調整がより円滑に進み、実行委員会で決定したことを地域活性課において3チームに分かれ、並行して実施したことで事故等もなく無事に花火大会を終えることができた。			
決算額(千円)	-	1,188					
事業名	多摩川流域郷土芸能フェスティバル		所管課	地域活性課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩川流域郷土芸能フェスティバルを共催した。日野市、多摩市、調布市の3つの団体が新たに参加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
一般来場者数(人)	327	342		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
出演団体数(団体)	6	8	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントとしての新たな充実を図り、市内外からの来訪者を増加させる。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	多摩川流域7自治体交流イベントラリー		所管課	政策室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	効果的なまちの魅力発信を図るため、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市、川崎市、多摩川流域懇談会と連携し、各参加自治体のイベントをスタンプラリーで繋ぐイベントラリーを実施した。連携自治体は平成25年度から3自治体増加し、7自治体交流として開催する等、他市との連携を強化して事業を実施した。一定数以上のイベントに参加した方は、賞品抽選へ応募ができることとし、延べ応募者数は、720人となった。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
延べ応募者数(人)	176	720		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	連携自治体を増やし、事業効果の一層の拡大を狙う。			
決算額(千円)	-	-					
25年度の事業名は「多摩川流域4自治体交流イベントラリー」							
事業名	多摩3市うまいものフェア		所管課	秘書広報室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩3市うまいものフェアは、東京都市長会の多摩・島しょ広域活動助成金を活用し、狛江市、東大和市、武蔵村山市との連携を図りながら、各市のご当地の食を市内外に発信する事業である。平成26年度は東大和市を会場に実施し狛江市からは、こま丼、スープ餃子を出品し、狛江の食を市外に発信することができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩3市うまいものフェアは、多摩・島しょ広域活動助成金の補助対象期間の平成24年度から26年度までをもって終了した。			
決算額(千円)	-	-					

事業名	「花いっぱい」エリア事業		所管課	環境政策課	予算科目	8-4-4
事業概要・26年度の成果	平成22年度より狛江駅南口にプランターを設置して、市民管理により景観を向上させる目的で「花いっぱい」エリア創設事業が開始された。都市計画道路調布3・4・17号線緑地帯や駅前三角地の花壇等の維持管理を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	B	現状維持・ある程度の成果がでている
植栽花苗数(本)	8,257	4,754		C	D	
				進捗している・期待通りの成果がでている		現状維持・ある程度の成果がでている
				あまり進捗していない・あまり成果がでていない		まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	三角地の中央花壇が芝生に変更したため、その分の植栽花苗数が減少した。花いっぱい事業に協力するアドプト団体が増えるよう周知等の強化を図る。		
決算額(千円)	990	767				

施策4. 地域スポーツの振興

施策小項目

・25年度に開催する国体を契機に、『狛〇（こまわ）くらぶ[※]』等と連携し、市民が気軽に地域でスポーツを楽しむことができる環境整備を推進する。

事業名	少年少女スポーツ振興		所管課	社会教育課	予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	青少年を対象とした各種スポーツ大会及び教室、市立中学校スポーツ対抗戦を実施したほか、平成26年度はプロ選手を招致したバスケットボール教室を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	B	現状維持・ある程度の成果がでている
少年少女スポーツ大会参加者数(人)	989	867		C	D	
				進捗している・期待通りの成果がでている		現状維持・ある程度の成果がでている
				あまり進捗していない・あまり成果がでていない		まったく進捗していない・まったく成果がでていない
小中高生対象スポーツ教室参加者数(人)	903	766	課題・課題を踏まえた今後の展開	現在の教室運営者（狛江市スポーツ推進委員）のみならず、狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（狛〇クラブ）や狛江市体育施設指定管理者との連携を図っていく。また、社会教育課単独ではなく、児童青少年課の放課後こどもクラブへの出前事業等、他課と連携をしながらスポーツ振興を図っていく。		
決算額(千円)	2,843	2,716				
事業名	市民スポーツ大会関係費		所管課	社会教育課	予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	NPO法人狛江市体育協会に事業を委託し、市民体育大会、市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	B	現状維持・ある程度の成果がでている
スポーツ大会参加者数(人)	2,778	2,676		C	D	
				進捗している・期待通りの成果がでている		現状維持・ある程度の成果がでている
				あまり進捗していない・あまり成果がでていない		まったく進捗していない・まったく成果がでていない
市民スポレク大会参加者数(人)	2,418	2,324	課題・課題を踏まえた今後の展開	市民スポーツレクリエーションフェスティバルについては、体力や技術力に関係なく市民が親しみやすく、参加しやすい種目を選定して実施していく。		
決算額(千円)	2,641	2,716				

事業名	統合型地域スポーツクラブ		所管課	社会教育課		予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	地域スポーツの拠点として設立された総合型地域スポーツクラブの育成を支援するため、活動拠点の提供、施設の優先利用、施設使用料の減免、関連情報の提供及び補助金を交付する。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
通年事業参加延べ人数(人)	3,790	4,046		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
文化事業参加延べ人数(人)	126	68	課題・課題を踏まえた今後の展開	事業実施場所が市内体育施設だと限られるため、事業の拡大が困難である。体育施設以外の場所でも実施できる種目等を検討する。また、補助金の交付が平成27年をもって終期を迎えるため、自主運営できるよう必要な支援を行う。			
決算額(千円)	500	500					

【脚注】

※ 狛〇(こまわ)くらぶ：狛江市総合型スポーツ・文化クラブ。地域の方々を中心として、平成23年2月に設置された総合型スポーツ・文化クラブ。子どもから高齢者まで、気軽にスポーツ・文化活動を楽しむことができ、クラブが地域のコミュニティの拠点となることを目指している。

事業名	少年少女スポーツ振興(障がい者スポーツ教室等)		所管課	社会教育課		予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	少年少女を対象とした各種スポーツ大会及びスポーツ教室，狛江市立中学校スポーツ対抗戦を実施したほか，障がい者スポーツ教室を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
通年事業開催数(回)	3	3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
通年事業参加者数(人)	63	53	課題・課題を踏まえた今後の展開	フットサル競技のみならず，さまざまな種目を実施するための指導者の確保が必要である。また，スポーツ推進委員へ東京都が実施する障がい者スポーツ講習会への受講の義務化，スポーツ経験がない障がい者の参加を促すための周知方法を検討する。			
決算額(千円)	180	185		予算事業決算額のうち，該当部分の額			

予算事業決算額のうち、該当部分の額

個 別 施 策

◆ I - i まちづくり

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 土地利用の計画的誘導

施策小項目

- ・事後的な規制を中心とした考え方から、地区計画※の活用等による、まちづくりを事前に誘導する考え方との併用を検討していく。
- ・良好な住宅地の形成に向け、局部的な検討に留まることなく、近隣の住環境の向上にも寄与できるような地区計画の作成等についても検討していく。

事業名	地区計画関係費		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	多摩川住宅一団地の住宅施設に係る検討調査業務委託を、平成25年度に続き行った。多摩川住宅一団地の住宅施設を廃止し、地区計画へ移行するという方向性で東京都と協議していくことが確認されるなど、一定の成果は得られている。今後も多摩川住宅の住民による協議会活動と協働し、地区計画策定へ向け協議検討していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩川住宅の棟毎に、地区計画移行へ向けた建替え準備の進捗の差が出てきている。多摩川住宅一団地の住宅施設を一括で廃止しないと、建替え実施に向けて活動することも難しいため、今後も行政として地区計画移行へ向けた検討調査業務は継続していく。		
決算額(千円)	854	684				

- ・土地利用現況調査と交通量調査による市の土地利用の詳細な現況や交通環境の現状等を踏まえ、都市計画の変更等の検討を進める。

事業名	景観色彩等調査(交通実態調査)		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	本市の交通環境について統計データ等を整理し、課題を整理した。また、交通施策を推進することで目指すべき交通環境の目標を定め、現実による効果が大きく、より現実的な施策について、その具体的な推進方策、実現イメージ、目標値となる成果指標の設定を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後、交通政策基本法で地方公共団体の責務として規定されている「区域の自然的社会的諸条件に応じた交通施策の策定」にあたり、行政だけでなく市民や交通事業者等が連携・協力し、一体となって総合的に取組んでいく必要がある。		
決算額(千円)	8,915	15,617				

- ・都市計画マスタープランのさらなる具体化を推進し、住民発意による土地や建物の利用改善を進めるうえでより実効性のある制度とするため、まちづくり条例の見直しに向けた検討を進める。
- ・まちづくり条例の改正では、構想段階での狛江市との協議等、計画を検討している段階から、近隣の住宅地等の環境に配慮した対応も検討していく。

事業名	まちづくり条例改正		所管課	まちづくり推進課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	市民、事業者及び市の協働によるまちづくりを計画的に推進するため、まちづくり条例に基づく調整会を15回、構想検討会を2回開催した。まちづくり委員会を2回開催し、まちづくり条例に基づく事業について、議論、検討を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	まちづくり条例に基づく調整会が長期化している状況が続いている。調整会の運営方法、条例改正等に向けた検討を行っていく。		
決算額(千円)	-	-				

【脚注】

※ 地区計画：住民が中心となりルールを定め、地区特性に応じたきめ細かいまちづくりを行うための制度

・緑の基本計画や和泉多摩川緑地整備計画，都市公園の整備計画，景観維持に関する市の理念など，市の緑の確保に関する各種の方針と連動した具体的な整備計画を検討していく。

事業名	★和泉多摩川緑地都立公園整備化推進関係費		所管課		まちづくり推進課		予算科目	8-4-1	
事業概要・26年度の成果			庁内検討委員会を8回、策定委員会を3回開催し、構想素案のとりまとめに向けて、議論、検討を行った。						
指標(単位)			25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし						C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
					課題・課題を踏まえた今後の展開	構想素案をとりまとめ、シンポジウムや市民説明会、パブリックコメントを経て、構想の策定を行う。構想策定後は、都立公園誘致のため、東京都と協議を進めていく。			
決算額(千円)			-	6,932					
事業名	公園・緑地の配置方針策定			所管課		まちづくり推進課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果			平成25年度に策定した「公園・緑地の配置方針」（建設環境部）に基づき、概ね5年以内に整備すべきとされた場所について土地所有者の意向確認を行い、27年度に都市計画変更を行うべく、調整を行った。						
指標(単位)			25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし						C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
					課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度に新たに都市計画公園・緑地の都市計画決定を行い、合わせて現状都市計画決定されている都市計画公園のうち、宅地化され接道が難しいものについて、都市計画運用指針に照らし、同一の誘致圏内に都市計画公園がある場合には、当該公園を廃止する。			
決算額(千円)			-	-					

施策2．住宅施策の推進

施策小項目

・一般住宅における耐震診断や耐震改修の実施に向けた財政的支援，都条例に基づく緊急輸送道路※の沿道建築物の耐震化に向けた支援を行うことで，一般建築物の耐震化を推進する。

事業名	住宅耐震診断等助成			所管課	まちづくり推進課		予算科目	3-1-7		
事業概要・26年度の成果		木造住宅耐震診断は、4件、木造住宅耐震改修は、3件であった。平成25年度と比較して、26年度は助成件数が減少した。特定緊急輸送道路沿道建築物については、補強設計が1件完了した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震診断助成件数(木造)(戸)		13	4		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
耐震改修助成件数(木造)(戸)		10	3		課題・課題を踏まえた今後の展開 市の耐震診断助成制度や耐震改修助成制度の周知のため、広報やビラ配り等の既存の啓発運動では、助成件数の増加が難しいと感じている。平成27年度には、新たに耐震アドバイザー派遣制度を導入し、助成制度の啓発活動を強化し、助成件数の増加を図る。					
決算額(千円)		17,909	10,306							

【脚注】
※ 緊急輸送道路：震災時の緊急輸送や応急活動を担う防災拠点を結ぶ輸送ネットワークとして，道路管理者が指定する道路。市内では，世田谷通りと狹江通りの一部が都条例により沿道の建築物の耐震化が必要とされる「特定緊急輸送道路」に指定されている。

・関係機関と連携したマンションの管理に関するセミナーや相談、情報提供等を通じて、マンションの適正な管理や建替え・更新等を支援する。

事業名	市民相談関係費(マンション管理相談)		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果	4・7・10・1月の年4回、マンション管理相談を実施し、マンションを取り巻く諸問題の解決に一助になるよう取組んでいる。市民相談の一つとしてあるマンション相談のあり方を検討していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
マンション管理相談件数(件)	5	3		C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	近年、相談件数が伸び悩んでいる。マンションを含む住宅に関する部署であるまちづくり推進課でも同様の相談会を実施しているので、担当部署で実施している業務に統合していくことも検討していく必要がある。		
決算額(千円)	25 予算事業決算額のうち、該当部分の額	26				

施策3. 都市拠点の形成

施策小項目

・良好なまちづくりの形成のために必要な地区計画等の整備手法の調査・研究をあわせて行い、適正なまちづくりへと誘導していく。

事業名	地区計画関係費(再掲)		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	多摩川住宅一団地の住宅施設に係る検討調査業務委託を、平成25年度に続き行った。多摩川住宅一団地の住宅施設を廃止し、地区計画へ移行するという方向性で東京都と協議していくことが確認されるなど、一定の成果は得られている。今後も多摩川住宅の住民による協議会活動と協働し、地区計画策定へ向け協議検討していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩川住宅の棟毎に、地区計画移行へ向けた建替え準備の進捗の差が出てきている。多摩川住宅一団地の住宅施設を一括で廃止しないと、建替え実施に向けて活動することも難しいため、今後も行政として地区計画移行へ向けた検討調査業務は継続していく。		
決算額(千円)	854	684				

施策4. 良好な景観の形成

施策小項目

・狛江市における望ましい景観の姿を推進し、まちづくりに生かせるよう、市民参加による検討会議を実施していく。

事業名	景観色彩等調査(景観色彩調査)		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	平成25年度に実施した景観色彩等現況調査の結果を活用し、本市の景観に関する概況を把握し、建築物の壁面の色彩に関する課題を整理した。また、景観に関する施策の体系を基本とし、景観色彩に関する施策を展開する上での方針を定めた。また、景観に関する市民意識調査を行い、意識の把握を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度は、25年度の景観色彩調査、平成26年度の景観色彩基準策及び市民意識調査の結果から、(仮称)景観まちづくりビジョンの策定に向け、取組んでいく。		
決算額(千円)	8,915	16,081				

◆ I - ii 交通

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 交通環境の整備

施策小項目

・こまバスは、利用状況調査の結果を踏まえた運行計画等の見直しを通じて、誰もが利用しやすいコミュニティバスとしての運行に努める。

事業名	★コミュニティバス関係費	所管課	道路交通課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	利便性が向上するバス停の新設を検討した。利用者の増加に結びつく周知のため、市民まつりへ参加した。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
乗車人員(1便当り)	20.1	22.2		C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、利用者増に結びつくよう利便性の改善において対応できるものから、順次取り組みを検討していくとともに、利用者の掘り起こしの機会の創出として事業の周知を推進していく。	
決算額(千円)	17,555	10,763			

・警察署や交通安全協会等と連携した交通安全運動や交通安全キャンペーン、交通安全教室などを通じて、交通安全思想の普及・啓発を図っていく。特にマナーの悪化が問題化している自転車の交通ルールとマナーの向上を目指していく。

事業名	交通安全対策費	所管課	道路交通課	予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果	中学生と高齢者を中心に市民向けに、スタントマンによる自転車交通安全教室を実施。また春と秋の交通安全運動等で交通安全意識の向上に向けた取り組みを実施。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
講習会等実施回数(回)	3	2		C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者の交通事故防止と自転車事故防止を重点に交通安全意識の向上を目指していく。	
決算額(千円)	2,813	2,971			

・駅周辺を中心とした放置自転車の撤去・指導の強化に努めるとともに、民間施設を含む自転車駐車場のさらなる利用を促していく。

事業名	自転車整理関係費	所管課	道路交通課	予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果	駅周辺における放置自転車ゼロを目指し、放置自転車禁止区域における放置自転車撤去及び見回り指導の継続で、撤去台数・放置台数は減少傾向にあり、一定の成果が見られる。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
放置自転車の年間撤去台数(台)	1,294	1,130		C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
自転車等返還台数(台)	873	764	課題・課題を踏まえた今後の展開	日中における放置自転車は減少しているが、夕方以降の放置自転車が増加傾向にあるので、対策など検討していく。	
決算額(千円)	25,225	20,751			

施策2. 道路整備の推進

施策小項目

- ・道路点検調査の結果を踏まえた市道の整備を進めるとともに、都市計画道路についても、市の都市環境の現状や財政状況を踏まえ、実態にあった整備方針の整理を行っていく。
- ・生活幹線道路は、点検結果を分析・整理したうえで、まず通学路を優先し、次いで損傷度が高い路線から優先的に整備を進めていく。
- ・道路整備の推進にあたっては、狭あい道路の拡幅や歩行空間の確保に努めるとともに、道路移動等円滑化基準条例等に基づく道路のユニバーサルデザイン化を推進する。

事業名	★調布都市計画道路3・4・16号線整備費(七差路)	所管課	整備課	予算科目	8-4-3
事業概要・26年度の成果	七差路交差点の安全を確保するため路面標示等の改修工事を行った。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
用地取得面積(m ²)	10	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
整備延長(m)	0	65	課題・課題を踏まえた今後の展開	調布都市計画道路3・4・16号線(電中研前)整備の進捗に合わせた改修工事を検討する必要がある。	
決算額(千円)	10,150	10,214			
事業名	★調布都市計画道路3・4・16号線整備費(電中研前)	所管課	整備課	予算科目	8-4-3
事業概要・26年度の成果	都市計画事業の認可を取得し事業説明会を行った。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	計画的に事業を進めるため意向調査等を行い、円滑な用地取得及び道路整備を目指す。	
決算額(千円)	14,385	3,896			
事業名	市道32号線(八幡通り)整備事業	所管課	整備課	予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果	八幡通りの整備基本構想を策定するため、沿道に住む方々と懇談会を実施した。その懇談会で出された意見を整備基本構想に反映させた。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成28年度に八幡通りの整備基本設計を計画しているが、危険箇所の整備、優先順位の決定等を検討しなければならない。	
決算額(千円)	0	1,998			

事業名	★市道34号線整備事業		所管課	整備課		予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果	用地の取得のため継続的な用地折衝を行うが、事業への理解が得られなかった。また、土地評価の時点修正を行うため、不動産鑑定評価を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
整備延長(m)	138	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
用地取得面積(㎡)	0	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	事業に必要な用地の取得が難航しているが、引続き事業の必要性を十分に説明するとともに、他の手法についても検討する。			
決算額(千円)	10,260	898					

事業名	★道路維持費		所管課	整備課		予算科目	8-2-2
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線の工事（路線）及び設計（路線）を行った。さらに橋梁の長寿命化を図るため、箕和田橋と小足立橋の補修設計を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	972	528		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,550	1,148	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、早期の修繕完了を目指すとともに、橋梁補修工事を行い橋梁の長寿命化を図る。			
決算額(千円)	87,043	49,539					

事業名	★道路新設改良費		所管課	整備課		予算科目	8-2-3
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づく路線等の設計（5路線）を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
修繕を行った道路の延長(当事業分)(m)	0	467		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
設計延長(m)	1,080	633	課題・課題を踏まえた今後の展開	道路修繕計画に基づく修繕予定路線について、狭あい道路整備を行いながら早期の修繕完了を目指す。			
決算額(千円)	11,881	97,441					

事業名	★道路台帳作成・境界石設置・境界測量図作成		所管課	道路交通課		予算科目	8-2-1
事業概要・26年度の成果	道路修繕計画に基づき、境界測量図作成を実施。（379号線、226号線、227号線、487号線、110号線、222号線、524号線、196号線、706号線）						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	現在の事業規模を維持し、継続して展開する。			
決算額(千円)	32,269	35,752					

・水道道路は、信号機の設置など、警察と連携した交通安全対策の推進に加え、早期整備の実現に向け、都への働きかけを強めていく。

事業名	★水道道路の安全確保		所管課	まちづくり推進課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	水道道路沿道地域の各町内会及び沿道の小中PTAへ水道道路整備推進に向けた説明を行い、東京都に対して水道道路の整備推進等に係る要望書の提出をいただいた。水道道路の早期整備の実現に向けて、東京都の関連部署及び警察等関係機関と協議を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
なし				C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
			課題・課題を踏まえた今後の展開	水道道路は平成27年度に計画期間が満了となる、第三次事業化計画の優先整備路線となっている。平成28年度に新たに策定予定の第四次事業化計画の優先整備路線として選定してもらうよう東京都と協議を進め、早期整備実現に向け、引き続き地域住民への説明も行い、関係機関とも協議を進めていく。			
決算額(千円)	-	-					

・信号機の設置など、警察と連携した交通安全施設の整備を進めるほか、LED街路灯やカーブミラー等の設置、路側帯内のカラー舗装等を通じて、歩行者や車イス、ベビーカー、自転車利用者等の安全を確保していく。

事業名	街路灯維持管理費		所管課	道路交通課		予算科目	8-2-4
事業概要・26年度の成果	既設街路灯の維持管理及び路線毎にLED化を行った。 要望箇所等については、設置基準に則して新規設置を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
LED設置器数(維持管理委託内での設置を含まず)	82	87		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	防犯及び交通安全上の問題のある路線を中心に整備を推進する。			
決算額(千円)	39,457	41,792					

事業名	交通安全施設整備費		所管課	道路交通課		予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果	通学路を中心とした要望箇所・危険箇所等に交通安全施設整備を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
カーブミラー設置箇所数(箇所)	10	12		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
カラー舗装施工箇所(m)	1,815	440	課題・課題を踏まえた今後の展開	老朽化している交通安全施設の適正な更新時期をとらえ、計画的な作業を実施していく。			
決算額(千円)	13,785	11,513					

◆Ⅱ－ⅰ 市民交流

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策１．地域交流の推進

施策小項目

- ・町会・自治会の活動への財政的支援となる補助制度の利用促進に努めるとともに、活動のさらなる活性化に向け、防災等を重視した補助制度の仕組みづくりを行っていく。
- ・町会・自治会の未整備地区の解消に向け、情報提供・財政支援など、その設立に向けた支援に努める。

事業名	コミュニティ活動活性化助成		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-10
事業概要・26年度の成果	当補助金は、町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図ることを目的としている。平成26年度の交付団体は18団体で25年度同様であるが、交付総額は2,191,251円と25年度より増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
町会・自治会未整備地区の面積割合(%)	10.0	10.0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
申請する自治会・町会の割合(%)	61	62	課題・課題を踏まえた今後の展開	町会・自治会の未整備地区の解消を目指すとともに、町会連合（仮称）設立の動きに対し、支援を行う。		
決算額(千円)	2,169	2,191				

- ・活動の充実に向け、団体同士の連携を図るための情報交換・情報提供の場を提供していく。

事業名	NPO情報誌関係費		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-10
事業概要・26年度の成果	情報誌発行により市民活動情報を提供した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
発行回数(回)	12	12		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
発行部数(部)	396,000	396,000	課題・課題を踏まえた今後の展開	読み物として粕江市の魅力を発信するとともに、市民活動の支援を行う。		
決算額(千円)	7,160	7,365				

- ・コミュニティ活動の基盤的施設である地域・地区センターには、引き続き運営等への支援を行っていくこととあわせ、今後の運営のあり方について研究を進める。

事業名	地域センター運営協議会助成		所管課	地域活性課	予算科目	3-1-6
事業概要・26年度の成果	地域センターの管理を行うと共に、運営協議会実施事業を市民参加のもとで開催した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
運営協議会による事業数(事業)	63	67		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
事業参加者数(人)	4,560	4,492	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き運営等への支援を行っていくこととあわせ、今後の運営のあり方について研究を進める。		
決算額(千円)	53,423	53,631				

事業名	コミュニティ施設整備助成		所管課	地域活性課	予算科目	3-1-6
事業概要・26年度の成果	コミュニティ活動の拠点としての地域・地区センター備品の整備を実施する。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
備品要望における達成率(%)	20	100		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	コミュニティ活動の支援として各運営協議会の要望を整理し、助成金等を活用し、備品の整備を行う。		
決算額(千円)	582	2,508				

施策2. 都市間交流の推進

施策小項目

・住民同士の交流やイベントの共同開催、体験プログラムなど、市民意見を取り入れながら交流活動を推進するとともに、幅広い市民の参加を促していく。

事業名	友好都市交流推進事業関係費		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-10
事業概要・26年度の成果	ふるさと自然体験事業は、市内の小学校4年～6年生を対象として2泊3日でふるさと友好都市である新潟県長岡市川口地域で現地の小学生と一緒に交流キャンプを実施。よりあいつこ事業は、市内在住の20歳以上の方を対象として1泊2日で川口地域にバスハイクを実施している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
事業参加者数(人)	52	53		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
交流イベント数(件)	5	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	事業参加者の固定化が見受けられるため、広報方法の見直しを図りながら、より幅広い市民の参加を促していく。		
決算額(千円)	1,124	1,076				

◆Ⅱ－ⅱ 市民文化

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策１．さらなる地域文化の振興

施策小項目

・これまでの取り組みを土台として、市の文化・芸術活動における拠点となる市民ホールの指定管理者を中心に施策展開を図ることで、地域文化のさらなる醸成・成熟に向けた取り組みを推進していく。

事業名	市民ホール指定管理業務費		所管課	地域活性課	予算科目	10-5-5
事業概要・26年度の成果	指定管理業務として、市民ホールの自主事業（ホール事業18公演、ロビー公演6公演）及び貸館事業を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
ホール稼働率(%)	58	60		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公演事業数(件)	24	24	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度から第3期指定管理期間がスタートした。ホールを始め、各施設の利用率が微増となった。課題としては、自主事業公演の集客不足が挙げられる。平成27年度は開館20周年にあたるため、充実した公演を開催できるよう事業団と協力しながら周知活動に努めていく。		
決算額(千円)	95,099	104,223				

・事業主体への財政的支援や情報提供等を通じて、市の特色ある地域文化の成熟と次世代への継承を支援する。

事業名	★音楽の街-狛江推進		所管課	地域活性課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	「音楽の街-狛江」構想に基づく、音楽を活用したまちづくりの推進事業として、駅前ライブ5回、市民まつり駅前ライブ1回、市役所ロビーコンサート2回、学校公演5回、エリアコンサート7回、学校協力事業3回、市内中学校校歌収録事業1回、特別支援学級を中心とした音楽交流事業4回及びこま文化フェスティバルを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
有料・無料コンサート実施回数(回)	18	21		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	2,848	指定管理料に含む	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度は、「音楽の街-狛江」構想を改訂した。またシンボルコンサートが「こま文化フェスティバル」と名称を変えて復活し、「音楽の街-狛江」が新たな一歩を踏み出す年となった。課題としては聴衆の固定化が挙げられる。これまで行ってきたコンサート事業等は成熟してきたため、今後はさらに発展した事業とするために創意工夫が求められる。事業周知方法も模索し、新たな聴衆を取り入れるよう努める。		
事業名	★ラ・フォル・ジュルネ音楽祭推進関係費		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	狛江市でのL F Jの開催に向けて、L F Jびわ湖2014及びラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2014を視察した。東京国際フォーラムとの打合せを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	-	194	課題・課題を踏まえた今後の展開	実行委員会形式を検討しているが、L F Jの実施に当たってはアーティスト・ディレクターであるルネ・マルタン氏の意向が優先されることから、L F Jのイメージを崩さずに、いかにして狛江らしさを出していくかが課題となる。		

事業名	★絵手紙事業推進		所管課	地域活性課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	絵手紙を通じたまちづくりの推進事業として、絵手紙教室19回、4回連続絵手紙教室延べ8回、親子絵手紙教室1回、絵手紙講師派遣30回等を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
絵手紙教室開催数(回)	32	28		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
絵手紙教室参加者(人)	1,441	1,536	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度より市民ホール指定管理者である一般財団法人狛江市文化振興事業団の主催事業となった。課題としては、絵手紙参加者の固定化が挙げられる。絵手紙未経験者が気軽に参加できるような魅力的なイベントの創出と効果的な宣伝方法の工夫が今後の課題である。		
決算額(千円)	1,269	指定管理料に含む				

施策2. 文化・芸術活動の推進

施策小項目

・指定管理者と連携して、市民ホールのさらなる活用と事業の充実を図ることで、市民の文化・芸術活動の推進に努める。

事業名	市民ホール指定管理業務費(再掲)		所管課	地域活性課	予算科目	10-5-5
事業概要・26年度の成果	指定管理業務として、市民ホールの自主事業（ホール事業18公演、ロビー公演6公演）及び貸館事業を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
ホール稼働率(%)	58	60		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公演事業数(件)	24	24	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度から第3期指定管理期間がスタートした。ホールを始め、各施設の利用率が微増となった。課題としては、自主事業公演の集客不足が挙げられる。平成27年度は開館20周年にあたるため、充実した公演を開催できるよう事業団と協力しながら周知活動に努めていく。		
決算額(千円)	95,099	104,223				

・市民ホール舞台設備修繕(更新)計画に基づく計画的な修繕を行い、文化・芸術活動の拠点として、施設の安定的な運営を支援する。

事業名	★市民ホールの修繕		所管課	地域活性課	予算科目	10-5-5
事業概要・26年度の成果	平成26年度は音響設備出力系修繕を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民ホールの修繕は、舞台修繕という大規模であり特殊なものであることから、費用がかさみがちであるが、文化庁の芸術文化活動支援員による指導・助言等をもとに策定された修繕計画に基づき、着実に修繕を行っていく必要がある。		
決算額(千円)	21,057	53,676				

◆Ⅱ－Ⅲ 地域振興

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策１．商工業の振興

施策小項目

・意欲ある事業者を支援し、魅力ある商品づくりを促すよう、全庁的な取組みとしてわくわくコンテストを実施し、優秀作品等のPRに努める。

事業名	★こまえ元気わくわく事業		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	参加店が新たな商品等を開発し、逸品とする取組に対して支援するため、コンテストを実施した。特別賞を新たに設け、満足度を測り、また、歴代入賞商品の紹介冊子を作成し、周知を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
参加店数	-	14		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加者数	-	279	課題・課題を踏まえた今後の展開	コンテストで開発したメニューの定着は難しいと感じている。今回は総括的な事業検証を行い、事業の必要性も含めて分析する。		
決算額(千円)	-	1,253				

・商店街への支援に努めるとともに、商工会との連携強化を図る。

事業名	★商工振興補助		所管課	地域活性課		予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	粕江市商工会に対し、運営管理等及び地域総合事業に係る補助を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
商工会会員数(人)	908	911		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
装飾街路灯電気料補助商店街数(件)	12	11	課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市商工会に対しては、補助を実施するのみでなく、それぞれの事業について連携し、事業効果を高めていく必要がある。また、商店会の街路灯に係る電気料については、環境に優しく、電気料金を抑制していくため、より一層のLED化を図っていく。			
決算額(千円)	12,153	12,299					
事業名	★新・元気をさせ！商店街事業費補助		所管課	地域活性課		予算科目	7-1-2
事業概要・26年度の成果	粕江市内17商店会のうち、7の商店会及び1の協議会がイベントを実施し、当該事業費に対する補助を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
活性化事業補助件数(件)	0	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
イベント事業補助件数(件)	9	8	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントを実施する商店会が固定化しているため、個店への支援等を含め、商店会の組織力向上に資する事業を検討していく。			
決算額(千円)	5,118	5,226					

・中小企業や小規模事業者等に向けた事業資金の融資あっ旋に引き続き取り組むとともに、勤労者互助会については、会員増加を促していく。

事業名	勤労者互助会関係費		所管課	地域活性課	予算科目	5-2-1
事業概要・26年度の成果	泊江市勤労者互助会に対し、事業及び管理運営に関する経費について補助を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
会員数(人)	635	610		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
事業所数(件)	169	164	課題・課題を踏まえた今後の展開	市内小規模事業所及び小規模企業に勤務する市民については、景気変動の影響を受けやすいため、経営状況は厳しいものがある。今後は、より一層の会員間の交流を図り、福祉の増進等の事業の充実を図っていき、地域経済のより一層の活性化を図るとともに会員数の増加を図っていくべきであると考え。		
決算額(千円)	3,759	3,460				
事業名	★中小企業者事業資金融資あっ旋等関係費		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-1
事業概要・26年度の成果	中小企業者、小規模企業者等が事業経営をしていくために、必要な資金を融資あっ旋する。小口事業資金の件数は減少したものの、小規模企業事業資金の件数の実績は上昇しており、また、設備資金の件数も上昇しているため、景気回復による、小規模企業者の設備投資意欲も上昇しているものと考えられる。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
新規開発融資制度あっ旋件数(件)(累計)	1	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
あっ旋件数(件)	小口8件 小規模16件	小口6件 小規模21件	課題・課題を踏まえた今後の展開	創業資金及び研究開発資金の申込み件数の実績がなかったため、情報収集や情報交換を商工会と行っていく。		
決算額(千円)	6,122	4,919				

・起業者に対しては、新商品の研究・開発等への財政的支援とあわせ、空き店舗検索サイトによる物件情報の提供や、空き店舗を活用したインキュベーション施設[※]等の導入に向けた研究など、商工会とも連携し、様々な方策による支援を行っていく。

事業名	★市内空き店舗等情報の提供		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-1
事業概要・26年度の成果	市内空き店舗等情報検索のHPの運用。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
新規登録件数(件)	0	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
更新登録件数(件)	0	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	周知や契約の際に、当該ホームページが寄与しているかは不明。商工会と連携した運用のあり方の検討していく。		
決算額(千円)	67	69				

【脚注】

※ インキュベーション施設：ベンチャー企業など起業家の育成を目的とした研究開発型の期限付き賃貸オフィススペース等のこと。

施策2. 都市農業の振興

施策小項目

・有機栽培や減農薬普及など品質が高く付加価値のある農産物の生産を支援するとともに、地域ブランド化による販路拡大に努める。

事業名	★農業振興関係費(ブランド化の推進)		所管課	地域活性課	予算科目	6-1-3
事業概要・26年度の成果	平成26年度に策定した農業振興実施計画に基づき、狛江ブランド野菜の販売が開始され、その広報活動のために必要な消耗品の購入、及び農家がGAP手法に取組むために必要な事業費の補助を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
狛江ブランド野菜生産農家数(軒)(累計)	17	18		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江ブランド野菜を認知していない市民も多くいると考えている。今後の広報活動の実施方法について検討する。		
決算額(千円)	3,067	4,411				
予算事業決算額のうち、該当部分の額						

・都をはじめ、関係機関と連携し、放射線物質検査の結果など、生産された農産物の安全性が担保されるような情報の提供に努める。

事業名	放射線測定結果の公開		所管課	地域活性課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	関係機関と連携し、放射線物質検査の結果などを、生産された農産物の安全性が担保されるような情報を、市ホームページで公表している。平成26年度は4件の情報を公表した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
HP公表件数(件)	4	4		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市内農産物の安全性を市民に知ってもらうため、引き続き広報を行う。		
決算額(千円)	-	-				

・市内の農地の状況を踏まえ、市民のニーズに応じていくことができるよう、市民農園の充実に努める。

事業名	市民農園関係費		所管課	地域活性課	予算科目	6-1-4
事業概要・26年度の成果	市民が自然とふれあい、農業に対する理解を深めることを目的とし、市民農園を管理運営している。平成26年度は、全農園全区画が埋まっている状態であった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
農園数(園)	9	9		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市民農園区画数(区画)	414	413	課題・課題を踏まえた今後の展開	区画の空き待ちをしている方が多くいるため、新規開設できる農地がないかの情報収集を行う。		
決算額(千円)	4,529	2,190				

- ・認定農業者・体験型農園等の取組みを通じて、農業経営地盤の強化を支援していく。

事業名		★農業振興関係費(認定農業者・体験型農園等)		所管課		地域活性課		予算科目		6-1-3					
事業概要・26年度の成果		平成26年度に策定した農業振興実施計画に基づき、市内農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、その計画達成に必要な事業費を補助している。平成26年度は、都市農業経営パワーアップ事業を活用し、農業者の経営基盤強化に寄与した。また、雪害対応として、経営体育成支援事業を活用して、被災農業者支援を行った。													
指標(単位)		25年度		26年度		進捗・成果		A		進捗している・期待通りの成果がでている		B		現状維持・ある程度の成果がでている	
体験農園区画数(区画)		74(市内利用者71区画)		77(市内利用者74区画)				C		あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D		まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
認定農業者数(人)		19		20		課題・課題を踏まえた今後の展開		課題としては、新規の認定農業者の確保のための広報活動と、2回目の認定農業者に対する補助のあり方を検討する。							
決算額(千円)		5,899		8,227											
		予算事業決算額のうち、該当部分の額													

施策3. 観光の推進とイベントの充実

施策小項目

- ・引き続き観光協会への支援を行うとともに、今後検討する多摩川の総合的な利活用に関する方針に沿って、観光資源としての活用を進めていく。

事業名	★多摩川利活用基本計画策定		所管課	環境政策課		予算科目	8-3-1
事業概要・26年度の成果		多摩川利活用基本計画及び実施計画を策定した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	196	-	多摩川利活用基本計画及び実施計画に基づき、多摩川利活用の推進を着実に図る。				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	★観光協会補助		所管課	地域活性課		予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果		狛江古代カップ多摩川いかだレース、多摩川流域郷土芸能フェスティバルへの支援、観光協会推奨商品の増加、狛江ロケーションサービスの事業試行、こまえ枝豆産ピアガーデンの開催をした。また、花火大会実施に向けた検討をしていく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
推奨商品数(商品)	10	12		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	1,017	1,040	花火大会の実施、狛江ロケーションサービスの本格実施、その他観光事業の推進をしていく。				

・観光振興に向け、市の歴史遺産や文化財なども含めた様々な市の魅力について、市内外に向けた情報発信を行っていく。

事業名	★観光マップ作成		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果	平成25年度に作成した観光マップの在庫が不足したため、増刷し、市内公共施設及び掲載店等で追加配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
作成部数(部)	10,000	4,000		C あまり進捗していない・あまり成果がでない	D まったく進捗していない・まったく成果がでない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	観光マップの掲載内容については、順次変化するため、情報を更新し、見直しを図る必要がある。そのため、新たな観光マップを作成するための検討を行っていく。		
決算額(千円)	1,102	298				
事業名	★協働まちづくり関係費(狛江のまち-魅力百選)		所管課	まちづくり推進課	予算科目	8-4-1
事業概要・26年度の成果	「狛江のまち-魅力百選」を6,000部発行し、小中学校も含め約5,000部を無料配布を行った。その他イベントにおいても配布を行い、周知した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでない	D まったく進捗していない・まったく成果がでない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も周知に努めるとともに、狛江のまち-魅力百選を活用したまち歩き等を実施する等により狛江の魅力を発信し、認識を高めていく。		
決算額(千円)	1,491	357				

・市民まつりの充実に向けた協賛金の確保に努めるとともに、運営に携わる様々な団体に、人材の確保と引継ぎ等を促していく。

事業名	★市民まつり関係費		所管課	地域活性課	予算科目	2-1-10
事業概要・26年度の成果	第二中学校のダブルダッチの演技や、狛江高校の箏の演奏、災害時相互応援協定締結市(静岡県三島市、山梨県上野原市)の出店等により、平成26年度は69,000人の来場者を迎え、市内最大のお祭りとして盛り上った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
来場者数(人)	67,000	69,000		C あまり進捗していない・あまり成果がでない	D まったく進捗していない・まったく成果がでない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度は市制施行45周年のため、スタンプラリーなど新規事業を行う。		
決算額(千円)	5,000	5,300				

・いかだレースや多摩川流域郷土芸能フェスティバルなど、市の特徴あるイベントの充実に向けていく。

事業名	★狛江古代カップ多摩川いかだレース		所管課	地域活性課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩川の夏の風物詩として定着しているいかだレースを共催した。河川敷で禁止されていたバーベキューを試験的に解禁し、出場選手やその家族などを対象にバーベキューを行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
参加チーム数(チーム)	86	80		C あまり進捗していない・あまり成果がでない	D まったく進捗していない・まったく成果がでない	
主催者発表来場者数(人)	約10,000	約10,000	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントとしての新たな充実を図り、市内外からの来訪者を増加させる。		
決算額(千円)	-	-				

事業名	★初春まつり関係費		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	1月に市制施行45周年記念事業第1弾として、毎年第2日曜日に開催している「粕江多摩川ロードレース」「どんと焼き」「粕江市消防団出初式」の3つのイベントを同一会場に集めて開催した。会場ではとん汁の無料配布も行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	3つのイベントを同一会場で初めて実施し、各団体との連携が不足していた。各団体との連携の強化、とん汁の無料配布や会場の整理の人員の確保に市民と協働して実施していく。		
決算額(千円)	-	443				
事業名	★桜まつり関係費		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	シティセールスの取組みとして、根川さくら通りで3月29日から4月4日にかけて桜のライトアップを行い、魅力的な景観を演出した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	初めての開催にあたり近隣町会、関係団体との調整が多かった。秘書広報室の広報業務・情報発信に専念できなかった。次の開催に向けては、市主体から市民参加の実行委員会形式による開催を検討したい。		
決算額(千円)	-	655				
事業名	★シティセールス推進		所管課	秘書広報室	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	粕江市のシティセールスの指針として、平成26年4月に粕江市シティセールスプランを策定した。庁内組織として粕江市シティセールス推進庁内検討委員会を設置し、10月に粕江市シティセールスプラン実施計画を策定した。実施計画に基づいて、観光大使の設置やこまえ初春まつり等を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市シティセールスプラン実施計画にもとづいた重点・個別事業の実施にあたり、市民・事業者との連携、財源の確保を図りながら推進していく。		
決算額(千円)	-	-				
事業名	★(仮称)市制施行45周年事業花火大会関係費		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-4
事業概要・26年度の成果	粕江市観光協会において、粕江市民花火大会実行委員会を立ち上げ、4回の実行委員会を開催した。粕江側の関係機関と調整を行うとともに、対岸である川崎側の関係機関との円滑な調整に重点を置いた。平成26年度時点での関係機関との調整事項等を反映した実施計画として作成した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度中に粕江側・川崎側の関係機関と多くの調整を行ったことで、実施計画を作成し、花火大会の開催に向けて具体的な動きが定まった。これにより平成27年度では関係機関との調整がより円滑に進み、実行委員会で決定したことを地域活性課において3チームに分かれ、並行して実施したことで事故等もなく無事に花火大会を終えることができた。		
決算額(千円)	-	1,188				

事業名	★多摩川流域郷土芸能フェスティバル		所管課	地域活性課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩川流域郷土芸能フェスティバルを共催した。日野市、多摩市、調布市の3つの団体が新たに参加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
一般来場者数(人)	327	342		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
出演団体数(団体)	6	8	課題・課題を踏まえた今後の展開	イベントとしての新たな充実を図り、市内外からの来訪者を増加させる。			
決算額(千円)	-	-					
事業名	★多摩川流域7自治体交流イベントラリー		所管課	政策室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	効果的なまちの魅力発信を図るため、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市、川崎市、多摩川流域懇談会と連携し、各参加自治体のイベントをスタンプラリーで繋ぐイベントラリーを実施した。連携自治体は平成25年度から3自治体増加し、7自治体交流として開催する等、他市との連携を強化して事業を実施した。一定数以上のイベントに参加した方は、賞品抽選へ応募ができることとし、延べ応募者数は、720人となった。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
延べ応募者数(人)	176	720		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	連携自治体を増やし、事業効果の一層の拡大を狙う。			
決算額(千円)	-	-					
25年度の事業名は「多摩川流域4自治体交流イベントラリー」							
事業名	★多摩3市うまいものフェア		所管課	秘書広報室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	多摩3市うまいものフェアは、東京都市長会の多摩・島しょ広域活動助成金を活用し、狛江市、東大和市、武蔵村山市との連携を図りながら、各市のご当地の食を市内外に発信する事業である。平成26年度は東大和市を会場に実施し狛江市からは、こま丼、スープ餃子を出品し、狛江の食を市外に発信することができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩3市うまいものフェアは、多摩・島しょ広域活動助成金の補助対象期間の平成24年度から26年度までをもって終了した。			
決算額(千円)	-	-					

施策4. 消費生活の充実

施策小項目

- ・消費生活相談コーナーの認知度向上を図るとともに、消費生活に関する情報提供・意識啓発等の周知活動を推進する。
- ・これまでの取組みを踏まえ、消費者問題の認知・啓発に向けた事業のあり方を検討していく。

事業名	消費経済対策費		所管課	地域活性課	予算科目	7-1-3
事業概要・26年度の成果	消費生活相談コーナーの周知及び消費者被害防止の啓発を図るため、イラスト付きフルカラーの消費生活相談事例集を発行した。くらしフェスタは、60歳以上の方を中心とする来場があった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
消費生活相談の相談件数(件)	408	423		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
くらしフェスタ来場者数(人)	441	550	課題・課題を踏まえた今後の展開	消費生活相談コーナーは、近年、70歳代以上の方の相談が増加している。そのため、高齢者に対する啓発を図っていく。また、くらしフェスタは、来場者数の更なる増加を目指し、実行委員会において、チラシ等の新規配布先を検討していく。		
決算額(千円)	4,657	5,126				

◆Ⅱ-iv 生涯学習

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 生涯学習機会の充実

施策小項目

・生涯学習に関する情報の提供・発信を通じて、市民の生涯学習環境を整備し、市民一人ひとりの自主的な活動を支援していく。

事業名	広報等による情報発信		所管課	公民館	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	公民館で実施する各事業や利用者懇談会等については、広報や市ホームページにより広く情報を発信した。また、チラシやポスターの作成にあたり、イラストや画像等も用いて内容に興味を持っていただけるよう工夫した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	これまでの情報媒体以外に、新たにフェイスブックを活用し、事業等の予定だけでなく、実施結果や日常的な情報についても積極的に発信する。		
決算額(千円)	-	-				
事業名	生涯学習推進関係費		所管課	地域活性課	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	平成26年10月17日から「こまなび電子版」を開設し、生涯学習団体自身で情報発信が可能となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
ページビュー／月平均		7,677		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	情報発信を行う団体が固定化しており、多様な団体が自ら情報発信をしていくことが望まれる。なお一層のPRに努め、新たな団体の掘り起しを行っていく。		
決算額(千円)	271	2,394				

・人と人との繋がりが、地域の課題の解決に向けて主体的に取り組む契機となるような学習の場の提供を行っている。

事業名	こまえ市民大学		所管課	公民館	予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	こまえ市民大学運営委員会を毎月開催し、時期の話題等も考慮した講座の企画等を行った。講座については、長年継続して電力中央研究所や慈恵第三病院との地域連携講座を実施しているほか、市内で活躍する事業所や人などにも焦点をあてたものや、講座毎に実施するアンケート等も参考に、幅広く市民ニーズにあった内容で講座を行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
開催数(回)	22	21		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
受講者数(人)	768	1,037	課題・課題を踏まえた今後の展開	年間実施回数は20数回が限界であり、継続的な講座などを除くと自由にテーマ設定できる回数が限られてくるため、実施時期や順序など綿密な調整が必要である。また、公民館の他事業との整理・統合等についても市民目線で検討する必要がある。		
決算額(千円)	805	876				

事業名	公民館交流事業		所管課	公民館	予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	昨年度、中央公民館のつどいは第30回、いべんと西河原は第26回目の開催となった。両事業とも、実施に向け利用団体を中心とした実行委員会を立ち上げ、事業の企画や運営、当日の役割分担等については実行委員会が主体的に取り組むなど、毎年趣向を凝らしながら実施している状況である。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
参加団体数(団体)	180	168		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加者数(人)	15,393	18,113	課題・課題を踏まえた今後の展開	実行委員会の中でも特定の団体・人に負担が偏っている状況もあるため、役割をより細分化するなどバランスを取る必要がある。また、実行委員会が発端となって公民館利用団体の紹介コーナーを常設するなど公民館の活性化につながっているものもあり、今後も積極的に取り組んで行く。		
決算額(千円)	250	250				
事業名	成人学習事業		所管課	公民館	予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	成人を対象とした事業として、西河原公民館では「郷土史講座」「木工教室」「木育」、中央公民館では「認知症予防講座」「市民ゼミナール」「公民館学習」「男の料理教室」を実施した。大半の事業は継続的に実施している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
実施回数(回)	39	33		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加者数(人)	461	403	課題・課題を踏まえた今後の展開	本事業の中には、事業実施後に新規団体が設立されるなどの成果が得られている。本事業以外にも、受講者の多くが成人である他の事業(市民大学、女性セミナー等)もあり、成人学習事業ならではの事業の特徴を整理し、効果的に実施する必要がある。		
決算額(千円)	401	409				
事業名	女性セミナー		所管課	公民館	予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	西河原公民館では「女性セミナーⅠ(対象：未就学、未就園児とその親)」と「いきいき子育てルーム」、中央公民館では「女性セミナーⅡ(対象：乳幼児の親)」と「女性問題講座」を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
実施回数(回)	65	67		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加者数(人)	2,151	2,090	課題・課題を踏まえた今後の展開	女性セミナーⅠ、Ⅱなどの区分けの必要性和整理、また、講座等のメニューの検討などを通して、子育て期の女性をはじめ多様な年代や立場の方が興味を持って参加できるよう、講師や指導者とも相談しながら工夫し実施する。		
決算額(千円)	832	853				

・公民館における施設の老朽化や備品の経年劣化等に伴う更新を計画的に行うことで、学習環境や活動環境の整備に努める。

事業名	★西河原公民館管理費		所管課	公民館	予算科目	10-5-3
事業概要・26年度の成果	平成25年度に策定した西河原公民館ホール舞台設備修繕（更新）計画に基づき、調光器盤及び操作卓の更新を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	計画に基づく対応を進めつつ、平成29年度以降予定されている西河原公民館設備等改修工事での対応等も考慮し、公民館利用者の利便性向上と効率的・効果的な設備修繕の両立を視野に対応する。		
決算額(千円)	945	17,820				
	予算事業決算額のうち、該当部分の額					

施策2. 図書館利用の推進

施策小項目

・蔵書構成の充実や他の自治体との相互貸借の活用、ホームページによる情報発信等を通じて、広く図書館利用を促し、生涯学習に取り組む市民を支援するとともに、郷土行政資料の活用を通じて市民が地域を知る機会の創出に努めていく。

事業名	ホームページ運営費		所管課	図書館	予算科目	10-5-4
事業概要・26年度の成果	ホームページ利用を推奨するため、ウェブサイト上での資料検索や予約受付等の情報提供を徹底することにより、利用の拡大を図り、サービス向上に繋げた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
アクセス数(件)	136,582	153,556		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度に予定されているシステムの入れ替えも併せて、より利用しやすい環境を構築していく。		
決算額(千円)	759	712				

・図書館における親子や乳幼児を対象とした事業を推進・充実させるとともに、子ども読書活動推進計画を踏まえ、子どもが読書に親しむための環境整備に努める。

事業名	ブックスタート事業		所管課	図書館	予算科目	10-5-4
事業概要・26年度の成果	3・4カ月児健康診査会場で、絵本の読み聞かせや、乳幼児向け絵本1冊と推薦する絵本のリストなど配布し、絵本を通して子どもとふれあいを持つことの大切さを伝えた。平成26年度より、セカンドブック事業については別事業とした。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
ブックスタート配布数(人)	639	677		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も引き続き、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと向き合い、心触れあうきっかけづくりのために、事業を展開していく。		
決算額(千円)	1,239	527				
事業名	セカンドブック事業		所管課	図書館	予算科目	10-5-4
事業概要・26年度の成果	子ども自身が読書の楽しさを知り、読書活動を自発的に行うよう小学校1年生を対象に一人に1冊、本を贈呈する。平成26年度よりブックスタート事業から独立し、新規事業とした。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
配布数(人)	547	591		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	小学校の教職員の負担をなくし、対象者の利便性の向上のため、平成27年度に実施方法の見直しなどを検討する。		
決算額(千円)		644				

事業名	子ども読書活動推進事業		所管課	図書館	予算科目	10-5-4
事業概要・ 26年度の成果	子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し、提供した。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や図書展示などを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
おはなし会等参加者数(人)	1,822	1,701		C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
特別おはなし会参加者数(人)	77	92	課題・ 課題を踏まえた今後の展開	子どもたちが本と出会い、親しむ環境を作るため、さらなる事業内容の充実と向上を図る。		
決算額(千円)	332	627				

・対面朗読・録音図書など、障がい者等図書館利用に何らかの障がいのある方が図書館サービス・資料の提供を受けるための支援に努める。

事業名	利用支援サービス事業		所管課	図書館		予算科目	10-5-4
事業概要・26年度の成果	図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを実施する。印刷物を読むことが困難な方向けの新しい録音機器テキストDAISYの研修を実施。来館が困難な方への宅配サービスや高齢者施設への大活字本の宅配サービスを行った。また、市民向け講演会を実施し、多くの方が参加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
対面朗読(時間)	163	87		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
配達サービス(回)	55	30	課題・課題を踏まえた今後の展開	利用者に対する利用支援サービスのさらなる質の向上と、安定した供給ができるよう、利用支援サービス協力員を継続的に確保し、研修等の充実により、育成していく。			
決算額(千円)	519	310					

施策3. スポーツ・レクリエーション活動の促進

施策小項目

・国体※の開催を契機として、市民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる環境整備に努める。

事業名	★少年少女スポーツ振興		所管課		社会教育課		予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	青少年を対象とした各種スポーツ大会及び教室，市立中学校スポーツ対抗戦を実施したほか，平成26年度はプロ選手を招致したバスケットボール教室を実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
少年少女スポーツ大会参加者数(人)	989	867		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
小中高生対象スポーツ教室参加者数(人)	903	766	課題・課題を踏まえた今後の展開	現在の教室運営者（狛江市スポーツ推進委員）のみならず，狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（狛〇クラブ）や狛江市体育施設指定管理者との連携を図っていく。また，社会教育課単独ではなく，児童青少年課の放課後こどもクラブへの出前事業等，他課と連携をしながらスポーツ振興を図っていく。				
決算額(千円)	2,843	2,716						

【脚注】

※ 国体(多摩国体)：平成25年に東京都で開催された第68回国民体育大会。多摩・島しょ地域を中心に都内全域で開催する。狛江市では、平成25年9月29日・30日に市民総合体育館でバレーボール競技(少年男子)を開催した。

事業名	★市民スポーツ大会関係費		所管課	社会教育課	予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	NPO法人狛江市体育協会に事業を委託し、市民体育大会、市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
スポーツ大会参加者数(人)	2,778	2,676		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市民スポレク大会参加者数(人)	2,418	2,324	課題・課題を踏まえた今後の展開	市民スポーツレクリエーションフェスティバルについては、体力や技術力に関係なく市民が親しみやすく、参加しやすい種目を選定して実施していく。		
決算額(千円)	2,641	2,716				

- ・スポーツ活動における市民ニーズの把握・分析を行うとともに、市・狛〇(こまわ)くらぶ※・体育施設指定管理者・市体育協会の連携を強化することで、新たなスポーツ愛好者の掘り起こしと広く市民全体へのスポーツ活動の普及の推進を図る。
- ・地域の団体や福祉部門と連携し、障がい者スポーツの推進に努める。

事業名	★統合型地域スポーツクラブ		所管課	社会教育課	予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	地域スポーツの拠点として設立された統合型地域スポーツクラブの育成を支援するため、活動拠点の提供、施設の優先利用、施設使用料の減免、関連情報の提供及び補助金を交付する。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
通年事業参加延べ人数(人)	3,790	4,046		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
文化事業参加延べ人数(人)	126	68	課題・課題を踏まえた今後の展開	事業実施場所が市内体育施設だと限られるため、事業の拡大が困難である。体育施設以外の場所でも実施できる種目等を検討する。また、補助金の交付が平成27年をもって終期を迎えるため、自主運営できるよう必要な支援を行う。		
決算額(千円)	500	500				
事業名	★少年少女スポーツ振興(障がい者スポーツ教室等)		所管課	社会教育課	予算科目	10-6-1
事業概要・26年度の成果	少年少女を対象とした各種スポーツ大会及びスポーツ教室、狛江市立中学校スポーツ対抗戦を実施したほか、障がい者スポーツ教室を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
通年事業開催数(回)	3	3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
通年事業参加者数(人)	63	53	課題・課題を踏まえた今後の展開	フットサル競技のみならず、さまざまな種目を実施するための指導者の確保が必要である。また、スポーツ推進委員へ東京都が実施する障がい者スポーツ講習会への受講の義務化、スポーツ経験がない障がい者の参加を促すための周知方法を検討する。		
決算額(千円)	180	185				

【脚注】

※ 狛〇(こまわ)くらぶ：狛江市統合型スポーツ・文化クラブ。地域の方々を中心として、平成23年2月に設置された統合型スポーツ・文化クラブ。子どもから高齢者まで、気軽にスポーツ・文化活動を楽しむことができ、クラブが地域のコミュニティの拠点となることを目指している。

施策4. 歴史遺産・文化財の保存の活用

施策小項目

・「新狛江市史[※]」の編さんのほか、将来的な公開・活用に備えた歴史的資料・文化財の整理を行い、学校教育や生涯学習など、様々な場での活用に努める。

事業名	市史編さん事業費		所管課	市史編さん室	予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	平成25年度から引き続き、寄贈・借用史料の整理を進め、必要に応じて古文書の修復、デジタル撮影を行った。また、明治初期の史料を編集した『資料編 近現代1』を編集・刊行した。テーマを特定した座談会を2回開催したほか、地区ごとに民俗調査を進め、前年度の聞き書き調査の成果を『民俗調査報告書 1 猪方の民俗』として編集・刊行した。普及・啓発事業としては、市史関連講演会を2回、古文書講座を2回開催したほか、編さん事業の最新成果を盛り込んだ『市史研究』第2号を刊行した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果			
市史関連講演会・講座等の開催回数(回)	2	4		A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市史関連刊行物の刊行冊数(冊)	1	3	課題・課題を踏まえた今後の展開	現在まで、市史編さん事業の基本方針に定められた刊行計画に沿って作業が進んでいるが、今後、史料調査の進展に伴い、刊行計画の見直しが必要となっているほか、ホームページ等を活用した普及・啓発事業への取り組みや学校教育・生涯学習などの場における積極的な活用が課題となっている。		
決算額(千円)	12,616	17,812				
事業名	文化財保護関係費		所管課	社会教育課	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	市内の社寺が所有する文化財の総合調査に着手するとともに、市文化財として新たに「井伊直弼公敬慕碑」を指定したほか、土屋塚古墳の寄附を受け、擁壁の整備、樹木のせん定など整備を行い、文化財説明板を新設した。普及啓発事業として、東京文化財ウィーク期間に、文化財関連講演会や史跡めぐりなどを行い、「文化財調査報告書第30集」、こまろ文化財ブックレット3「狛江の発展と鉄道」を刊行したほか、ブックレット2を再版した。市内小・中・高6年生向けに文化財ガイドを配布し、全クラスにて出前授業を実施するとともに、小学3年生向けのガイドを作成し、配布したほか、夏休みには子ども向けに勾玉づくり教室を開催した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果			
文化財関連刊行物の作成状況(種類)	3	5		A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市文化財候補選定数(件)	0	1	課題・課題を踏まえた今後の展開	市内の社寺を中心に総合調査を継続し、指定文化財候補の調査を進めるとともに、市内に残された文化財のネットワーク化を目指し、文化財めぐりの実施を通じて、散策ルート等の検討を進めていく。		
決算額(千円)	1,500	7,978				

・猪方小川塚古墳の保存・整備に向けた検討を進めるとともに、市指定文化財の案内等の充実を通じて、市の歴史的遺産に関する市民への周知・啓発に努める。

事業名	埋蔵文化財保護関係費		所管課	市史編さん室	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	市内における開発事業等に先立つ試掘調査は9件実施し、うち遺跡が確認された2件について事業者と調整のうえ、本調査を実施した。猪方小川塚古墳の保存・整備については、保存整備検討委員会において、整備にあたっての基本的な考え方を検討し、答申を受けた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果			
試掘調査数・発掘調査数(件)	11	8		A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
遺跡の照会件数(件)	1,022	1,051	課題・課題を踏まえた今後の展開	試掘調査数、発掘調査件数は、開発、建設工事の状況に左右され、やや減少傾向にある。今後は、これまでの調査で蓄積してきた出土遺物や調査成果を市民向けに活用できるよう検討を進めるほか、猪方小川塚古墳については、整備・公開に向けて保存整備工事の基本設計を進める。		
決算額(千円)	2,819	2,675				

【脚注】

※ 新狛江市史：市制施行50周年を迎える32年度の刊行を目指し、編さん作業を進めている。

・寺社や古墳など歴史的遺産を中心とした散策のためのネットワークづくりに努め、市民が身近に市の歴史や文化財に親しめる環境を整備していく。

事業名	文化財保護関係費(再掲)		所管課	社会教育課	予算科目	10-5-1
事業概要・ 26年度の成果	市内の社寺が所有する文化財の総合調査に着手するとともに、市文化財として新たに「井伊直弼公敬慕碑」を指定したほか、土屋塚古墳の寄附を受け、擁壁の整備、樹木のせん定など整備を行い、文化財説明板を新設した。普及啓発事業として、東京文化財ウィーク期間に、文化財関連講演会や史跡めぐりなどを行い、「文化財調査報告書第30集」、こまね文化財ブックレット3「狛江の発展と鉄道」を刊行したほか、ブックレット2を再版した。市内小学6年生向けに文化財ガイドを配布し、全クラスにて出前授業を実施するとともに、小学3年生向けのガイドを作成し、配布したほか、夏休みには子ども向けに勾玉づくり教室を開催した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
文化財関連刊行物の 作成状況(種類)	3	5		C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
市文化財候補選定 数(件)	0	1	課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	市内の社寺を中心に総合調査を継続し、指定文化財候補の調査を進めるとともに、市内に残された文化財のネットワーク化を目指し、文化財めぐりの実施を通じて、散策ルート等の検討を進めていく。		
決算額(千円)	1,500	7,978				

・猪方小川塚古墳の保存・整備に向けた検討を進めるとともに、市指定文化財の案内等の充実を通じて、市の歴史的遺産に関する市民への周知・啓発に努める。

事業名	埋蔵文化財保護関係費(再掲)		所管課		社会教育課		予算科目	10-5-1	
事業概要・26年度の成果		市内における開発事業等に先立つ試掘調査は9件実施し、うち遺跡が確認された2件について事業者と調整のうえ、本調査を実施した。猪方小川塚古墳の保存・整備については、保存整備検討委員会において、整備にあたっての基本的な考え方を検討し、答申を受けた。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果		A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
試掘調査数・発掘調査数(件)		11	8			C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
遺跡の照会件数(件)		1,022	1,051	課題・課題を踏まえた今後の展開		試掘調査数、発掘調査件数は、開発、建設工事の状況に左右され、やや減少傾向にある。今後は、これまでの調査で蓄積してきた出土遺物や調査成果を市民向けに活用できるよう検討を進めるほか、猪方小川塚古墳については、整備・公開に向けて保存整備工事の基本設計を進める。			
決算額(千円)		2,819	2,675						

・古民家園については、地域に密着した講座・教室の充実や長期的な参加を促す事業展開に向け、指定管理者と協議を進めるほか、施設の整備・修繕についても検討する。

事業名	古民家園指定管理業務費		所管課	社会教育課		予算科目	10-5-1
事業概要・ 26年度の成果	指定管理者による事業の実施については、ほぼ例年どおりであった。なお、平成26年度末で指定管理が終了することに伴い、市の直営施設として、職員体制、休園日、開園時間、事業内容の検討などを進めつつ、指定管理者とのあいだ引継ぎに関する協議を進めた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
入園者数(人)	20,899	27,637		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
			課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	平成27年度から市の直営施設となるため、民家園としてふさわしい事業展開について試行しつつ、再検討していく。また、民家園の中で旧荒井家住宅主屋は移築復元後13年が経過しており、市指定文化財を良好な状態で維持管理、活用していくため、計画的な修繕について検討を進めていく。			
決算額(千円)	10,269	9,656					

◆Ⅱ-Ⅴ 防災・防犯

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 防災機能の強化

施策小項目

・防災基本計画や東京都地域防災計画、新たに見直された都の被害想定、東日本大震災により表出した様々な課題、市の災害応援の経験や市民の防災意識等を踏まえ、各課との調整並びに関係機関等との協議を進め、市の実情に即した実効性のある地域防災計画となるよう修正する。

事業名	★災害対策関係費（地域防災計画修正）		所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4
事業概要・26年度の成果	災害対策基本法等の改正や7月に示された東京都地域防災計画と整合性を図るために、庁内や関係機関と協議を行い、より実災害に対応するための実効力を持たせることを目的として平成27年3月に必要な見直しを行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	国の防災基本計画及び東京都地域防災計画の修正状況や災害対策基本法等の改正等を確認しながら、適宜必要な修正を行う。		
決算額(千円)	4,683	0					
予算事業決算額の5%、該当部分の額							

・関係部署と調整し、公共施設整備計画や耐震改修促進計画に沿って、市庁舎や防災センターなど公共建築物の耐震化と必要な機能の整備を進める。

事業名	★庁舎維持管理費（庁舎改修）		所管課	施設課		予算科目	2-1-1
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、市庁舎の耐震等改修を平成24年度から26年度、防災センターの建設を平成24年度から25年度にかけて行った。防災センターについては、平成25年度8月に竣工し、市庁舎の耐震等改修のうち、耐震化は26年3月に、耐震化を除く改修は地下倉庫設置も含め、26年6月に完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	1,093,449	645,625	平成26年6月をもって工事を完了している。				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	★地域・地区センター費		所管課	施設課		予算科目	3-1-6
事業概要・26年度の成果	公共施設整備計画に基づき、岩戸地域センターの改築工事を実施し、平成27年3月に完了した。谷戸橋地区センターの基礎沈下復旧等工事を実施し、平成27年1月に完了した。和泉多摩川地区センターは基本設計を完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率（％）	11.76	23.53		課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	128,431	499,947	地域・地区センターの構造体の耐震化は完了した。今後は各センターの改築・改修工事を進めていく。				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

事業名	★保育園維持管理費			所管課	施設課		予算科目	3-2-4		
事業概要・26年度の成果		公共施設整備計画に基づき、三島保育園の耐震等改修工事を実施し、平成26年11月に完了した。宮前保育園については、民営化の手法において、社会福祉法人により複合施設として改築するため、平成27年1月に解体工事の契約を締結した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)		7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)		11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	宮前保育園の解体工事を平成27年6月に完了させ、社会福祉法人により複合施設として建設を行い、28年4月に民設民営の保育園としてオープン予定。					
決算額(千円)		217,462	174,960							

事業名	★消防施設整備費（消防施設改築）			所管課	施設課		予算科目	9-1-3		
事業概要・26年度の成果		公共施設整備計画に基づき、第五分団器具置場の改築工事を実施し、平成27年3月に完了した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)		7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)		11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	第三分団器具置場の改築に向け、調査・研究を進める。					
決算額(千円)		3,077	50,359							
									※ 予算事業決算額のうち、該当部分の額	

事業名	★西和泉体育館、西和泉グラウンド維持管理費			所管課	施設課		予算科目	10-1-2		
事業概要・26年度の成果		公共施設整備計画に基づき、西和泉体育館の耐震等改修工事を実施し、平成27年3月に完了した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)		7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)		11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	西和泉体育館の構造体の耐震化は完了した。平成27年度に非構造部材の対策を行う。					
決算額(千円)		3,885	17,866							

事業名	★市民センター管理費（市民センター改修）			所管課	施設課		予算科目	10-5-2		
事業概要・26年度の成果		公共施設整備計画に基づき、非構造部材耐震化のための設計を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
耐震化していない公共施設数(施設)		7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)		11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	非構造部材耐震化のための、市民センター耐震等改修工事を実施する。					
決算額(千円)		15,593	3,244							
									※ 予算事業決算額のうち、該当部分の額	

事業名	デジタルサイネージの設置		所管課	秘書広報室	予算科目		
事業概要・ 26年度の成果	屋外における市からの情報発信の強化・整備を図るため、ガイドードリンコ株式会社と協定を締結し、自動販売機併設型デジタルサイネージを前原公園、あいとびあセンターに設置した。デジタルサイネージの設置・管理に係る費用は、自動販売機の売り上げにより賄うため市の負担がなく、屋外における情報発信の強化に取り組むことができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
設置台数（台）	-	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	デジタルサイネージの設置・管理に係る費用は、自動販売機の売り上げにより賄うため、公共施設に自動販売機の設置可能なスペースの確保が課題である。			
決算額(千円)	-	-					

・災害時における相互応援協定の締結を推進し、迅速かつ的確な災害対応ができる環境を整備する。

事業名	★相互応援協定の締結		所管課	安心安全課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	8月に実施した狛江市総合防災訓練に上野原市及び長岡市川口地域に参加してもらうとともに、11月には初めて世田谷区と合同防災訓練を実施する等、相互応援協定の締結先自治体との相互連携の強化を図った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	協手先の自治体との連携強化や相互理解を更に推進するため、訓練等の相互参加や情報連絡の確認等を適宜実施していく。			
決算額(千円)	-	-					

・実践的な防災訓練の実施など、災害発生時にも迅速な対応を取ることができる態勢を整えるとともに、防災行政無線や安心安全情報メール、安心安全情報ブログなど、市民への情報伝達体制の整備を進める。

事業名	★災害対策関係費（防災訓練等）		所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4
事業概要・ 26年度の成果	多摩川堤防決壊から40年目にあたることから、地震だけでなく水害の要素も取り入れた複合災害対応訓練を実施した他、例年以上に体験コーナーを充実させ、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に参加できる内容とした。結果として、昨年度を上回る参加者を迎え入れた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
総合防災訓練参加者(人)	1,229	1,301		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
			課題・ 課題を踏まえた今後の展開	現状も多くの市民が参加しているが、参加者の固定化や参加人数の頭打ちが課題となっている。今後は、訓練会場の配置を工夫したり、会場に足を運ばずに家庭で気軽に参加できる訓練内容の検討などを行い、参加者増を目指し、地域防災力の向上を図る。			
決算額(千円)	993	1,185	予算事業決算額のうち、該当部分の額				

・火災による延焼被害の軽減に向けた消防水利[※]の確保・充実に努めるほか、東京消防庁と連携して火災予防に取り組んでいく。

事業名	消防施設維持管理費		所管課	安心安全課	予算科目	9-1-2
事業概要・26年度の成果	消火栓の新規設置は都の水道工事にあわせて行っており、26年度は新規設置がなかった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
消火栓新設数(箇所)	3	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	消火栓の新規設置は都の水道工事にあわせて行っている。今後も引き続き消防署と協議しながら、効率的な設置を進めていく。		
決算額(千円)	1,678	0				

・他の自治体や民間事業者等と連携し、一時避難場所・避難所[▼]・福祉避難所[※]をはじめとした十分な避難スペースの確保のほか、災害備蓄品の整備・保管、要援護者対策[▼]、情報連絡体制の確立など様々な課題への対応を効果的かつ効率的に行っている。

▼現在、法改正・計画改訂等に伴い、時避難場所・避難所の部分は「災害時集合同所」、要援護者対策の部分は、「要配慮者対策」とな

事業名	★他自治体・民間事業者等との連携		所管課	安心安全課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	事業者等と協議、調整を行い、2件の協定を新たに締結した他、既存の協定12件についても協定内容の更新を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	地域防災計画の修正等を踏まえ、必要に応じて、新規協定の締結及び既存協定の見直しを適宜進めていく。		
決算額(千円)	-	-				

事業名	★災害対策関係費（医療救護関係）		所管課	安心安全課	予算科目	9-1-2
事業概要・26年度の成果	災害時の医療救護活動に係る体制整備を図るため、昨年度に引き続き、緊急医療救護所の設置運営訓練を福祉保健部と連携して実施するとともに、災害用の医薬品・医療資機材の整備を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	関係部署・機関等と連携しながら、訓練等を実施し、災害時の医療救護活動体制の強化を図っていく。		
決算額(千円)	-	2,000				

事業名	★災害対策関係費（避難場所表示看板）		所管課	安心安全課	予算科目	9-1-2
事業概要・26年度の成果	狛江市地域防災計画の修正にあわせ、避難所等に設置してある看板を中心に、避難場所表示看板の内容が適切な表記となるよう必要な修正を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	改修が終わっていない市内各所にある避難場所表示場所看板について、今後も計画的に改修を実施していく。		
決算額(千円)	-	1,944				

事業名	★避難行動要支援者事業		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	避難行動要支援者名簿（旧災害時要援護者名簿）の情報と、民生委員の収集した高齢者実態調査の情報を一つのシステムに統合し、情報の共有を図ると共に、住民基本台帳とのリアルタイムの連携を可能とする「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」を整備した。また、視覚障がい者災害用ベストを当事者も含めた作成委員会で作成し、視覚障がい者に配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
災害時要援護者名簿登録者数(人)	2,818	3,300		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支援組織設立箇所数(箇所)	2	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度整備した「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」の情報をもとに、避難行動要支援者の見守りについて支援組織との協定を締結し、情報連携を図る。また、災害時の避難に支援が必要であるにもかかわらず、一見して障がいがあることがわかりにくい聴覚障がい者向けの災害用ベストの開発を行う。		
決算額(千円)	5,258	7,745				
25年度の予算事業名は「災害時要援護者支援事業」						

【脚注】

※ 消防水利：消火栓や防火水槽のほか、プールや河川、井戸など消防の用に供する水源のこと。

※ 福祉避難所：高齢者や障がい者、妊婦など、災害時に援護が必要な人を受け入れるために設置する避難所

施策2. 地域との連携

施策小項目

・すべての地区での避難所運営協議会の設立に向けて、協議会の必要性・重要性を周知するほか、地域住民の交流機会の設定や、既設協議会のノウハウの伝達、協議会に関する知識・情報の提供など、円滑な設立を後押しするよう啓発を行う。

事業名	★災害対策関係費（避難所運営協議会）		所管課	安心安全課		予算科目	9-1-4
事業概要・26年度の成果	市内におけるほぼすべての避難所において、地域住民の協力を得て協議会を設立することができた。また、既存の協議会と新設の協議会で情報の共有や交流の場として連絡会を開催した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
避難所運営協議会設置数(箇所)	3(累計5)	6(累計11)		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	それぞれの協議会の実情にあわせて、知識の習熟や顔の見える関係づくりを実施していく。また、協議会ごとの横のつながりを強化するために、連絡会などを定期的開催することで、地域全体の防災力の底上げを図っていく。			
決算額(千円)	120	300		予算事業決算額のうち、該当部分の額			

・地域の防災リーダーである防災会とのさらなる連携強化に努めるとともに、各種訓練や研修会を通じて、地域住民における自助・共助の機運醸成を図る。

事業名	★災害対策関係費（防災会・各種研修等）		所管課		安心安全課		予算科目	9-1-4		
事業概要・26年度の成果		防災会では例年通り各種訓練や研修会への参加した他、平成26年度に新規事業として「防災防犯実施まちあるき研修」を実施することにより、新たな視点での防災活動の意識づけを図った。また、防災講演会では平成25年度よりも多くの参加者を集めることができた。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
防災講演会参加者数（人）		100	700		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	防災会では活動のマンネリ化、防災会支部による活動の差、認知度の低さが課題である。研修やキャンペーンを通じて防災会の認知度向上や防災活動に参加することの少ない世代の参加を促す活動を進めていく必要がある。防災講演会では今後も講演内容を工夫していく。					
決算額(千円)		513	513		予算事業決算額のうち、該当部分の額					

施策3. 防犯対策の充実

施策小項目

- ・プライバシーなどに配慮しながら防犯カメラの設置を推進し、犯罪の未然防止、抑止に繋げていく。

事業名	★生活安全対策費（防犯カメラ）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11		
事業概要・26年度の成果	平成25年度から町会・自治会や商店街の防犯カメラ設置費用に対する補助制度を設けており、26年度は町会2団体（4台）の補助を実施した。市としても、車通りの多い電力中央研究所南側七差路付近に、2台の防犯カメラを設置したほか、東京都の通学路防犯設備整備補助金を活用して、緑野小学校と狛江第三小学校の通学路に5台ずつ計10台の防犯カメラを設置した。（通学路の防犯カメラは学校教育課が設置）								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
市が設置した防犯カメラ(台)	5	12		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
地域で設置した防犯カメラへの補助(件)	4	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	防犯カメラの有用性や補助制度の周知を図るなど、地域による防犯取組の推進に向けて補助制度のさらなる活用を促していく。あわせて、警察と設置場所の協議を行いながら、駅周辺や交差点を中心に、市による防犯カメラの設置を進め、補助制度とともに市全体の防犯体制の強化を図っていく。					
決算額(千円)	2,708	2,093		予算事業決算額のうち、該当部分の額					

- ・防犯協会等との連携をさらに深め、安心安全パトロールなどにおいて事件等の発生現場を重点的に行ってもらうなど、綿密な情報交換を通じて地域の取組みをより効果的なものにしていく。

事業名	★生活安全対策費（防犯協会関連）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11
事業概要・26年度の成果	安心安全パトロール、青色回転灯搭載車によるパトロール、子ども見守り、各種イベントにおける巡回、歳末警戒など、年間を通じた活動を実施している。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	防犯協会は、日常的に地域の防犯に取り組んでおり、また、毎月狛江支部全体で情報交換を行うなど、市の犯罪の抑制に貢献している。現在狛江市では、調布警察署、調布市と連携した特殊詐欺対策を展開しており、防犯協会にも協力を要請しながら、市内の防犯啓発について、協働して取り組んでいく。		
決算額(千円)	1,410 予算事業決算額のうち、該当部分の額	1,410					

- ・防犯施策や地域の活動を推進しながら、広く市民に向けた周知を行っていくことで、地域ぐるみの防犯体制の確立を目指す。

事業名	★安心で安全なまちづくり関係費 (安心で安全なまちづくり地域協議会等)		所管課	安心安全課		予算 科目	2-1-11
事業概要・ 26年度の成果	平成25年度より、協議会（通称：安全協）としての活動を行っており、地域を構成する各団体間の連携を図り、市全体の安心安全へ取り組むための活動を行っている。平成26年度は、児童・生徒を主に広く「狛江市安心で安全なまちづくりキャッチフレーズ」を募集し、市民が安心安全について考える機会の創出を行うとともに、10月25日「狛江市安心で安全なまちづくりの日」において、各種防災防犯関係機関の展示や防犯講演会など、防災防犯の各種イベントを行い、安全協の周知を進め、安心安全の啓発に取り組んだ。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
				課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	市事業への共催・協力や、安全協としての事業を実施する。 防災防犯のみにとどまらず、多分野での安心安全啓発事業を通年 通して行っていくほか、安全協の活動が地域に根付くようなキャン ペーンを実施していく。		
決算額(千円)	140	265	予算事業決算額のうち、該当部分の額				

- ・安心安全情報メールへの登録を促すとともに、積極的に市民へ情報を発信していく。

事業名	★生活安全対策費（安心安全情報メール）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11		
事業概要・26年度の成果		登録者数は、9,502人（H26年3月末現在）から10,508人（H27年3月末現在）へと著実に増加している。配信については、平成27年1月のシステム改修に伴い、防犯・防災・その他安心安全情報と配信情報をカテゴリーに分け、登録者が希望するメールを受信できるようにした。配信内容については、防犯情報を中心に、台風、ゲリラ豪雨等の防災情報、インフルエンザ、熱中症等への注意喚起などとあわせ計111件配信した。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果		A	B		
登録者数(人)		9,502	10,508			期待通りの成果がでている		現状維持・ある程度の成果がでている	
						C	D		
						あまり進捗していない・あまり成果がでていない		まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開		本事業は、市の安心安全情報入手するツールの柱として、概ね定着してきていると考える。今後は、突発的な事象において、より一層適時かつ正確な配信に努めるとともに、情報収集ツールである携帯電話・スマートフォンのさらなる活用方法を検討していく。			
決算額(千円)		346	357			予算事業決算額のうち、該当部分の額			

- ・防犯キャンペーンや防犯講演会などを通じて、防犯意識の啓発と被害の未然防止に努める。

事業名	★生活安全対策費（防犯キャンペーン等）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11
事業概要・26年度の成果	10月25日「狛江市安心で安全なまちづくりの日」において、劇団員による振り込め詐欺実演劇や調布警察署員の指導による防犯護身術講座を行ったほか、12月3日に「防犯・防災まちあるき研修」を行い、パトロールの際に注視するポイントについて、講師の指導のもと、まちあるき体験を含めたワークショップを実施した。また、防犯意識の啓発を図るため、防犯ガイドブックを新たに作成し、市内全戸に配布した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
防犯講演会参加者数(人)	61	183		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	132	1,744	安心安全に関するイベント等で、知識習得や意識向上を図ったうえで配布するなど、より効果的に啓発へとつながるような実施方法を検討していくほか、安全協などの団体の協力を要請しながら、地域に密着した啓発活動を行っていく。				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	★生活安全対策費（特殊詐欺対策等）		所管課	安心安全課		予算科目	2-1-11
事業概要・26年度の成果	特殊詐欺被害の防止を図るため、調布警察署と「特殊詐欺への注意喚起に伴う個人情報の取扱いに関する覚書」を締結し、調布警察署による高齢者世帯への戸別訪問し、特殊詐欺等に関する注意喚起を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	-	-	狛江市、調布市、調布警察署の三者で連携した対策をとるとともに、庁内の警戒態勢を構築する。				

◆Ⅱ-vi 平和・人権

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 平和を求めるまちづくり

施策小項目

- ・平和宣言都市として、市の内外に向けて様々な情報を発信するとともに、幅広く情報の収集に努める。
- ・啓発事業等のイベントの実施にあたっては、戦争体験者等を含め、幅広く市民の協力を得ながら実施することで、事業を通じた平和意識の次世代への継承に努める。
- ・歴史的な価値を有する資料等は、文化財保護や市史編さんとあわせ、整理・保存を進めていく。

事業名	憲法・平和都市関係費		所管課	政策室		予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	こまえ平和フェスタを市民団体との共催で実施した。また、市内の原爆被爆者の会の協力のもと、パネル展示を実施し、平和の大切さの啓発につなげた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
平和事業参加者数(人)	560	600		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
原爆パネル展入場者数(人)	90	50		課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	101	102	平和の事業について、もっと多くの幅広い市民が参加し、広く平和の大切さを次世代に伝えていける事業を実施していかななくてはならない。今後より積極的な事業展開を図っていく。				
事業名	市史編さん事業費(再掲)		所管課	市史編さん室		予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	平成25年度から引き続き、寄贈・借用史料の整理を進め、必要に応じて古文書の修復、デジタル撮影を行った。また、明治初期の史料を編集した『資料編 近現代1』を編集・刊行した。テーマを特定した座談会を2回開催したほか、地区ごとに民俗調査を進め、前年度の聞き書き調査の成果を『民俗調査報告書1 猪方の民俗』として編集・刊行した。普及・啓発事業としては、市史関連講演会を2回、古文書講座を2回開催したほか、編さん事業の最新を成果を盛り込んだ『市史研究』第2号を刊行した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
市史関連講演会・講座等の開催回数(回)	2	4		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
市史関連刊行物の刊行冊数(冊)	1	3		課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	12,616	17,812	現在まで、市史編さん事業の基本方針に定められた刊行計画に沿って作業が進んでいるが、今後、史料調査の進展に伴い、刊行計画の見直しが必要となっているほか、ホームページ等を活用した普及・啓発事業への取り組みや学校教育・生涯学習などの場における積極的な活用が課題となっている。				

施策2. 人権を尊重するまちづくり

施策小項目

- ・人権身の上相談や女性悩みごと相談など、市民からの一次的な相談体制を維持するとともに、二次的・専門的な相談については、東京法務局をはじめとする関係機関とも連携し、それぞれの状況に適切に対応していく。
- ・関係機関や関係部署と連携し、人権週間をはじめとした機会を捉えた活動による人権意識の啓発に努める。

事業名	人権擁護関係事業		所管課	政策室	予算科目	2-1-3	
事業概要・26年度の成果	子どもたちによる人権メッセージ発表会では、各市の小学生の人権メッセージの発表や、緑野小学校(えのき学級)による合奏、第六小学校による合唱など、多くの来場者により人権啓発事業を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
人権身の上相談件数(件)	15	6		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
子どもたちからの人権メッセージ発表会		465	課題・課題を踏まえた今後の展開	例年教育委員会の協力により実施している人権の花運動や中学生の人権作文、市役所ロビーでの人権パネル展を、より充実した取り組みを行い、人権啓発をしていく。			
決算額(千円)	805	737					

・配偶者暴力や人権侵害の根絶，ワークライフバランス※の推進，子育て支援体制の充実等の取組みを通じて，男女共同参画の推進に努める。

事業名	男女共同参画施策推進		所管課	政策室	予算科目	2-1-7	
事業概要・26年度の成果	粕江市防災センターにて，市内で出版社を立ち上げた女性に講演いただき，来場者から好評だった。平成26年度は，男女共同参画推進計画の改訂作業の年度であり，市民の意見を取り入れた計画改訂につながった。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
女性悩みごと相談件数(件)	25	16		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
講演会来場者数(人)	320	55	課題・課題を踏まえた今後の展開	市民で構成する粕江市男女共同参画推進委員会が活発に活動しており，今後より一層市民参加の男女共同参画推進に取り組んでいく。また，小金井市，国立市と連携している多摩3市男女共同参画推進共同研究会においても，積極的な取組みを進めていく。			
決算額(千円)	354	1,652					

・市内に住む外国人の生活を支援するとともに，互いの文化を尊重し，理解し合えるような交流事業等に取り組んでいく。

事業名	国際化推進		所管課	政策室	予算科目	2-1-7
事業概要・26年度の成果	実施事業の見直しにより、開催をやめた事業の影響で参加者数が減少しているが、新たな事業を開始したことや、従来の事業においては前年を上回る参加があった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
協会事業参加者数(人)(うち外国人)	327(104)	301(87)		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
ボランティア活動人数(人)	2	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市国際交流協会の認知度を上げるとともに、より活発な国際交流を図りたい。		
決算額(千円)	415	423				

【脚注】
※ ワークライフバランス：仕事と生活の調和。仕事と私生活をバランスよく両立させるという考え方。

◆Ⅲ- i 子育て

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 保育環境の整備

施策小項目

・公共施設整備計画に基づく施設の改修等のなかで、施設の充実や受入定員数の拡大など、保育環境の充実を図る。

事業名	★保育所等児童運営費（市立外保育園児童運営費補助金・認証保育所運営費補助金・家庭福祉員運営費補助金）		所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-2	
事業概要・26年度の成果		市立外認可保育園、認証保育所、家庭福祉員へ運営費補助を実施した。平成26年4月と9月に家庭福祉員各1名、26年12月に認可保育園1園を開設し、保育施設受入定員の拡大を図った。						
事業名	決算額(千円)			指標				
	25年度		26年度	指標(単位)		25年度		26年度
市立外保育園児童運営費補助金	654,153		719,780	施設数(園) 園児定数(人)		5 457		6 519
認証保育所運営費補助金	166,889		203,966	施設数(園) 園児定数(人)		5 170		5 181
家庭福祉員運営費補助金	12,979		25,170	施設(箇所) 児童定数(人)		3 12		5 20
課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も待機児童対策として、私立保育園の開園を予定しており、市立外保育園児童運営費補助金の増加が見込まれることから、引き続き適切な交付事務に努める。		進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
事業名	★保育園維持管理費(再掲)		所管課	施設課		予算科目	3-2-4	
事業概要・26年度の成果		公共施設整備計画に基づき、三島保育園の耐震等改修工事を実施し、平成26年11月に完了した。宮前保育園については、民営化の手法において、社会福祉法人により複合施設として改築するため、平成27年1月に解体工事の契約を締結した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
耐震化していない公共施設数(施設)	7	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53	課題・課題を踏まえた今後の展開	宮前保育園の解体工事を平成27年6月に完了させ、社会福祉法人により複合施設として建設を行い、28年4月に民設民営の保育園としてオープン予定。				
決算額(千円)	217,462	174,960						
事業名	★新設保育園整備事業		所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-2	
事業概要・26年度の成果		待機児解消を目指し、平成26年12月開園の東野川保育園みんなの家（定員60人）、27年4月開園のベネッセ泊江南保育園（定員64人）について、施設改修費及び賃借料の補助を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
認可保育所受入定員数（人）	1,115	1,236		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	本事業の実施により、認可保育園2園合計124人の定員増を図ったが、平成27年4月の待機児数は175人となっており、未だ待機児解消には至っていない。今後は泊江市待機児対策推進本部の報告を踏まえ、計画的に解消に向けた取組みを行っていく。				
決算額(千円)	0	110,696						

・子ども・子育て関連3法を踏まえ、保育や地域の子ども・子育て支援について検討する。

事業名	★子ども・子育て支援事業			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1		
事業概要・26年度の成果		粕江市子ども・子育て会議を設置した。また、粕江市子ども・子育て支援事業計画を策定。計画の策定に必要な事項等を審議した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
会議数(回)		9	12		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	粕江市子ども・子育て支援事業計画の重点施策における年次計画策定、量の見込みと確保の方策のローリング等について審議し、計画の実効性を図っていく。					
決算額(千円)		3,884	3,930							
事業名	★プレーパーク			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1		
事業概要・26年度の成果		平成26年度は、プレーパークの27年度常設開催に向けた準備活動として、つくる会と協定を結び、西河原公園、東野川1丁目樹林地で計31日間冒険遊び場を開催した。また、平成25年度に引き続き、粕江市プレーパーク設置準備委員会を3回開催し、最終答申を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
開催回数(日)		26	31		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	市民団体との事業継続及び平成27年度中の常設に向けた検討(プレーパーク設置準備委員会の開催)を行い、引き続き、27年度中の常設に向けた準備を進めていく。					
決算額(千円)		3,675	3,010							
事業名	★プレーパーク(公園施設整備)			所管課	整備課		予算科目	3-2-1		
事業概要・26年度の成果		プレーパークの平成27年度常設開催に向けた整備工事を行うために設計委託を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
整備面積(m ²)		0	1,500		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度中の開園に向けて整備工事を行う。					
決算額(千円)		0	2,916							
事業名	★プレーパーク(管理棟整備)			所管課	施設課		予算科目	3-2-1		
事業概要・26年度の成果		プレーパーク管理棟整備のための設計を行った。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)		12	24		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	プレーパーク管理棟新築工事を実施する。					
決算額(千円)		0	2,268		予算事業決算額のうち、該当部分の額					

・泊江すこやか病児保育室を補完する形で病後児預かり事業を実施することで、病児・病後児へのサポート体制を強化する。

事業名	病児・病後児保育		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-4
事業概要・26年度の成果	昨年度に引き続き、病児保育室を利用していただいたことにより、子育て家庭への支援を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
登録者数(人)	460	509		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
延べ利用者数(人)	417	379	課題・課題を踏まえた今後の展開	さらなる利用者増を図るため、運用方法の見直しを図っていく。		
決算額(千円)	13,038	11,054				

・多様なニーズに応える保育サービスの提供とサービス供給の効率化の両面から、宮前保育園と和泉児童館の複合施設としての建替えを検討するとともに、民間活力の導入を進める。

事業名	★公立保育園民営化関係費		所管課	児童青少年課	予算科目	3-2-1
事業概要・ 26年度の成果	泊江市立宮前保育園民営化に係る保育園及び泊江市立和泉児童館運営法人選定委員会を設置し、運営法人公募要項を策定した。これに基づき運営法人を公募し、プレゼンテーションを経て平成26年8月末に運営法人を選定した。 また、9月より、保護者・運営法人・市の三者で構成する宮前保育園三者協議会を設置し、引継保育や民営化移行後の保育等について話し合いを進めた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
			課題・ 課題を踏まえた今後の展開	今後も三者協議会による話し合いを進め、それぞれが共通の認識を持ち、三者が協力し合いよりよい保育に向けて取り組むため、引続き三者の信頼関係構築に努める。		
決算額(千円)	-	243				

事業名	児童館施設関係費		所管課	施設課		予算科目	3-2-6
事業概要・26年度の成果	和泉児童館について、社会福祉法人により複合施設として改築するため、平成27年1月に解体工事の契約を締結した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	解体工事を平成27年6月に完了させ、社会福祉法人により複合施設として建設を行い、28年4月にオープン予定。			
決算額(千円)	0	9,089					

・風評被害に配慮しつつ、産地等に十分留意して給食食材の確保に努めるとともに、放射線量検査を行っている業者等からの調達を図るなど、安心で安全な給食の提供に努める。

事業名	★保育園維持管理費（食材放射線検査）		所管課	児童青少年課	予算科目	3-2-4
事業概要・26年度の成果	認可保育園の給食食材と牛乳について、月に1度放射性物質の測定を実施し、結果を各保育園及び市ホームページで公表した。また、私立保育園に対しては測定のために提供された給食食材の費用を支給した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	空間放射線量の測定など他の放射能対策と合わせて、平成27年度も同程度の測定を行う。また、平成28年度以降の市の方針を検討していく。		
決算額(千円)	807 予算事業決算額のうち、該当部分の額	962				

予算事業決算額のうち、該当部分の額

施策2. 子育て家庭への支援

施策小項目

・子ども家庭支援センターを地域における子育て支援の中心的機関と位置付け、子育て家庭の多様な相談に対応できるよう、より専門的機能の充実を図るとともに、センターの移転に向けて必要な機能を整理・検討していく。

事業名	子ども家庭支援センター指定管理業務費		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-3
事業概要・26年度の成果	先駆型子ども家庭支援センターとして、子どもに関するあらゆる相談に対応する。また、子ども家庭支援ネットワークの中心機関としても、関係機関の連携を図り、虐待の早期発見につなげる。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
子ども家庭支援センターでの相談受理件数(件)	91	101		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
延べ来館者人数(人)	28,796	35,415	課題・課題を踏まえた今後の展開	指定管理業務の委託業者の再指定を行うとともに、狛江駅前への移転に必要な機能を整理・検討していく。		
決算額(千円)	27,178	27,326				

・子育てサイトは、より身近で親しみやすいサイトとなるようコンテンツの充実を図り、子育て世帯に向けて、タイムリーな情報発信に努める。

事業名	★子育てサイト事業		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」「こまえスマイルぴーれ」「こまえパクパクぴーれ」「狛江市子育て応援事業」「ここマップ」「育ちの森」の6本により、子育て情報を発信した。アクセス件数は伸びている。「こまえ子育てねっと」「こまえスマイルぴーれ」をスマートフォン対応とした。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
アクセス件数(件)	90,650	131,574		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子育て情報を発信し、子育てを楽しくできるような充実した情報を提供していくとともに、孤立する子育て家庭をつくらない取り組みを進めていく。		
決算額(千円)	3,356	4,146				

・産前産後に安定した生活を送るため、家事や育児の援助を通じた支援を行う。支援にあたっては、市民ニーズや社会状況を見据え、的確な運用を図っていく。

事業名	子ども家庭在宅サービス事業費		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-2
事業概要・26年度の成果	育児支援ヘルパー・一時保育・ショートステイの周知を図り、利用に結びつけるように努めた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
育児ヘルパー利用人数(人)	23	26		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
一時保育利用人数(人)	48	41	課題・課題を踏まえた今後の展開	さらなる利用者増を図るため、市民ニーズや社会状況を見据え、的確な運用を図る。		
決算額(千円)	4,677	4,811				

・親の子育て力の向上やスキルアップを支援するための事業の充実を図る。

事業名	★みんなで子育て事業			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	子育てに関する世代を超えた交流の場の提供や子育て講座、親支援プログラムを実施することにより、子育ての輪を広げるとともに、親の子育て力の向上を図ることができた。野川たんぽぽひろばを月1回から2回に拡充。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
参加者数(人)	529	989		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子育て講座や親支援プログラムを継続させるとともに、交流の場の拡充を図り、地域の子育ての輪を広げていく。				
決算額(千円)	1,441	1,522						
事業名	★むいからで遊ぼう			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	むいから民家園で、子育て中の親子が楽しく遊び、交流する場を提供できた。また、平成25年度から参加延べ人数も増えており、たくさんの市民を含めたボランティアと協働で、遊びの場・交流の場・相談の場を提供することができた。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
開催数(回)	2	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加延べ人数(人)	1,467	1,576	課題・課題を踏まえた今後の展開	むいから民家園を活用して、子育て中の親子が楽しく遊びながら子育てについて学びあう場を提供できるよう、新たな事業を検討していく。				
決算額(千円)	57	56						
事業名	★要保護児童対策事業			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	要保護児童対策地域協議会（泊江市子ども家庭支援ネットワーク）の関係機関に対して、児童虐待の早期発見、連携のための研修会等を実施するとともに、児童虐待推進月間に市民向けの周知・啓発活動を実施した。また、親支援プログラムの実施により、親の子育てに対するスキルアップにつなげた。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
開催数(回)	1	1		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加延べ人数(人)	6	6	課題・課題を踏まえた今後の展開	泊江市子ども家庭支援ネットワーク関係機関研修等を継続し、連携強化を図ると共に、親支援プログラム、市民への周知・啓発活動の充実を図る。				
決算額(千円)	1,513	1,727						

・子育て応援事業は、協賛店舗数の拡大を図るとともに子育て家庭が必要な協賛内容の充実にも努め、子育てを身近な地域社会で支えるための機運の醸成を図る。

事業名	★子育て応援事業		所管課		子育て支援課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	協賛店舗数の拡大を図るとともに、子育て家庭が必要な協賛内容の充実にも努め、子育てを身近な地域社会で支えるための機運の醸成を図る。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
協賛店件数(件)	116	119		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き協賛店を増やすとともに、協賛店からのアンケートを取ることで、利用状況等の把握を行う。				
決算額(千円)	649	700						

- ・児童手当等の支給や医療費の助成などを通じて、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

事業名	★児童育成手当・児童手当・児童扶養手当・乳幼児医療費助成・義務教育就学児医療費助成・ひとり親家庭等医療費助成			所管課	子育て支援課		予算科目	3-2-1・2	
事業概要・26年度の成果		各種手当の支給，医療費の助成等により子育て家庭への経済的負担軽減を図った。							
事業名	決算額(千円)			指標					
	25年度		26年度	指標(単位)		25年度		26年度	
児童育成手当	123,801		123,765	延支払児童数(人)		8,516		9,012	
児童手当	1,022,855		1,049,400	延支払児童数(人)		101,739		104,138	
児童扶養手当	154,978		152,590	延受給者数(人)		6,142		6,197	
乳幼児医療費助成	139,544		142,598	受給者数(人)		4,184		4,358	
義務教育就学児医療費助成	87,024		93,756	受給者数(人)		3,527		3,583	
ひとり親家庭等医療費助成	19,554		19,720	受給者数(人)		599		614	
扶助費のみを記載									
課題・課題を踏まえた今後の展開	引続き，各種手当等の対象者に対し手当て等を適切に支給することにより，子育て世帯の負担軽減を図っていく。		進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている			
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない			
事業名	★保育所等児童運営費（認証保育所等入所児童保護者負担軽減補助金）			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-2	
事業概要・26年度の成果		市内在住で，認証保育所等を利用する0～2歳児保護者の負担軽減を目的に，一定額の補助金を交付する（税額によって交付額が異なる）。認証保育所の利用者の増加により，昨年度対比で支給対象者が約15%増，交付額は概ね10%の増となった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている			
支給対象者(人)	167	193		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない			
			課題・課題を踏まえた今後の展開	認証保育所等の利用促進は，待機児対策にとって一定の役割を担うものであることから，交付額や対象者の拡充も今後の検討課題であるとする。					
決算額(千円)	5,706	6,228							
事業名	★私立幼稚園等園児保護者負担軽減			所管課	子育て支援課		予算科目	10-4-1	
事業概要・26年度の成果		平成26年度より所得制限を撤廃し，補助対象者の拡大を図った。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている		B 現状維持・ある程度の成果がでている			
延受給者(人)	8,053	12,170		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D まったく進捗していない・まったく成果がでていない			
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子ども・子育て支援新制度における利用者負担の軽減の検討					
決算額(千円)	63,678	73,081		決算額は補助金のみを記載					

事業名	★幼稚園就園奨励費		所管課	子育て支援課	予算科目	10-4-1
事業概要・26年度の成果	平成26年度より所得制限を一部撤廃することにより、補助対象者の拡大を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
対象園児数(人)	557	711		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、円滑な事業実施を行う。		
決算額(千円)	59,601	92,862				

施策3. ひとり親家庭への支援

施策小項目

・ひとり親家庭には、経済的な負担を軽減するための支援に加え、それぞれの家庭の状況に応じたサポート体制を整え、親子がともに安心して生活できるような支援に取り組んでいく。

事業名	★母子家庭等自立支援		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	母子家庭の母等の主体的な能力開発の取組みや就業に結びつきやすい資格を取得するための費用を一部給付し、生活の負担の軽減と母子家庭等の自立促進を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
高等技能訓練促進費給付件数(件)	2	3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
教育訓練給付金給付件数(件)	0	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、ひとり親家庭の経済的な負担を軽減し、自立支援を行っていく。		
決算額(千円)	2,400	3,600				
事業名	母子生活支援施設措置費		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-2
事業概要・26年度の成果	母子生活支援施設への入所による母子保護の実施のため、配偶者のいない女子、及び夫の暴力等婚姻の実態は失われているが、やむを得ない事情で離婚の届出を行っておらず、監護すべき児童の福祉に欠けている保護者及び児童に対して、母子生活支援施設への措置費を負担することにより支援を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
支援を行った世帯(世帯)	3	2		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支援を行った保護者及び児童(人)	7	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、母子の安定した生活のため、母子生活支援施設措置費を負担し、母子の自立を支援していく。		
決算額(千円)	12,042	11,024				
事業名	ひとり親家庭介護料助成及びホームヘルプサービス		所管課	子育て支援課	予算科目	3-2-2
事業概要・26年度の成果	日常生活を営む上で、著しく支障があるひとり親家庭に対して、ホームヘルパーを派遣し調理や洗濯等を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
利用世帯数(世帯)	6	5		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、日常生活を営む上で、著しく支障があるひとり親家庭に対して、ホームヘルパーを派遣し、ひとり親家庭の生活が安定するよう支援していく。		
決算額(千円)	665	1,157				

◆Ⅲ- ii 青少年

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 放課後対策の充実

施策小項目

- ・すべての子どもたちが、安心して過ごせる放課後の活動の場を提供する。また、それぞれで異なる特徴のサービスを提供することで、多様なニーズに対応していく。
- ・25年度より、学校関係者、PTA、地域団体により構成するKoKoA運営委員会を軸に、教育委員会や学校と連携し、子どもの放課後が充実するよう総合的に推進する。

事業名	学童保育所維持管理費			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-5		
事業概要・26年度の成果		保護者の就労、病気などで、放課後等に家庭で保護育成にあたることのできない世帯の児童を対象に、学童保育を行い、子どもたちの健全育成を促進した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
学童クラブ入所・入会者数(人)		452	463		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
学童保育所児童数(人)		213	200	課題・課題を踏まえた今後の展開	子ども・子育て支援新制度に伴う受入学年の拡大により、入所希望者増が見込まれる。利用児童増への対応を図る。					
決算額(千円)		52,315	53,739							
事業名	放課後クラブ			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-5		
事業概要・26年度の成果		保護者の就労、病気などで、放課後等に家庭で保護育成にあたることのできない世帯の児童を対象に、学童保育を行い、子どもたちの健全育成を促進した。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
放課後クラブ児童数(人)		140	165		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	子ども・子育て支援新制度に伴う受入学年の拡大により、入所希望者増が見込まれる。利用児童増への対応を図る。					
決算額(千円)		39,568	39,615							
事業名	児童館指定管理業務費			所管課	児童青少年課		予算科目	3-2-5		
事業概要・26年度の成果		乳幼児から18歳までの児童に健全な遊びを与え、健康の増進や情操を豊かにするための支援を行う。平成26年度は児童館事業の見直しを行い、入館者数の増加を図ることができた。								
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
児童館・児童センターの年間利用者数(小学生・中学生・高校生)(人)		28,588	31,694		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
入館者数(人) ※子育てひろばを含む		74,072	83,379	課題・課題を踏まえた今後の展開	入館者数の維持、増加のため、今後も継続して事業の見直し、改善を行っていく。					
決算額(千円)		125,671	121,860							

事業名	放課後子ども教室推進事業		所管課	児童青少年課	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	地域の方々の参画を得て、小学校施設を活用した子どもたちの安心・安全な活動拠点を設ける。平成25年度から地域交流運営委員会とフリープレイをつとし、K o K o A(放課後子ども教室)運営委員会として事業を実施しており、各学区毎でそれぞれ特色あるイベントが実施され、参加者が増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
K o K o A参加延べ人数(人)	42,395	47,493		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	放課後子供総合プランの実施により、学童クラブとの連携が求められ、K o K o Aと学童クラブで放課後の居場所作りを一体的に進めていく必要がある。相互の連携方法を模索していく。		
決算額(千円)	22,085	22,138				

施策2. 青少年の自立と社会参加

施策小項目

・不健全図書の回収など、社会環境の健全化を進めるとともに、青少年の活動を支援する地域の団体等への財政的支援を行い、青少年の健やかな育ちを支援していく。

事業名	青少年問題協議会（実施事業）		所管課	児童青少年課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	粕江すすくコンサート主催、青少協だよりの発行、青少年健全育成を目的とした講座の開催等、青少年の健全育成に寄与する活動に従事している。青少年の意見表明の場である青少年会議を実施し、青少年の主体的な活動を促進した。年4回不健全図書回収ポストの回収および仕分けを実施し、社会環境の浄化に寄与した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
すすくコンサート参加者数(人)	287	337		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
回収された不健全図書の数(冊)	3,761	2,598	課題・課題を踏まえた今後の展開	青少年の健全育成にむけた環境づくりを進めるため、青少年問題協議会委員の所属団体間で情報を共有し、ネットワークの強化を図る。		
決算額(千円)	1,474	1,356				
事業名	青少年育成委員会事業		所管課	児童青少年課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	青少年育成委員会への補助金の交付および各種活動の支援を実施した。年2回広報誌を発行し、育成委員会活動の周知を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
青少年健全育成委託事業参加人数(人)	63	80		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	新規で加入する委員が少ない状況があるため、広報誌などを効果的に利用し、その活動の周知を行い、若い子育て世代の委員を獲得できるよう工夫する。		
決算額(千円)	555	560				
事業名	青少年委員関係費		所管課	児童青少年課	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	青少年委員は地域にある様々な青少年活動に対し、連絡調整を行い、専門的な立場から提言をすることを目的とする。青少年委員の会議を年12回開催し、青少年活動推進事業である新成人により組織された成人式企画実行委員会及び中高生で組織された中高生フェスティバル実行委員会に対し、運営や企画をサポートし、青年リーダーへと繋げる活動を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	経験豊富な青少年委員に事業の運営主体を担ってもらうため、平成26年度から青少年活動推進事業を、青少年委員関係費に移管し、青少年委員の会議に委託した。今後も青少年委員の会議と連携し、青少年事業の充実に努める。		
決算額(千円)	501	509				

・関係団体と連携し、青少年が抱える悩みに対する相談体制の充実を図るとともに、ひきこもりに対するきめ細やかな支援等を行う。

事業名	青少年自立支援事業補助		所管課	児童青少年課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	地域でひきこもり等の青少年を支援する団体に対し、ひきこもり等の青少年の居場所の確保を目的とした自主的な活動(フリースペース活動)へ、また、市内で子どもの電話相談を行う団体に対し、そのPR活動へ、財政的支援を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
財政支援を行った団体数(団体)	2	2		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も関係団体と連携し財政的支援を行うことで、青少年の自立支援を援助していく。		
決算額(千円)	590	600				

・児童館・児童センターでは、乳幼児から青少年までの世代間交流や地域住民との交流などを通じて青少年の活動の活性化を促し、児童館機能の拡充を図る。

事業名	児童館指定管理業務費(再掲)		所管課	児童青少年課	予算科目	3-2-5
事業概要・26年度の成果	乳幼児から18歳までの児童に健全な遊びを与え、健康の増進や情操を豊かにするための支援を行う。平成26年度は児童館事業の見直しを行い、入館者数の増加を図ることができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
児童館・児童センターの年間利用者数(小学生・中学生・高校生)(人)	28,588	31,694		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
入館者数(人) ※子育てひろばを含む	74,072	83,379	課題・課題を踏まえた今後の展開	入館者数の維持、増加のため、今後も継続して事業の見直し、改善を行っていく。		
決算額(千円)	125,671	121,860				

・中高生の利用を促すためのイベントやボランティア活動を企画するなど、青少年の居場所づくりを推進する。

事業名	青少年活動推進事業		所管課	児童青少年課	予算科目	10-5-1
事業概要・26年度の成果	新成人により構成される実行委員会形式による「成人式」の開催のほか、同じく実行委員会形式による中高生が主体的に企画・運営する、文化祭である「中高生フェスティバル」の開催を支援した。中高生フェスティバルでは、平成26年度より出演・出展に粕江高等学校の参加があったことから参加者が倍増し、盛況に実施された。また、平成26年度より青少年委員だよりを年2回発行し、粕江市青少年委員の会議による青少年活動推進事業の広報活動を開始した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
成人式参加者数(人)	371	408		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
中高生フェスティバル(人)	260	550	課題・課題を踏まえた今後の展開	経験豊富な青少年委員に事業の運営主体を担ってもらうため、平成26年度から青少年活動推進事業を青少年委員の会議に委託した。両事業とも参加者は増加したが、より多くの参加者を募るため、実行委員会にて実施方法等の工夫をしていく。		
決算額(千円)	733	851				

◆Ⅲ-Ⅲ 学校教育

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策 1. 生きる力を育む教育の推進

施策小項目

・それぞれの児童・生徒の状況に応じたきめ細かい指導に取り組むとともに、児童・生徒への指導の充実に向けて授業改善を推進するなど、教員・学校を支援する。

事業名	特別支援教育推進(巡回相談員等)		所管課	指導室		予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対し、専門家チームによる巡回相談を実施し、学校現場における状況を把握することにより、児童・生徒個々のニーズに的確に応える指導体制づくりを推進した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
巡回相談回数(回)	55	60		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
決算額(千円)	686	722		課題・課題を踏まえた今後の展開 相談対象の児童生徒数が増加しており、相談時間内に学校が相談を希望する全ての児童生徒を対象とした相談を実施することが困難である。 協議時間の拡充を検討する。			
予算事業決算額の5割、該当部分の額							
事業名	学力向上推進		所管課	指導室		予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	学力の向上を目指し教職員研修事業として講師・専門家を招聘し講義・演習及び授業研究を行うなど、児童・生徒の学ぶ意欲を高め、生きる力を育む教育の推進を図った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
決算額(千円)	830	833		課題・課題を踏まえた今後の展開 人権教育及び特別支援教育については悉皆の研修として実施するとともに、授業力向上に向けたより専門的な研修会の実施が課題。 特別支援教育研修会については一律の内容の研修ではなく、経験年数やスキルに応じた研修内容とする。			
事業名	指導事業		所管課	指導室		予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	職場体験等を通じ、生徒に働くことの意義を学ばせるなど、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培うことのできる教育活動としてのキャリア教育の充実に努め、社会体験や自然体験等の直接体験を行い、生きる力を育む教育を推進する。市内4校の中学校が、庁内を含め職場体験を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
決算額(千円)	403	406		課題・課題を踏まえた今後の展開 キャリア教育を更に充実し、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応力、キャリアプランニング能力等の基礎的・汎用的能力を児童生徒に育むこと。 教育活動のあらゆる機会に、基礎的・汎用的能力を育成できるよう、キャリア教育に関わる教員の理解啓発を促進する。			

事業名	学校運営改善・発展のための事業		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	第三者評価を実施し、教育活動その他の学校運営状況について、客観的立場から評価を行う。学校訪問後各委員から提出された報告書を基に平成26年度の改善等を確認することができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
学校運営連絡協議会開催数(回)	31	30		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
第三者評価(回)	11	11	課題・課題を踏まえた今後の展開	各委員の専門性を生かした学校経営へのアドバイスが行えるよう、実施方法等の理解を委員間で十分に図ることが課題。平成26年度第1回委員会において事業説明を実施し、委員それぞれの役割を明確にした上で、評価を実施する。		
決算額(千円)	601	588				

・新たな時代に対応するための国際理解教育やICT教育を推進する。また、児童・生徒が情報内容を適切に判断できるよう情報モラルに関する指導にも取り組んでいく。

事業名	国際理解教育促進		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	外国語活動及び中学校英語指導におけるコミュニケーション能力育成のためALTを配置した。また日本語の使用に不慣れな児童・生徒のために指導員を派遣した。ALTの授業により児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上が図られ、また日本語指導員の補助により学習内容の理解が進んでいる。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
小学校1校あたり配置日数(日)	28(平均)	29(平均)		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
中学校1校あたり配置日数(日)	29(平均)	29(平均)	課題・課題を踏まえた今後の展開	小学校の外国語活動及び中学校英語科の授業における、ALTの活用をより充実させていくことが課題。また、日本語指導については、児童・生徒に必要な言語を話せる日本語指導員の人材を確保及び配置を適切に行っていくことが課題。指導主事による学校訪問により、ALTの活用状況を把握するとともに、活用について指導する。また、日本語指導員に関しては、ACCU等の外部機関と連携し指導員の確保に努める。		
決算額(千円)	8,154	9,101				

事業名	★情報教育推進費		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	児童・生徒がICT機器に親しみ、教員が授業をより分かりやすくするための学習指導の充実が図られた。小学校には、タブレット端末が導入され、教室や屋外でもより有効にICT機器を活用できるようになった。情報教育推進協議会や教職員夏季研修会を開催し、タブレット端末を活用した授業について学ぶことができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
授業でICT機器を活用している教員の割合(%)	73.0	91.9		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市内のすべての教員がICT機器を活用した授業を行い、教員の授業改善・授業力向上による児童・生徒の学力向上を目指していく。そのために、実践例の紹介などの情報提供を含めた教員研修が必要である。中学校でのタブレット端末導入に向け、教室内の環境整備も行った。		
決算額(千円)	59,674	67,955				

・Q-Uアンケートの実施及び結果の活用を通じて、いじめや不登校の早期発見・未然防止に努めるとともに、学級集団づくりの研究を推進する。

事業名	★特別支援教育推進		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対し、専門家チームによる巡回相談を実施するなど、個々のニーズに的確に応える指導体制づくりを推進する。地域特別支援教育推進連絡協議会を3回実施し、特別支援教室モデル事業の進捗状況等を協議した。また、Q-Uアンケートを小1から中3まで年間2回実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
Q-Uアンケート実施学年数(学年)	全学年(小1～中3)	全学年(小1～中3)※三の中みハイパーQU		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度に中学校1校で実施したハイパーQUを市内全ての小中学校で実施できるようにすることで、全ての小中学校においてより多面的に児童生徒の状況を把握し、児童生徒の健全育成に資することが課題。ハイパーQUを全ての小中学校で実施する。		
決算額(千円)	3,745 予算事業決算額の5%	3,803 該当部分の額				

・東日本大震災の経験を踏まえ、災害時に適切な対応が取れるよう、各学校の防災計画を見直すとともに、消防署や地域の避難所運営協議会と連携した避難訓練を検討するなど、防災教育の推進を図る。

事業名	避難教育の実施等		所管課		指導室		予算科目	-
事業概要・26年度の成果	安全教育年間計画に基づき、毎月1回程度、避難訓練・安全指導を全ての小・中学校で行っている。また、平成24年度に完成した「防災マニュアル」を基に、防災教育の推進が図られている。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている			
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでない			
			課題・課題を踏まえた今後の展開	各学校が作成した「防災マニュアル」をより実効的なものにするために内容を精査し、副読本「地震と安全」「避難訓練の手引」防災教育補助教材「3. 1 1 を忘れない」等を活用して、防災意識の高揚、防災知識の普及等、防災教育の推進について一層図られるようにする。				
決算額(千円)	-	-						

施策2. 特別支援教育の推進

施策小項目

・関係部署や医療機関と連携し、就学相談等の充実を図るとともに、個々の児童・生徒の状況にあった支援員の確保に努めていく。

事業名	就学相談関係費		所管課	学校教育課		予算科目	10-1-3
事業概要・ 26年度の成果	就学支援委員会での検討結果を踏まえつつ、希望する学級等の十分な説明、保護者の同意を経て、適切な就学・転学先を決定する。また、希望する新小学1年生には、就学支援シートにより就学前の支援を小学校へ引き継ぐ。平成26年度の小・中学校の就学相談は43件、転学相談は30件、就学支援シート作成は42件。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
通級学級児童生徒 数(人)	106	123		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
固定学級児童生徒 数(人)	50	47		課題・ 課題を踏まえた今後の 展開 東京都「特別支援教室」モデル事業の実践研究を踏まえた就学相談の充実。入級生徒数・相談件数が増加していることから、入級、退級、見学等の基準・日程・システム等を見直す。			
決算額(千円)	2,837	2,749					

事業名	特別支援教育支援員		所管課	学校教育課		予算科目	10-1-3
事業概要・ 26年度の成果	通常学級に在籍する特別な支援が必要な生徒（弱視・肢体不自由等）に対し、各1名（必要な場合は2名）の特別支援教育支援員を配置した。また、適切な支援に向けて、学校、保護者、特別支援教育支援員等で十分協議するとともに、特別支援教育支援員に対し日常的な取り組みの中で資質向上を図るよう研修等を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
特別支援教育支援 員を配置した児 童・生徒数(人)	4	4		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
				課題・ 課題を踏まえた今後の 展開 支援の内容が多岐に渡るため、児童・生徒・保護者からの要望全てに対応できていないこと、また、支援員の勤務条件の改善や緊急時の代替者の確保が課題である。今後は支援員の勤務条件の改善及び安定的な人員配置できる策を検討していく。			
決算額(千円)	4,664	5,824					

- ・教育研究所を中心に、教育相談など、支援が必要な児童・生徒への支援の充実に努める。

事業名	特別支援教育推進(巡回相談員等) (再掲)		所管課	指導室		予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対し、専門家チームによる巡回相談を実施し、学校現場における状況を把握することにより、児童・生徒個々のニーズに的確に応える指導体制づくりを推進する。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
巡回相談回数(回)	55	60		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
			課題・課題を踏まえた今後の展開	相談対象の児童生徒数が増加しており、相談時間内に学校が相談を希望する全ての児童生徒を対象とした相談を実施することが困難である。協議時間の拡充を検討する。			
決算額(千円)	686	722					
予算事業決算額の5、該当部分の額							
事業名	★特別支援教育推進(再掲)		所管課	指導室		予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童・生徒に対し、専門家チームによる巡回相談を実施するなど、個々のニーズに的確に応える指導体制づくりを推進する。地域特別支援教育推進連絡協議会を3回実施し、特別支援教室モデル事業の進捗状況等を協議した。また、Q-Uアンケートを小1 から中3まで年間2回実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
Q-Uアンケート実施学年数(学年)	全学年(小1～中3)	全学年(小1～中3)※三の中のみハイパーQU		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度に中学校1校で実施したhyper-QUを市内全ての小中学校で実施できるようにすることで、全ての小中学校においてより多面的に児童生徒の状況を把握し、児童生徒の健全育成に資することが課題。ハイパーQUを全ての小中学校で実施する。			
決算額(千円)	3,745	3,803					
予算事業決算額の5、該当部分の額							

- ・通級システムに代わる新たな巡回指導システムを導入し、個々の児童・生徒の状況に応じた的確な支援を行うとともに、すべての教員の発達障がいに対する理解を深めていく。

事業名	特別支援教室モデル事業		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	通級システムに代わる新たな巡回指導システムを導入し、個々の児童・生徒の状況に応じた的確な支援を行う。通級指導学級が設置されていなかった3小学校に特別支援教室を設置し、平成25年4月から巡回指導を開始できている。指導体制や教室環境の整備、指導計画の策定等を準備し、指導の開始終了判定システム運用の準備を進めた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
特別支援教室を設置している学校数(校)	3	3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	1,003	985	課題・課題を踏まえた今後の展開	巡回指導については全ての学校において実施できた。今後については、平成28年度の特別支援教室導入に向け、保護者向けの説明を実施することが課題。平成28年度特別支援教室の円滑な実施に向けた保護者説明会の実施。		

施策3. 地域との連携の推進

施策小項目

・学校運営について、学校運営連絡協議会を通じて教育内容の向上を図るとともに、第三者評価を実施し、各学校の経営改善・充実を図る。

事業名	学校運営改善・発展のための事業(再掲)		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	第三者評価を実施し、教育活動その他の学校運営状況について、客観的立場から評価を行う。学校訪問後各委員から提出された報告書を基に平成26年度の改善等を確認することができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
学校運営連絡協議会開催数(回)	31	30		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
第三者評価(回)	11	11	課題・課題を踏まえた今後の展開	各委員の専門性を生かした学校経営へのアドバイスが行えるよう、実施方法等の理解を委員間で十分に図ることが課題。平成26年度第1回委員会において事業説明を実施し、委員それぞれの役割を明確にした上で、評価を実施する。		
決算額(千円)	601	588				

・多様な知識や経験、技能等を持つ地域の人材を活用した幅広い教育を推進する。

事業名	学校ボランティア協力員		所管課	指導室	予算科目	10-1-3
事業概要・26年度の成果	様々な分野で専門性を有する市民を学校ボランティア協力員として登録し、教育内容の充実及び地域に開かれた学校づくりを推進する。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
登録者数(人)	1	4		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	本制度の周知及び登録者の確保が課題である。各学校における協力員の必要性や課題を再確認し、より実効性のある制度の構築を検討する。		
決算額(千円)	1	0				

施策4. 教育環境の充実

施策小項目

・防犯カメラなどによる学校内の安全を確保するとともに、地域や関係機関等と連携し、児童・生徒の通学中の安全確保に努める。

事業名	学校安全対策費		所管課	学校教育課	予算科目	10-1-2
事業概要・26年度の成果	学校安全ボランティアの周知と保険加入、ボランティア研修会の開催により、地域の方による学校の登下校の見守り活動を支援した。通学路安全対策推進会議を設置し、通学路安全対策プログラムを策定(平成26年7月)したほか、市・教育委員会・学校・警察の関係機関による通学路(抜け道)の危険箇所の把握・共有とその改善を円滑に行うことができた。粕江第三小学校と緑野小学校の通学路上に合計10台の防犯カメラを設置した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
学校安全ボランティア登録者数(人)	112	105		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
カメラ設置台数(台)	小学校:23 中学校:17	小学校:23 中学校:17	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、保護者に向けた学校安全ボランティアの周知を進める。学校安全ボランティアの活動がより効果的なものとなるよう、通学路安全対策プログラムや推進会議と連携していく。		
決算額(千円)	6,673	9,006				

・講演会や試食会など給食に関する取組みにより、『食』に関する意識の啓発を図るとともに、食材検査の実施や旧粕江第七小学校跡地における給食センターの整備、食缶方式※による給食の提供を通じて、学校給食の充実を図る。

事業名	★学校給食費(食材検査)		所管課	学校教育課		予算科目	10-2-5
事業概要・26年度の成果	小学校給食の食材検査の実施については、学校給食における食品の安全性を資するため、放射性物質検査、細菌検査、地場野菜の残留農薬検査、遺伝子組み換え食品の分析検査を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
食材検査の実施回数(回)	14	14		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	小学校給食の食材検査の実施については、概ね期待通りの成果が出ている。また、平成27年度も同程度の測定を行う。			
決算額(千円)	550	467		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	★中学校給食費(食材検査)		所管課	学校教育課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	ミルク給食及びあっせん弁当事業を実施し、飲用牛乳について放射性物質検査を年11回実施（小学校と共通）した。また、平成27年度7月の中学校給食再開に向けて、給食センターの準備を進めた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
生徒の年間平均喫食率(%)	※中学校給食事業中止に伴い算出不可	※中学校給食事業中止に伴い算出不可		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
食材検査の実施回数(回)	11	11	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年7月の中学校給食開始を目標に、給食センター整備、中学校給食事業開始準備、調理委託業者選定等を行った。食材検査についても、同時期から実施していく。			
決算額(千円)	23	54		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	★中学校給食費(給食センター)		所管課	施設課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	平成26-27年度工事である中学校給食センター新築工事の契約を締結し、27年5月に工事完了。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	11.76	23.53		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年6月引渡し・7月運用開始ができるように工事を完了させた。			
決算額(千円)	10,037	387,199		予算事業決算額のうち、該当部分の額			
事業名	★既存施設改修工事(中学校昇降機)		所管課	施設課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	給食センターの新築に合わせて設置する中学校昇降機設置の実施設計・工事を完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年1月をもって工事を完了している。			
決算額(千円)	5,250	254,855		予算事業決算額のうち、該当部分の額			

【脚注】

※ 食缶方式：保温性の高い食缶におかずや汁を入れ、各学校に給食を届ける方式

施策5. 教育施設の整備

施策小項目

- ・児童・生徒の安全確保を最優先に公共施設整備計画に基づき、学校施設の耐震化に引き続き、非構造部材の調査・耐震化を進めていく。

事業名	★学校維持管理費(小学校)		所管課	学校教育課		予算科目	10-2-1
事業概要・26年度の成果	平成25年度の屋内運動場の点検結果を受け、屋内運動場の非構造部材の修繕を行った。また、屋内運動場新基準箇所と校舎について、非構造部材の点検を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
非構造部材耐震化小学校数(校)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度実施予定のバスケットゴールと照明の耐震化を終えれば、屋内運動場の必要箇所の耐震化は終了する。			
決算額(千円)	1,273	2,901					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

事業名	★学校維持管理費(中学校)		所管課	学校教育課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果	平成25年度の屋内運動場の点検結果を受け、屋内運動場の非構造部材の修繕を行った。また、屋内運動場新基準箇所と校舎について、非構造部材の点検を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
非構造部材耐震化中学校数(校)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度実施予定の吊り天井(泊江第二中学校)とバスケットゴール、照明の耐震化を終えれば、屋内運動場の必要箇所の耐震化は終了する。			
決算額(千円)	1,246	6,613					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

- ・管理諸室及び特別教室の空調設備は、老朽化等に伴う更新にあわせ、順次整備していく。

事業名	★既存施設改修工事(小学校空調)		所管課	施設課		予算科目	10-2-6
事業概要・26年度の成果		泊江第一小学校管理諸室及び特別教室空調設備整備工事を完了した。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
空調設備を設置している小中教室数(室)		273	279		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度以降も計画的に更新していく。		
決算額(千円)		28,396	31,450				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

事業名	★既存施設改修工事(中学校空調)		所管課	施設課		予算科目	10-3-5
事業概要・26年度の成果		泊江第四中学校管理諸室及び特別教室空調設備整備工事の設計を完了した。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
空調設備を設置している小中教室数(室)		273	279		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	設計を完了した事業について、平成27年度以降に工事を行っていく。		
決算額(千円)		35,434	1,944				
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

・学校緑化基本方針に基づき、各学校と調整のうえ、校庭芝生化・壁面緑化・屋上緑化等の学校緑化を進め、児童・生徒の豊かな心の育ちを扶けるとともに、地域の人々とのコミュニケーションの場の創生、地球温暖化対策等の推進を図る。

事業名	既存施設改修工事(小学校緑のカーテン)		所管課		学校教育課		予算科目	10-2-1
事業概要・26年度の成果		既設校にて継続して緑のカーテンの設置を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
緑のカーテン設置 小学校数(校)	5	5		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年度に粕江第一小学校に設置することにより、全校への設置が完了する。今後は、設備の維持・管理を適切に行っていくことが課題となる。				
決算額(千円)	567	0						
予算事業決算額のうち、該当部分の額								
事業名	学校維持管理費(中学校緑のカーテン)		所管課		学校教育課		予算科目	10-3-1
事業概要・26年度の成果		粕江第三中学校に緑のカーテンを設置し、中学校全校への設置が完了した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
緑のカーテン設置 中学校数(校)	3	4		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	全校への設置が完了したことから、今後、設備の維持・管理を適切に行っていくことが課題となる。				
決算額(千円)	609	486						
予算事業決算額のうち、該当部分の額								

◆Ⅳ- i 地域福祉

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 相談機能の充実

施策小項目

- ・支援が必要な人が自らのニーズに合った十分な相談を行えるよう、福祉相談機能の充実を図っていく。
- ・専門性の高い人材の配置・育成を通じて、障がい者や高齢者、子どもなどにおける個別の専門相談支援体制の充実を図るとともに、制度の谷間に置かれることのないよう、個別の部署での取扱いが困難なケースでも対応できる相談支援体制を構築する。また、支援が必要な人をワンストップ[※]で受け止めるための窓口の整備を進める。
- ・“小さなまち”という市の特徴を活かし、民間事業者も含めた関係機関や福祉・保健・医療・教育をはじめとした関係部署との連携を強化することで、支援を必要とする人と支援者が常に「顔の見える関係」が保たれる全市的な相談支援体制を構築する。

事業名	社会福祉協議会			所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	笑顔サービス、ボランティア等の通常事業に加え、和泉小学校において社会福祉協議会法人化40周年を記念した式典を開催し、記念誌・記念品の作成、映画の上映を行う等、社会福祉協議会の活動を周知した。業務については、10月より給与・社会保険等業務の一部を税理士法人に委託し、事務の効率化を図った。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
事業数(事業)	5	5		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
笑顔サービス協力会員数(人)	120	108	課題・課題を踏まえた今後の展開	地域包括ケアシステムの実現に向け、社会福祉協議会の役割は今後も増大する。個々の事業の精査・見直しを行うことで、より効率的かつ効果的に事業を展開する必要がある。また、平成28年4月の市民活動支援センターの開設にあたり、社会福祉協議会担当部署との連携を図り、円滑にボランティア事業を移行させる。				
決算額(千円)	92,869	96,829						
事業名	障がい者福祉センター			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	障がい者福祉センターを運営し、障がい者に対する歯科相談、療育相談等の各種相談、水泳教室等のレクリエーション事業等を実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
総合相談・医療相談件数(件)	2,234	3,503		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
水泳教室・プール開放利用者数(人)	9,182	7,168	課題・課題を踏まえた今後の展開	法改正による障がい者支援制度の変更や他の事業等実施等により、障がい者福祉センターに求められる役割も変わってきており、利用者のニーズに合ったサービスとなるよう、今後事業を展開していく必要がある。				
決算額(千円)	45,078	46,539						
事業名	難病者相談設置			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	難病の治療をされている方や家族に対して、難病者相談員による相談を行う。平成25年11月から東京都難病相談支援センターのピア相談員を設置している。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	5	3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	医療やサービスの対象者も拡大がなされたことから、より一層の周知をする必要がある。同様に対応する市職員も様々なケースに必要な配慮について学んでいき、本人や家族がどのような部分に相談を抱えているのかを把握する必要がある。				
決算額(千円)	25	30						

【脚注】

※ ワンストップ：1つの窓口で複数の相談等を受けられること。

事業名	相談支援事業			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果	あいとびあセンター内にある地域活動支援センター「リヒト」に委託し、福祉サービスの利用援助や生活等の相談に関する事業を行っている。平成26年度は、延べ2,135人の利用があった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
延べ利用者数(人)	2,135	2,889		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	精神障がい者が中心の事業となっており、発達障がい、高次脳機能障害等にまでには事業が広がっていない。委託内容を精査し、一層相談支援体制の充実を図っていく必要がある。				
決算額(千円)	7,840	7,840						
事業名	★総合相談事業			所管課	高齢障がい課		予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターに委託しており、高齢者からの多様な相談に対して制度横断的に支援する。平成26年度の相談件数は、25年度に比べて微減となった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	4,571	4,399		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	相談件数は微減したが、地域包括支援センターの実施する総合相談事業の成果としては、平成25年度と同程度である。今後は、目指す方向性に沿うよう、センターの周知強化を図る。				
決算額(千円)	29,250	29,250						
事業名	身体障がい者相談			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域における障がい者等からの相談を受けるため、市内の当事者又は当事者の家族を相談員として配置している。また、相談員として知識を習得するため、年1回研修を実施。市や事業所では言えないようなことを継続的に相談として受けている。また、市内小学校や近隣中学校で障がいについて広報活動を継続して行っている。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	32	41		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	研修等を定期的 to 実施し、相談員の質の向上を図る。地域で障がい者やその家族が安心して暮らすことができるようにしていく。相談員について地域住民に更に周知を図る。				
決算額(千円)	101	101						
事業名	知的障がい者相談			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-3
事業概要・26年度の成果	地域における障がい者等からの相談を受けるため、市内の当事者又は当事者の家族を相談員として配置している。また、相談員として知識を習得するため、年1回研修を実施。市や事業所では相談できないことを当事者の、当事者の家族により相談できるメリットがある。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	31	81		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	研修等を定期的 to 実施し、相談員の質の向上を図る。地域で障がい者やその家族が安心して暮らすことができるようにしていく。相談員について地域住民に更に周知を図る。				
決算額(千円)	68	68						

事業名	障がい児通所支援事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	児童発達支援、放課後デイサービス、医療型児童発達支援、障害児相談支援等のサービスを実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
通所児童延べ人数(人)	1,614	1,748		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	各通所サービスの利用は多いが、障害児相談支援の利用が少ない。担い手不足が大きな原因であり、相談支援事業所及び相談支援専門員をどうすれば増やすことができるのかを検討し、相談支援の利用者の増加を図る必要がある。		
決算額(千円)	99,845	111,675				

施策2. 地域福祉活動の推進

施策小項目

- ・社会福祉協議会[※]や民生委員児童委員[※]等の公的機関に加え、地域で暮らす市民一人ひとりが地域福祉推進の担い手となり、地域に密着した福祉サービスを提供していく。
- ・地域団体への働きかけなどを通じ、民生委員児童委員の人材確保に努めるとともに、待遇改善に向けた国等への働きかけを行っていく。

事業名	民生委員・児童委員関係費		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	地域で支援を必要とする方の相談に応じるとともに、行政や関連機関とのパイプ役となる民生委員・児童委員の活動により、地域福祉の充実を図る。民生委員・児童委員協議会を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
民生委員、児童委員数(4/1現在)	45	44		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者実態調査の実施による高齢者世帯の見守りのほか、学校との連絡調整により児童に対する見守り体制もできつつある。課題は、欠員委員をなくし、福祉のネットワーク体制を構築していくことである。		
決算額(千円)	6,639	6,564				

事業名	民生委員・児童委員協力員関係費		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	民生委員・児童委員に対する協力、補完的事業等を行う協力員の活動により、地域福祉の充実を図る。民生委員・児童委員協力員事業を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
協力員数(4/1現在)	6	6		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	見守り等事業を実施できているが今後は高齢者の増加が見込まれることもあり、民生委員・児童委員との協力体制の構築が必要である。		
決算額(千円)	379	372				

【脚注】

※ 社会福祉協議会：社会福祉法に基づき設置される民間組織（社会福祉法人）。市民や地域の福祉関係者・団体等により構成され、各種の福祉サービスや相談活動等を通じて地域福祉の増進に向けて取り組んでいる。

※ 民生委員・児童委員：民生委員は、日常生活や暮らしのほか、高齢者や障がい者の福祉等に関する相談や支援を行っている。児童委員は、児童や妊産婦への支援等を行う。

事業名	社会福祉協議会(再掲)		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・ 26年度の成果	笑顔サービス、ボランティア等の通常事業に加え、和泉小学校において社会福祉協議会法人化40周年を記念した式典を開催し、記念誌・記念品の作成、映画の上映を行う等、社会福祉協議会の活動を周知した。業務については、10月より給与・社会保険等業務の一部を税理士法人に委託し、事務の効率化を図った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
事業数(事業)	5	5		C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
笑顔サービス協力 会員数(人)	120	108	課題・ 課題を踏ま えた今後の 展開	地域包括ケアシステムの実現に向け、社会福祉協議会の役割は今後も増大する。個々の事業の精査・見直しを行うことで、より効果的かつ効果的に事業を展開する必要がある。また、平成28年4月の市民活動支援センターの開設にあたり、社会福祉協議会担当部署との連携を図り、円滑にボランティア事業を移行させる。		
決算額(千円)	92,869	96,829				

・市内のNPOやボランティア団体等との協働による取組みを通じて、地域福祉活動の充実を図っていく。

事業名	地域自立支援協議会関係費		所管課		福祉相談課		予算科目	3-1-1	
事業概要・26年度の成果		地域の関係機関によるネットワークの構築等を図りながら、地域の障がいサービス、相談支援の課題について、具体的な検討を行う。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果		A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし						C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開		当事者委員を増やしたことで、当事者の参加の機運は高まっている。ただし、会議体等での当事者へのフォロー体制は今後の課題である。また、相談支援から挙がる課題に対する協議についても個人情報の取り扱いに十分留意しながら進めていく必要がある。今後は小さなまちのメリットを活かした地域における支援ネットワークの充実を図る。			
決算額(千円)		577	657						

施策3. ユニバーサルデザインの推進

施策小項目

・障がい者や高齢者の特性によるニーズに対応しつつ、すべての生活者や利用者の視点に立って、妊婦や子ども、子ども連れの人なども対象としたさらなるユニバーサルデザインを推進する。

事業名	★民間施設ユニバーサルデザイン推進事業		所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	建築物の新設の際に行われる各課協議の場などで制度の紹介をする等、事業者への周知に力を入れたが、申請は0件となっている。このことを踏まえ、各区市の状況を調査し、より利用者にとって利用しやすい制度に改正していくための検討を現在行っている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度の検討を踏まえ、利用者にとってより利用しやすい制度にするべく現在福祉基本条例施行規則の改正及び要綱の整備を行っている。改正後の制度の周知に努め、より市民に身近な場所でのユニバーサルデザイン化を推進していく。			
決算額(千円)	0	0					

事業名	★交通安全施設整備費（ベンチ設置）			所管課	道路交通課		予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果		「思いやりベンチ事業」を活用した、ベンチ設置を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
新規ベンチ設置基数(基)	1	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	継続的にベンチを設置していく。				
決算額(千円)	500	421						
事業名	★自然保護費（思いやりベンチ設置）			所管課	環境政策課		予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果		「思いやりベンチ事業」による寄附で多摩川河川敷水神前にベンチ設置を3基実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
思いやりベンチ設置台数	-	3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も継続して「思いやりベンチ事業」を周知し、寄附者を募るとともに、市内における設置候補場所を拡大し、取組みを広げていく。				
決算額(千円)	-	298						
事業名	★児童遊園のベンチ設置			所管課	整備課		予算科目	-
事業概要・26年度の成果		旧七小跡地（東京都下水道局貯留施設上部）へ新設する児童遊園に思いやりベンチを設置する計画で、募集を行い3基分の申し込みがあった。しかし、整備工事がⅠ期・Ⅱ期に分かれることになり、思いやりベンチは平成27年度に整備予定のⅡ期工事で設置することになった。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
設置箇所	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年10月に公園の開園を目指しているため、それまでに思いやりベンチを設置する。				
決算額(千円)	-	-						

・ハード面における取組みとともに、従事する職員の対応や施設等の利用に関する分かりやすい情報提供等のソフト面にも配慮し、市民への意識啓発も含め総合的に取り組んでいく。

事業名	★広報関係費		所管課		秘書広報室		予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果		広報活動を通じて、市政情報その他の情報を的確に市民に伝えることにより、市民の市政への参加及び参画を促進する。平成26年度は、広報こまへの毎号2色化を実施し、引き続きユニバーサルデザイン化に取り組んでいく。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし					C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	より多くの方に広報こまえが入手できるような取組みを検討していく。			
決算額(千円)		15,499	16,313					

事業名	★ホームページ関係費		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果	市ホームページを通じて、市政情報その他の情報を的確に市内外の方に発信していく。平成26年度にウェブアクセシビリティ方針を策定し、27年度にリニューアルを実施していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
アクセス数(件)	1,640,316	2,344,185		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	総務省みんなの公共サイト運用モデル(2010 年度改定版)及び、日本工業規格 JIS X 8341-3:2010 に対応したホームページに取組む。		
決算額(千円)	2,560	2,407				
事業名	★歩行者移動支援に関する現地事業(ココシルこまえ)		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	粕江市内のニュースや口コミ、お知らせ、登録された店舗等の情報を発信する機能と市内施設の利用者の特性に応じたバリアフリー情報を検索できる機能を持つ「ココシルこまえ」は、Web版、携帯電話アプリケーション版ともに平成25年度に完成した。平成26年度の年間ページビューは37,773件、年間ダウンロード数は448件となっている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後は、Webを使用した市民への周知を進めるとともに、積極的に市のコンテンツを掲載していくよう検討を進めている。		
決算額(千円)	-	-				

・誰もが地域でいきいきと社会参加ができるよう、民間施設のバリアフリー化を引き続き財政面から支援するとともに、補助制度の利用促進に向けた取組みを進める。

事業名	★民間施設ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	建築物の新設の際に行われる各課協議の場などで制度の紹介をする等、事業者への周知に力を入れたが、申請は0件となっている。このことを踏まえ、各区市の状況を調査し、より利用者にとって利用しやすい制度に改正していくための検討を現在行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)	0	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度の検討を踏まえ、利用者にとってより利用しやすい制度にするべく現在福祉基本条例施行規則の改正及び要綱の整備を行っている。改正後の制度の周知に努め、より市民に身近な場所でのユニバーサルデザイン化を推進していく。		
決算額(千円)	0	0				

施策4. 災害時要援護者対策

施策小項目

- ・ワークショップの検討結果を踏まえた災害時要援護者マニュアルを作成するとともに、他の町会・自治会等にもマニュアルを配布し、災害時要援護者事業の全市展開を図る。
- ・災害時要援護者支援検討委員会や検討プロジェクトチームによる検討を踏まえ、高齢者や障がい者等の避難に必要な支援や福祉避難所に必要な機能等の整備に努める。
- ・個々の状況に応じた災害時の個別支援計画を策定し、災害時要援護者の支援を含めた避難訓練を実施するとともに、災害時に有効に機能するような共助体制の構築に努める。
- ・災害時における対応については、自助をベースとしつつも、援護が必要な方には適切に援護が行き届くよう周知を図る。

事業名	★避難行動要支援者事業（再掲）		所管課	地域福祉課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	避難行動要支援者名簿（旧災害時要援護者名簿）の情報と、民生委員の収集した高齢者実態調査の情報を一つのシステムに統合し、情報の共有を図ると共に、住民基本台帳とのリアルタイムの連携を可能とする「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」を整備した。また、視覚障がい者災害用ベストを当事者も含めた作成委員会で作成し、視覚障がい者に配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
災害時要援護者名簿登録者数(人)	2,818	3,300		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支援組織設立箇所数(箇所)	2	2	課題・課題を踏まえた今後の展開	平成26年度整備した「地域見守りあんしん“こまねっと”データベース」の情報をもとに、避難行動要支援者の見守りについて支援組織との協定を締結し、情報連携を図る。また、災害時の避難に支援が必要であるにもかかわらず、一見して障がいがあることがわかりにくい聴覚障がい者向けの災害用ベストの開発を行う。		
決算額(千円)	5,258	7,745				

◆Ⅳ- ii 高齢者福祉

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 自立生活の支援

施策小項目

・より高齢者のニーズにあった生活支援サービスを展開するとともに、自立した元気高齢者として生活できるような支援メニューを展開する。

事業名	入浴券		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	自宅に入浴設備がない、またはやむを得ない事由により自宅の入浴設備を使用できない状況にある65歳以上の高齢者及び心身障がい者に対し、月4枚を限度として入浴券を交付する。外部評価委員会の提言を受け、27年度から所得要件を設け、対象者を市民税非課税者のみとした。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
交付者数(人)	92	88		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
交付枚数(枚)	3,161	4,136	課題・課題を踏まえた今後の展開	交付者数は微減しているが、これは、入浴設備のない居宅が減少していることが要因と思われる。引き続き、適正な交付に努める。		
決算額(千円)	1,438	1,555				
事業名	高齢者自立支援日常生活用具給付		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	支援を必要とする高齢者の日常生活の便宜を図るため、寝たきり高齢者、虚弱高齢者等に対し、歩行支援具やシルバーカーなどの日常生活用具を給付する。26年度は25年度と比較して大きく件数が減少した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
給付件数(件)	60	38		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	給付件数が減少したことについて、検証していく必要があり、給付対象用具の種類の精査及び周知の強化に努める。		
決算額(千円)	786	520				
事業名	理容・美容サービス		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	市内在住の常時寝たきり等で在宅の方に対し、理容・美容組合等への委託事業として、散髪またはカットを受けることができるサービス券を交付する。委託費の上限は、来店時が2,000円、出張時が4,000円となっている。26年度の利用件数は、25年度と比較してほぼ横ばいとなった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
理容件数(件)	73	74		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
美容件数(件)	67	72	課題・課題を踏まえた今後の展開	現在、利用者負担について明確に規定されておらず、利用者負担をとっていない受託者については、通常よりも低い採算で実施している。利用者負担を含めた制度内容について、他市の状況等を調査しながら検討を進める。		
決算額(千円)	498	527				
事業名	高齢者配食サービス		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	要介護及び要支援の認定を受けている高齢独居世帯及び高齢者のみ世帯に週1～6回夕食を配達する。平成26年度は、月あたりおよそ96名の利用で年間の総配食数は12,869食であった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
登録者数(人)	135	128		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
配食数(食)	14,631	12,869	課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者の生活環境や食生活、健康状態は多様であり、利用者のニーズは様々である。委託先も含め、メニューなどについて検討する。また、安否確認も兼ねているが、緊急連絡先がない利用者もあり、万が一の対応について検討が必要である。		
決算額(千円)	12,290	11,119				

事業名	火災安全システム		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対して、家庭内での火災を予防し、生活の安全を確保するため、防災機器等を給付する。26年度は、電磁調理器のみ3件の給付を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
給付件数(件)	1	3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	電磁調理器以外の給付対象機器については、ここ数年実績がない状況であるため、必要性を含めた事業のあり方を再考する。		
決算額(千円)	19	55				

・関係機関や地域組織、地域企業等の地域の資産を活用しながら、虐待・認知症・災害時等も含めた総合的な見守り体制を整備する。

事業名	★あんしん見守りサービス		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	75歳以上の独居高齢者等に対し、孤独死の防止及びひとり暮らしへの不安解消を図るため、居宅に生活リズムセンサーと緊急通報ボタンを設置し、利用者の通報や一定時間センサーに反応がない時に民間の警備会社が駆けつける。平成26年度末の利用件数は61件となり、25年度末から15件の増となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
機器設置件数(件)	46	61		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	さらなる周知強化により、利用件数の増を目指す。また、類似事業として見られることの多いあんしん見守りサービスについて、双方の効果向上に向けて制度内容を再精査するとともに、必要に応じて整理を行う。		
決算額(千円)	1,745	2,006				

事業名	緊急通報システム(あんしんS)		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯等に対し、高齢者が身体の不調など緊急の状態に陥った場合に、事前に登録した親族、知人に通報可能な緊急通報ボタンを貸与する。26年度は25年度と比較して設置件数が減少した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
あんしんS設置件数(件)	213	190		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	一人暮らし等の高齢者の見守りとして有効ではあるが、電話回線等の制約(NTTアナログ回線のみ)があるため、利用者が減少傾向にある。類似事業として見られることの多いあんしんSについて、双方の効果向上に向けて制度内容を再精査するとともに、必要に応じて整理を行う。		
決算額(千円)	1,306	1,151				

事業名	見守り協定の締結		所管課	高齢障がい課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	ガス会社、電力会社、運送会社、銀行、配食業者等13企業との間で、各企業が高齢者宅へ出向いた際に異変を感じた場合は速やかに市役所に連絡をとる旨を内容とする見守り協定を締結した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
協定締結企業	0	13		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	地域の見守り体制の強化に向けて、締結先を模索・拡充していく。		
決算額(千円)	0	0				

事業名	高齢者地域相談事業		所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	高齢者やその家族などが困りごとなどを相談できる窓口として「こまほっとシルバー相談室狛江団地」を都営狛江団地商店街内に開設した。相談室では、相談にのるとともに、地域住民と連携して、高齢者の見守り活動を行っている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	こまホットシルバー相談室を拠点にした関係機関、住民のネットワークの形成と見守り活動をいかに展開していくかが課題である。			
決算額(千円)	-	7,482					
事業名	★虐待防止見守りネットワーク事業		所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	高齢者虐待防止や虐待ケースの対応について、各関係機関の連携を強化するための会議を実施。ネットワークの充実を図るため、見守り協定の締結を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
見守りサポーター数(人)	27	27		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
ネットワーク会議開催数(回)	1	1	課題・課題を踏まえた今後の展開	虐待防止ネットワークについては、実務を通じて、着実に前進した。いわゆる見守りについては、見守り協定数だけでなく、より実効性のあるネットワーク構築が必要である。平成26年度の見守り協定の締結団体数は、12団体である。			
決算額(千円)	1,179	1,079					

・今後増加が見込まれる高齢者の権利侵害の防止と権利を行使できない状況にある高齢者の支援に向け、成年後見制度の普及啓発や利用促進など、高齢者の権利擁護の取組みを強化していく。

事業名	★権利擁護事業		所管課	福祉相談課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	高齢者虐待対応等で、成年後見申立て支援等を実施した。地域に向けては、認知症等で判断能力を欠く状況になっても、高齢者の権利が侵害されない地域を目指し、認知症サポーター養成講座を行った。また、職員課との協働で、市職員接遇研修の一環として、平成26年度より本講座を利用した研修を行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
講演会開催回数(回)	2	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
委託団体数(団体)	3	3	課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者虐待等、権利擁護については、職員の専門性が確保されなければならない。組織改正を行い、専門職を配置したことで、一定の水準確保は図れた。成年後見制度利用も大きく伸びた。今後は身近な地域包括支援センターの職員への権利擁護制度の普及啓発が必要である。		
決算額(千円)	2,925	2,925				

・関係機関や関係部署と連携し、住宅供給や相談、補助等も含めた総合的な高齢者等の住まいの支援体制を構築する。

事業名	自立支援住宅改修給付			所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-7	
事業概要・26年度の成果		支援が必要な高齢者に対し、手すりの設置、浴槽の取替え等、住宅のバリアフリー化に要する改修費用を給付する。25年度と比較して給付件数が増えた。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
給付数(件)		25	37		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も高齢者の増加に伴い、給付件数は増えると想定される。引き続き、給付の適正化及び周知の充実に努める。			
決算額(千円)		6,410	9,991					

事業名	シルバーピアいわど・のがわ・いずみ		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-7
事業概要・26年度の成果	住宅に困っている高齢者に対して、高齢者に配慮した市営高齢者専用の集合住宅3棟(45戸)を提供する。居室には、緊急通報装置及び生活リズムセンサーが設置されているほか、生活協力員としてワーデンを配置している。26年度末の入居率は100%であった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
年度末時点の入居率(%)	いわど 100 のがわ 98 いずみ 100	いわど 100 のがわ 100 いずみ 100		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	築年数の経過により、修繕が必要な設備が多く出てきている中で、入居者の適正な居住環境の維持のために迅速な対応に努める。		
決算額(千円)	57,532	57,382				

施策2. 生きがいづくりの推進

施策小項目

・引き続きシルバー人材センターなど社会活動への参加を促すとともに、高齢者の就労や老人クラブ等の活動の充実を支援する。

事業名	★シルバー人材センター運営費助成		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	高齢者の地域との関わりや生きがいづくりを目的に、狛江市シルバー人材センターへ補助金を交付する。平成26年度は、衣服工房ひまわりの建替えを行い、また慈恵医大やデパートへの出店等精力的な事業を展開した。会員数の減少が見られたが、平成27年10月時点では530人程度に回復しており、会員増強を図っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
会員数(人)	565	507		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	会員数の増に向けて重点的に取り組むよう、センターの活動を見つづ、必要に応じて指導する。また、財政運営について、法人の安定した運営のためには一定程度の繰越及び内部留保は止むを得ないと考えが、その額については適切な範囲を維持するよう注視していく。		
決算額(千円)	40,927	41,710				
事業名	老人福祉団体助成		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	老人クラブの活動に対し助成を行い、高齢者の社会活動、レクリエーション等の活動を支援する。平成26年度の老人クラブについては、例年通りの清掃活動等の社会奉仕活動や歌謡大会等のレクリエーション活動を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
助成団体数(クラブ)(団体)	17	17		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	介護予防の推進や地域包括ケアシステムの構築における位置づけについて調査・研究する。また、会員の大半が後期高齢者であり、多様な事業の展開や事務手続等を円滑に行うことが困難である。周知の充実を通じて、担い手を増やし、自主的な活動を強化していく。		
決算額(千円)	5,325	5,323				

事業名	老人福祉センター			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の機会を提供する老人福祉センターを管理運営する。26年度は大きなトラブルもなく安定した運営ができた。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
利用者数(人)	21,588	19,449		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	介護予防が重要な観点となる中で、介護予防事業の拠点としての位置づけについて調査・研究する。また、利用者のマナーに係る細かなトラブルが少なくなく、引き続き、行政として可能な範囲で対応をとっていく。				
決算額(千円)	2,642	2,728						
事業名	高齢者福祉週間行事			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-4
事業概要・26年度の成果	長寿のお祝いと高齢者の外出・交流を促進するため、75歳以上の高齢者を対象として、式典及び演芸公演等を内容とした高齢者福祉大会を実施する。26年度は、式典、演芸公演に加え、都立粕江高校の生徒による箏曲が披露された。来場者数は、25年度とほぼ同程度となった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
参加者数(人)	1,137	1,131		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	26年度に受けた外部評価委員の提言を十分に参考とし、集客向上を図る。また、多くの75歳以上の高齢者が集まる貴重な機会であることから、高齢者を対象とした各種事業のPR等、事業の性質を活かした活用を検討・実施していく。				
決算額(千円)	1,630	1,664						

施策3. 介護予防・認知症予防の推進

施策小項目

・高齢期を見据えた早期の生活習慣病の改善等に取り組むことで健康寿命の延伸を促すとともに、関係部署と連携し、元気な高齢者ができるだけ要介護状態となるのを防ぐ取組みを推進する。

事業名	★一次予防事業		所管課	高齢障がい課		予算科目	介護3-1-1
事業概要・26年度の成果	高齢者が要介護状態になることを防ぐことを目的として、公園で遊具を活用した体操等を行う「うんどう教室」、外出・交流促進を狙いとした「会食会」、認知症の予防及び進行の抑制を狙いとした「認知症予防講座」等を実施した。平成26年度は、うんどう教室を1カ所増設したことにより、参加者数が増加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている		
事業回数(回)	243	272		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない		
事業参加者延べ人数(人)	4,428	4,752	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数は平成25年度に比して増加しており、事業参加への意欲は高く一定の成果は出ている。参加者数のさらなる増に向けて周知強化に努める。また、今後は、新しい総合事業への移行も踏まえ、予防の効果分析を行い、事業の見直しを行う。			
決算額(千円)	15,061	16,111					

事業名	二次予防事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-1
事業概要・26年度の成果	生活機能評価により介護予防の必要性が高い高齢者を把握し、要介護状態になることを防ぐ取組みとして、運動・口腔・栄養の複数分野を扱う複合型介護予防教室のほか、歩行改善教室、口腔講座を実施した(各事業の予算科目は一次予防事業)。26年度は、事業の見直しを行い回数を減らしたため参加者数も減少した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
生活機能評価実施人数(人)	7,459	7,884		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
事業参加者実人数(人)	120	72	課題・課題を踏まえた今後の展開	新しい総合事業への移行により、一次・二次予防対象者の区分けが取り払われることに伴い、地域を拠点とした事業展開に向けて、上記の一次予防事業とともに介護予防事業全体の検証・整理を行う。		
決算額(千円)	21,907	23,510				
事業名	★介護予防ケアマネジメント事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターへの委託事業として、身体機能の維持改善等を図り、要介護状態を予防する介護予防事業の効果向上に向けて、事業対象者に対してアセスメント(身体状況の調査)等を実施する。平成26年度は、二次予防事業参加者72人(実人数)のアセスメントを行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今般の介護保険制度の大改正により、現在の介護予防事業と一部の介護予防給付事業が平成29年度までに新しい総合事業へと移行することとなるが、本事業は、この移行に伴い内容が大きく変わることから、移行後の適切な運営に向けて検討を進める。		
決算額(千円)	20,475	29,475				

・介護予防・認知症予防の推進や虐待・孤独死等の防止のさらなる強化に向け、地域包括支援センターの役割の見直し、機能強化を図っていく。

事業名	★地域包括支援センター運営協議会		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護1-1-1
事業概要・26年度の成果	介護保険サービス利用者や事業者等関係者で構成される協議会において、地域包括支援センターの適切な運営、公正・中立性の確保、役割の見直し・機能強化に向けた協議等を行う。平成26年度は3回開催し、26年度の活動の方向性や25年度の取組みの評価について議論した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	議論の結果を以後の政策形成に活かすことができていない。また、ここ数年は、毎年同様のテーマのみを議論してきたが、その時々状況に応じて柔軟に議題を選定し、議論の結果を以後の政策形成に活かしていく。		
決算額(千円)	162	168				
事業名	★包括的・継続的ケアマネジメント事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターへの委託事業として、高齢者への包括的、継続的な支援に向けた関係機関との連携体制の構築、介護支援専門員(ケアマネジャー)への支援等を行う。平成26年度は、民生委員との合同研修会や介護支援専門員を対象としたフォローアップ研修及び事例検討会を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後ますます進展する高齢化社会において、非常に重要な事業であると考えられるが、地域包括支援センターの業務負担が大きく、本事業に十分に注力できない状況にある。業務負担軽減に向けた策を地域包括支援センター運営協議会による議論を交えて検討する。		
決算額(千円)	5,850	5,850				

事業名	★権利擁護事業(再掲)		所管課	福祉相談課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	高齢者虐待対応等で、成年後見申立て支援等を実施した。地域に向けては、認知症等で判断能力を欠く状況になっても、高齢者の権利が侵害されない地域を目指し、認知症サポーター養成講座を行った。また、職員課との協働で、市職員接遇研修の一環として、平成26年度より本講座を利用した研修を行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
講演会開催回数(回)	2	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
委託団体数(団体)	3	3	課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者虐待等、権利擁護については、職員の専門性が確保されなければならない。組織改正を行い、専門職を配置したことで、一定の水准确保は図れた。成年後見制度利用も大きく伸びた。今後は身近な地域包括支援センターの職員への権利擁護制度の普及啓発が必要である。		
決算額(千円)	2,925	2,925				
事業名	★総合相談事業(再掲)		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターに委託しており、高齢者からの多様な相談に対して制度横断的に支援する。平成26年度の相談件数は、25年度に比べて微減となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	4,571	4,399		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	相談件数は微減したが、地域包括支援センターの実施する総合相談事業の成果としては、平成25年度と同程度である。今後は、目指す方向性に沿うよう、センターの周知強化を図る。		
決算額(千円)	29,250	29,250				
事業名	★介護予防ケアマネジメント事業(再掲)		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域包括支援センターへの委託事業として、身体機能の維持改善等を図り、要介護状態を予防する介護予防事業の効果向上に向けて、事業対象者に対してアセスメント(身体状況の調査)等を実施する。26年度は、二次予防事業参加者72人(実人数)のアセスメントを行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今般の介護保険制度の大改正により、現在の介護予防事業と一部の介護予防給付事業が29年度までに新しい総合事業へと移行することとなるが、本事業は、この移行に伴い内容が大きく変わることから、移行後の適切な運営に向けて検討を進める。		
決算額(千円)	20,475	29,475				

施策4. 介護保険制度の推進

施策小項目

・民間事業者と連携し、特別養護老人ホームや地域密着型サービス(グループホーム・小規模多機能型居宅介護複合型サービス、定期巡回随時対応型訪問介護看護)の整備を推進する。

事業名	★特別養護老人ホーム、地域密着型サービスの整備		所管課	地域福祉課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	都の高齢者施設整備に係る補助金を活用し、地域密着型サービスである認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所の公募を行い、事業者を選定して、施設整備に着手した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
施設サービス・地域密着型サービス(グループホーム・小規模多機能)等の整備施設数	0	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	高齢者福祉保健計画・第6期介護保険事業計画に基づき、地域密着型事業所及び介護保険施設の整備を行っている。平成27年度は26年度着工した認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所に加え、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所及び夜間対応型訪問看護事業所、28年度は特別養護老人ホームの開設を予定している。		
決算額(千円)	-	28,700				

- ・介護保険制度の円滑な運営に向け、介護給付適正化の取組みを進めるとともに、保険料の滞納対策を強化する。

事業名	任意事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-2
事業概要・26年度の成果	介護給付の適正化を図るため、福祉用具及び住宅改修給付における調査支援委託、介護サービスの利用状況を利用者に再確認してもらう「給付費通知」を5,559通発送した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	介護給付適正化事業については、「介護給付適正化支援システム」の導入により、事業所に対して給付の適性を図っていく。		
決算額(千円)	857	971				
事業名	介護保険料の徴収		所管課	高齢障がい課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	介護保険料徴収率向上に向け、督促状、催告書にカラー封筒を使用した他、催告書を郵便局振込用紙と一体型の様式に変更、口座振替手続依頼書の早期送付、口座振替端末ペイジーの導入、資格取得予定者への介護保険周知パンフレット送付を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
現年度徴収率(%)	86.7	87.1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	介護保険料収納業務に従事する嘱託職員を1名配置し、未納者へ電話催告を実施していく。		
決算額(千円)	-	-				

◆Ⅳ- iii 障がい者福祉

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 相談体制の強化

施策小項目

- ・障がい者(児)がどこに誰と暮らすか選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生し健康に暮らせるよう、市や社会福祉協議会、相談支援事業所等における相談体制の充実に努める。
- ・プロジェクトチームの検討を踏まえ、地域自立支援協議会との連携のもと、相談支援機関の要となる基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制の再編を図る。
- ・プロジェクトチームによるワンストップ窓口の構築や利用者の視点に立った分かりやすい福祉サービスの検索システムの導入等に向けた検討を進めるとともに、関係部門と連携し、狛江市に合った包括的な相談体制の構築に努める。

事業名	社会福祉協議会(再掲)		所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	笑顔サービス、ボランティア等の通常事業に加え、和泉小学校において社会福祉協議会法人化40周年を記念した式典を開催し、記念誌・記念品の作成、映画の上映を行う等、社会福祉協議会の活動を周知した。業務については、10月より給与・社会保険等業務の一部を税理士法人に委託し、事務の効率化を図った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
事業数(事業)	5	5		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
笑顔サービス協力会員数(人)	120	108	課題・課題を踏まえた今後の展開	地域包括ケアシステムの実現に向け、社会福祉協議会の役割は今後も増大する。個々の事業の精査・見直しを行うことで、より効率的かつ効果的に事業を展開する必要がある。また、平成28年4月の市民活動支援センターの開設にあたり、社会福祉協議会担当部署との連携を図り、円滑にボランティア事業を移行させる。			
決算額(千円)	92,869	96,829					
事業名	障がい者福祉センター(再掲)		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	障がい者福祉センターを運営し、障がい者に対する歯科相談、療育相談等の各種相談、水泳教室等のレクリエーション事業等を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
総合相談・医療相談件数(件)	2,234	3,503		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
水泳教室・プール開放利用者数(人)	9,182	7,168	課題・課題を踏まえた今後の展開	法改正による障がい者支援制度の変更や他の事業等実施等により、障がい者福祉センターに求められる役割も変わってきており、利用者のニーズに合ったサービスとなるよう、今後事業を展開していく必要がある。			
決算額(千円)	45,078	46,539					
事業名	相談支援事業(再掲)		所管課	福祉相談課・高齢障がい課		予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果	相談支援事業をあいとぴあセンター内にある地域活動支援センター「リヒト」に委託している。相談支援事業としては、延べ2,135人の利用があった。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
延べ利用者数(人)	2,135	2,889		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	精神障がい者が中心の事業となっており、発達障がい、高次脳機能障害等にまでには事業が到達していない。委託内容を精査し、一層相談支援体制の充実を図っていく必要がある。			
決算額(千円)	7,840	7,840					

事業名	身体障がい者相談(再掲)			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	地域における障がい者等からの相談を受けるため、市内の当事者又は当事者の家族を相談員として配置している。また、相談員として知識を習得するため、年1回研修を実施。市や事業所では言えないようなことを継続的に相談として受けている。また、市内小学校や近隣中学校で障がいについて広報活動を継続して行っている。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	32	41		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	研修等を定期的に実施し、相談員の質の向上を図る。地域で障がい者やその家族が安心して暮らすことができるようにしていく。相談員について地域住民に更に周知を図る。				
決算額(千円)	101	101						
事業名	知的障がい者相談(再掲)			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-3
事業概要・26年度の成果	地域における障がい者等からの相談を受けるため、市内の当事者又は当事者の家族を相談員として配置している。また、相談員として知識を習得するため、年1回研修を実施。市や事業所では言えないようなことを継続的に相談として受けている。また、市内小学校や近隣中学校で障がいについて広報活動を継続して行っている。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	31	81		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	研修等を定期的に実施し、相談員の質の向上を図る。地域で障がい者やその家族が安心して暮らすことができるようにしていく。相談員について地域住民に更に周知を図る。				
決算額(千円)	68	68						
事業名	障がい児通所支援事業(再掲)			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	児童発達支援、放課後デイサービス、医療型児童発達支援、障害児相談支援等のサービスを実施した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
通所児童延べ人数(人)	1,614	1,748		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	各通所サービスの利用は多いが、障害児相談支援の利用が少ない。担い手不足が大きな原因であり、相談支援事業所及び相談支援専門員をどうすれば増やすことができるのかを検討し、相談支援の利用者の増加を図る必要がある。				
決算額(千円)	99,845	111,675						
事業名	地域自立支援協議会関係費(再掲)			所管課	福祉相談課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	地域の関係機関によるネットワークの構築等を図りながら、地域の障がいサービス、相談支援の課題について、具体的な検討を行う。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	当事者委員を増やしたことで、当事者の参加の機運は高まっている。但し、会議体等での当事者へのフォロー体制は今後の課題である。また、相談支援から挙がる課題に対する協議についても個人情報の取り扱いに十分留意しながら進めていく必要がある。今後は小さなまちのメリットを活かした地域における支援ネットワークの充実を図る。				
決算額(千円)	577	657						

施策2. 障がい福祉サービスの充実

施策小項目

- ・次期障害者計画の策定に向け、当事者を対象としたニーズ調査などを通して、現状の障がい福祉サービスに関するニーズの把握に努める。

事業名	★障害者計画・障害者福祉計画関係費		所管課	地域福祉課・高齢障がい課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	市の障がい者施策の今後の方向性と取組みを定める第4期障害者計画・障害福祉計画を策定した。音訳・点訳業務委託については未実施となった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	ニーズを的確に把握したうえで、ニーズに合わせた施策を行っていくため、事業の見直しや新しい取り組みを検討する。計画は、ニーズに応えるものであると同時に、現在の財政状況や人員体制等の状況を踏まえて実現が可能なものであることが求められる。		
決算額(千円)	1,983	2,464				

- ・社会福祉協議会と連携したヘルパーの養成や市独自の基準に基づくヘルパー資格の付与等を通じて、質と量の両面から福祉サービスの基盤となるヘルパーの充実を支援することで、福祉サービスの充実を図る。

事業名	障がい者(児)ホームヘルパー研修		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	ホームヘルパーの養成や質の向上を目的とした研修を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
研修実施回数(日)	2	2		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加人数(人)	9	7	課題・課題を踏まえた今後の展開	研修実施により、質と量の両面から福祉サービスの基盤となるヘルパーの充実を支援することで、福祉サービスの充実を図る。社会福祉協議会と連携し、引き続き、知的障がい者への支援のヘルパー研修を実施していくとともに、周知広報にも力を入れていく。		
決算額(千円)	325	325				

- ・外出支援の促進に向け、近隣自治体と連携した広域的なネットワークの構築に努め、利用者のニーズに応えられるよう事業を展開していく。

事業名	★障がい者移送サービス費		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	タクシー及び福祉車両の利用料金の一部を助成することにより、障がい者の方の日常生活の向上を図る。タクシー券の利用者は11名、ハンディキャブ運行事業の利用者は10名増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
タクシー券利用者数(人)	481	492		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
迎車券利用者数(人)	6	6	課題・課題を踏まえた今後の展開	対象となる障がい者の高齢化に伴い、タクシー券とガソリン費助成の利用者は増加傾向にある。ハンディキャブ運行事業の運転協力者の高齢化が進んでおり、担い手の確保も課題である。		
決算額(千円)	17,660	18,140				

事業名	移動支援費支給事業			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-8	
事業概要・26年度の成果	外出時における移動が困難な障がい者及び障がい児に対して、移動に要する費用の一部を支給することにより、移動を支援する。平成26年度は利用量及び時間数ともに25年度より大きく伸びた。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
外出支援サービス(移動支援)利用時間数(時間)	9,551	12,020		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
利用者数(身体有・身介無)(人)	1,235	1,480	課題・課題を踏まえた今後の展開	毎年度利用実績が増加しており、登録事業者・従事者を増やし、利用者のニーズに応える体制を整えていく必要がある。事業者からの要望もあり27年度には単価改定を行った。ヘルパー研修についても毎年度実施しており、引き続き担い手の確保に努めている。					
決算額(千円)	22,489	28,211							

事業名	★補装具費支給事業			所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-8	
事業概要・26年度の成果	身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具（補装具費）について、購入又は修理のための費用を助成している。手帳取得時及びホームページ、広報等により制度の周知し、購入68件（他難聴児3件）、修理40件の支給を行った。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
購入(件)	72	68（他難聴児3）		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
修理(件)	54	40	課題・課題を踏まえた今後の展開	補装具難全般でみると利用は進んでいるが、聴児補聴器購入費助成については、特にさらなる周知が必要である。他の補装具とともに、引き続き、広報・HP等で制度の周知を図っていく。					
決算額(千円)	10,128	13,696							

事業名	★コミュニティバス関係費(再掲)			所管課	道路交通課		予算科目	8-4-1	
事業概要・26年度の成果	利便性が向上するバス停の新設を検討した。利用者の増加に結びつく周知のため、市民まつりへ参加した。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果が出ている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
乗車人員(1便当り)	20.1	22.2		C	あまり進捗していない・あまり成果が出ていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き、利用者増に結び付くよう利便性の改善において対応できるものから、順次取り組みを検討していくとともに、利用者の掘り起こしの機会の創出として事業の周知を推進していく。					
決算額(千円)	17,555	10,763							

・第三者評価の積極的な勧奨等により、福祉サービスの質の向上を促していく。

事業名	福祉サービス第三者評価事業			所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1	
事業概要・26年度の成果		事業所の第三者評価受審を促進するため、受審費の全部又は一部を補助する。事業所に対し、継続的に受審を促した結果、平成26年度の件数は増加し徐々に第三者評価が広がりつつある。							
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
評価実施件数(件)		6	9		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	東京都の第三者評価受審方針（3年に1回以上）に基づき、引き続き該当事業所へ受審を促す。平成27年度は、補助制度改正により東京都の福祉サービス第三者評価の補助の枠組みが変更となり、認可保育所（一部）、認証保育所に対する補助は地域福祉課の事業からは除外される。				
決算額(千円)		2,092	3,301						

・障害者総合支援法の施行による障がい者の範囲の拡大に対応するため、サービス基盤の整備等に向けた検討を進める。

事業名	★福祉作業所の一体化 (地域生活支援拠点の創設)		所管課	高齢障がい課	予算 科目	-
事業概要・ 26年度の成果	現在市内に3か所ある福祉作業所について、作業環境の改善、受け入れ体制の拡充、その他地域で暮らす障がい者に対して地域生活支援拠点として包括的な支援を行うため、施設の統合を図る。また、施設を設置・運営する法人に対して施設整備の補助を行う。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
			課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	緊急対応、コーディネート機能等の地域生活支援拠点として持つべき機能を検討する。		
決算額(千円)	-	-				

施策3. 自立生活・社会参加の支援

施策小項目

・障害者優先調達推進法の施行に伴う福祉施設への業務発注の拡大、実習生の受け入れ拡充等の検討を踏まえ、市内の民間企業と連携した障がい者の自立に向けた就労機会の確保・拡充に努める。

事業名	ふれあいサロン運営費補助		所管課	高齢障がい課	予算 科目	3-1-1
事業概要・ 26年度の成果	狛江市障害者団体連絡協議会で実施している就労支援施設「ふれあいサロン“夢”」の運営費補助、スタッフ給与、就労支援費の補助を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
補助件数(件)	1	1		C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
			課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	市内に障がい者就労の場、就労体験の場が不足している現状を考えると、そのための場として求められている役割は大きく、効果的に就労支援を実施できるよう今後の事業のあり方を検討していく必要がある。		
決算額(千円)	3,226	3,226				
事業名	障がい者就労・生活支援		所管課	高齢障がい課	予算 科目	3-1-1
事業概要・ 26年度の成果	障がい者地域自立支援センターを運営、障がい者就労支援センターを運営している。就労した方の定着支援に重点を置き、短期間での退職が以前より減少した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・ 期待通りの成果がでている	B 現状維持・ ある程度の成果がでている	
就労支援登録者数 (人)	139	142		C あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・ まったく成果がでていない	
支援述べ件数(件)	2,030	2,259	課題・ 課題を踏まえた今後の 展開	社会福祉協議会の職員体制（人員の確保）を整備する。就労・生活支援体制の効率化を図る。		
決算額(千円)	17,382	15,624				

事業名	★地域活動支援センター事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果	地域で生活する障がい者の日常生活の支援及び創作活動または生産活動の機会の提供，社会との交流，障がい者の地域生活支援の促進を図る。地域交流の事業の利用者も増加しており，地域交流が促進された。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
I 型延べ利用者数(人)	4,483	5,372		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
Ⅲ型延べ利用者数(人)	3,213	3,284	課題・課題を踏まえた今後の展開	日常生活支援や地域生活支援の質の向上を目指し，人材の育成を行う必要がある。		
決算額(千円)	27,720	27,720				

・商工会や法人会等を通じて、障がいのある人の就労問題への理解が深まるような働きかけを行っていく。

事業名	「障がい者週間」行事		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	障がい者週間にイベントなどを実施し、それを通して、障がい者への理解促進と啓発を図る。発達障がいに関する啓発用リーフレットの作成・配布を行うとともに、12月3日から9日まで展示会、12月21日に講演会と対話の会を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
イベント参加者数(人)	72	215		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
展示会参加者	469	494	課題・課題を踏まえた今後の展開	障害者差別解消の施行を踏まえ、障がい者団体や事業所と連携し、障がい理解促進・啓発を効果的に実施するための企画を考えていく。			
決算額(千円)	14	79					

・プロジェクトチームによる検討を踏まえ、障がい者の民間賃貸住宅への円滑な入居に向けた支援に努めるとともに、地域移行が進むようグループホームやケアホーム※など、居住の場の確保に努める。

事業名	知的障がい者生活寮		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-1-3
事業概要・26年度の成果	知的障がい者の地域における自立生活を促すため、食事の提供、その他の援助・指導を行う等、生活の場「生活寮」の健全経営を図る。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
運営費補助件数(件)	1	1		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
家賃補助件数(件)	40	40	課題・課題を踏まえた今後の展開	障がい者の地域移行・定着のために、グループホームのニーズは増加しているが、現状として空きが少ないことから、対応を検討していく必要がある。市内、市外ともグループホームの建設は今後も増加していくことが見込まれ、家賃助成の件数も増加していくものと考えられる。			
決算額(千円)	2,964	3,426					

【脚注】

※ ケアホーム：グループホームと同様であるが、介護を要する障がい者が共同生活を送る住宅のこと。

・道路や建物などをはじめとしたハード面と情報等のソフト面の両面からユニバーサルデザイン化を進め、誰もが外出しやすいまちづくりを推進する。

事業名	★民間施設ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)		所管課	地域福祉課		予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	建築物の新設の際に行われる各課協議の場などで制度の紹介をする等、事業者への周知に力を入れたが、申請は0件となっている。このことを踏まえ、各区市の状況を調査し、より利用者にとって利用しやすい制度に改正していくための検討を現在行っている。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)	0	0		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	昨年度の検討を踏まえ、利用者にとってより利用しやすい制度にするべく現在福祉基本条例施行規則の改正及び要綱の整備を行っている。改正後の制度の周知に努め、より市民に身近な場所でのユニバーサルデザイン化を推進していく。			
決算額(千円)	0	0					
事業名	交通安全施設費（ベンチ設置）（再掲）		所管課	道路交通課		予算科目	8-2-5
事業概要・26年度の成果	「思いやりベンチ事業」を活用した、ベンチ設置を実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
新規ベンチ設置基数(基)	1	2		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	継続的にベンチを設置していく。			
決算額(千円)	500	421					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							
事業名	★広報関係費(再掲)		所管課	秘書広報室		予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果	広報活動を通じて、市政情報その他の情報を的確に市民に伝えることにより、市民の市政への参加及び参画を促進する。26年度は、広報こまめの毎号2色化を実施し、引き続きユニバーサルデザイン化に取り組んでいく。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	より多くの方に広報こまめが入手できるような取組みを検討していく。			
決算額(千円)	15,499	16,313					

事業名	★ホームページ関係費(再掲)		所管課	秘書広報室	予算科目	2-1-3
事業概要・26年度の成果	市ホームページを通じて、市政情報その他の情報を的確に市内外の方に発信していく。26年度にウェブアクセシビリティ方針を策定し、27年度にリニューアルを実施していく。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
アクセス数(件)	1,640,316	2,344,185		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	総務省みんなの公共サイト運用モデル(2010年度改定版)及び、日本工業規格 JIS X 8341-3:2010 に対応したホームページに取組む。		
決算額(千円)	2,560	2,407				
事業名	★歩行者移動支援に関する現地事業(ココシルこまえ)(再掲)		所管課	地域福祉課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	粕江市内のニュースやロコミ、お知らせ、登録された店舗等の情報を発信する機能と市内施設の利用者の特性に応じたバリアフリー情報を検索できる機能を持つ「ココシルこまえ」は、Web版、携帯電話アプリケーション版ともに25年度に完成した。26年度の年間ページビューは37,773件、年間ダウンロード数は448件となっている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後は、Webを使用した市民への周知を進めるとともに、積極的に市のコンテンツを掲載していくよう検討を進めている。		
決算額(千円)	-	-				

施策4. 発達障がい(者)児の支援

施策小項目

- ・発達障がい者(児)の相談支援体制の充実を図っていくほか、発達障がいに関する市民の理解の促進に努める。

事業名	障がい児通所支援事業(再掲)		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果	児童発達支援、放課後デイサービス、医療型児童発達支援、障害児相談支援等のサービスを実施。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
通所児童延べ人数(人)	1,614	1,748		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	各通所サービスの利用は多いが、障害児相談支援の利用が少ない。担い手不足が大きな原因であり、相談支援事業所及び相談支援専門員をどうすれば増やすことができるのかを検討し、相談支援の利用者の増加を図る必要がある。		
決算額(千円)	99,845	111,675				

・出生から就学，就労に至るまでに社会的な困難が生じることをのらないよう，発達障がい者(児)の学習支援を行う団体等への支援を通じて，団体との協働による支援体制の構築に努める。

事業名	障がい児通所施設等支援事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果	地域ディグループ事業を実施していた法人が児童福祉法上の通所施設に移行した場合の激変緩和の対策として，家賃の一部を補助することにより，移行後の安定した事業継続を保障する。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
補助件数(件)	4	4		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	当事業については，5年間の時限的な補助事業であるため，5年後の見直し時まで，各事業所が補助金なしで事業を運営できるように，他の事業所との合併や多機能事業所への移行等，事業所を支援していく必要がある。		
決算額(千円)	4,367	6,840				
事業名	★発達障がい者(児)支援事業		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-8
事業概要・26年度の成果	発達障がいをもつ子どもの学習支援を行う事業所を支援することにより，二次的な精神的障がい（不登校，引きこもり等）を防ぐことを目的とする。1団体へ補助を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
補助件数(件)	1	1		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	事業所のサービス向上と運営の支援を継続する。支援の充実のためには福祉分野に限らず，児童分野・教育分野との連携が必要であり，まずは担当部署間での情報共有・課題共有が必要である。		
決算額(千円)	1,200	1,200				

施策5. 高次脳機能障がい・難病者(児)の支援

施策小項目

・高次脳機能障がいや難病等の方に対する情報提供や相談体制の強化など，支援の充実に向けた検討を進める。

事業名	難病者福祉手当		所管課	高齢障がい課	予算科目	3-1-2
事業概要・26年度の成果	難病者の福祉の増進のため，特定医療費助成やマル都医療助成を受給している方などに対し，難病者福祉手当を支給している。難病罹患者の増加に伴い，難病者福祉手当の支給額は増加している。法改正の動向を踏まえ，手当の目的等に照らしてより適正な支給を目指して他市の状況を参考にしながら支給要件等の見直しの検討を進めている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
手当支給人数(人)	延7,802	延8,458		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	総合支援法で難病者は障害者に位置付けられているが，障害者手帳所持者でかつ難病者の場合は心身障害者福祉手当に加えて難病者福祉手当を受給しており，公正を期すために難病者福祉手当の併給制限を実施し公平性を図っていくとともに，難病者に対し障害サービスの利用等の周知に努めていく。		
決算額(千円)	42,131	45,673				

事業名	難病者相談設置(再掲)		所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-2
事業概要・25年度の成果	難病の治療をされている方やその家族に対して、難病者相談員による相談を行う。平成24年度は実施できなかったが、平成25年11月から東京都難病相談支援センターのピア相談員を設置している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	5	3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	医療やサービスの対象者も拡大がなされたことから、より一層の周知をする必要がある。同様に対応する市職員も様々なケースに必要な配慮について学んでいき、本人や家族がどのような部分に相談を抱えているのかを把握する必要がある。		
決算額(千円)	25	30				

施策6. 虐待防止の推進

施策小項目

- ・地域関係機関の協力体制の整備や家庭訪問、関係機関職員への研修の実施などに加え、障がい者虐待防止センターにおける24時間の連絡体制を構築する。

事業名	障がい者虐待防止センター		所管課	福祉相談課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	心身に障がいがあり、養護者からの虐待を受けてしまったり、受ける可能性のある方に対し、当事者からの相談支援を行う障がい者虐待防止センターを開設し、24時間、365日の対応を行う。夜間、休日の受付体制は専用のPHSを導入し、管理職が随時、携帯をしている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	2	4		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	障害者差別解消法の本施行を踏まえ、障害者虐待とはどのようなことかについて改めて、事業所や当事者、市民を含めて周知し、虐待防止センターの対応職員の専門性をより強化する必要がある。		
決算額(千円)	-	-				

- ・通報義務をはじめとした障害者虐待防止法に関する情報の周知といった新たな制度の普及・啓発の観点から、虐待防止の推進を図る。

事業名	障害者虐待防止法に関する情報周知等		所管課	福祉相談課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	障害者虐待防止法に基づく、虐待の種類、範囲、通報、相談先等（市障害者虐待防止センター）について、市HPにて、継続して、周知を行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	障害者差別解消法の施行を平成28年に控え、より一層の周知が必要である。		
決算額(千円)	-	-				

◆Ⅳ-iv 生活福祉

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 相談機能の充実

施策小項目

・専門面接相談員の拡充や第二のセーフティーネットに関する情報提供の推進に努め、それぞれの世帯の状況に応じたきめ細やかな生活支援を行っていく。

事業名	★専門面接相談員の配置等（生活支援）	所管課	福祉相談課	予算科目	3-3-1
事業概要・26年度の成果	専門の面接相談員（2人）の配置により、より細やかな相談・説明が可能になった。また、窓口での対応業務も行っているため、訪問等で不在がちなケースワーカーの負担軽減になっている。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
面接相談件数(件)	554	530		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民の生存権を支える最後のセーフティネットの入口として、誤った情報や誤解、偏見などを払拭し、本当に必要な人が正しく利用できる相談体制を目指していく。	
決算額(千円)	6,434	6,462			

・生活資金の不足等により、一時的に生活の維持が困難になった世帯に対しては、社会福祉協議会と連携し、資金の貸付等生活の安定を図るための支援を行っていく。
 ・生活保護制度の適正な運用を図るとともに、関係機関と連携して、自立に向けた受給者の生活支援に努める。

事業名	緊急援護資金貸付	所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	生活資金の不足、火災等により生活の維持が困難となった世帯に対し、資金の貸付等生活の安定を図るための支援制度。毎年度少ない件数で推移しており、平成26年度は6件であった。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
資金貸付利用者(件)	2	6		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	利用者は各年度により違って来るが、一概に件数が少ないから成果がないという基準ではなく、生活困窮者のための緊急・災害時の一助として、事業の存続は必要である。	
決算額(千円)	170	485			

・生活保護制度の適正な運用を図るとともに、関係機関と連携して、自立に向けた受給者の生活支援に努める。

事業名	関係機関との連携	所管課	福祉相談課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	ハローワーク、社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生児童委員等との連携を図り、受給者の生活支援に努める。平成26年度は、生活困窮者自立支援モデル事業の実施により、こまYELLとの新たな連携を図ってきた。				
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	生活困窮者自立支援制度の本格実施に伴い、生活保護制度の面だけでなく、生活困窮者自立支援制度における外部関係機関とのネットワークづくりと地域に不足する社会資源の開発等にも取り組んでいく。	
決算額(千円)	-	-			

事業名	生活困窮者自立支援モデル事業		所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	生活困窮者自立支援制度の本格実施前にモデル事業として、平成26年10月～27年3月まで実施。相談者数は89人で、相談延件数は525件。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
新規相談者数(人)	-	89		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	任意事業として「就労準備支援事業」を行っているが、平成28年度から新たに「子どもの学習支援事業」の実施を考えている。課題としては庁外の関係機関とのネットワークづくりと、地域に不足する社会資源の開発等の取り組み。		
決算額(千円)	-	11,544				

施策2. 就労支援・就学支援体制の強化

施策小項目

・長期的な目標を立て、個々の状況に合わせた就労支援を行うとともに、各種制度の情報提供の充実に努めることで、制度の積極的な活用を促し、就労・就学に繋げていく。

事業名	★専門就労支援相談員の配置		所管課	福祉相談課	予算科目	3-3-1
事業概要・26年度の成果	稼働能力のある生活保護受給者に対しての就労相談・指導、またハローワークとの連絡調整及び就労に関する情報収集を行い、就労につなげていく。平成26年度は支援者数91人中73人が就労に至った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
就労支援相談件数(件)	84	91		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	ハローワーク及びこまYELLとの連携の強化の中で、就労に向けての支援はもちろんであるが、新たな就労支援場所の確保という面についても対応していきたい。		
決算額(千円)	3,286	3,289				
事業名	★生活安定応援事業		所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	大学・高校受験の受験料及び塾代の貸付相談を行う。平成26年度は、学習塾の貸付27件、受験料23件と、25年度と同伴件数になった。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	268	263		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	子どもの貧困が大きな社会問題化している中で、社会福祉協議会及びこまYELLと連携して、生活安定事業とは別の形の新たな事業へに取り組んでいく。		
決算額(千円)	3,039	3,360				
事業名	★住宅支援給付事業		所管課	福祉相談課	予算科目	3-1-1
事業概要・26年度の成果	離職によって住居を失った方（そのおそれがある方を含む）に対し、住宅手当を支給するとともに、再就職に向けた支援を行っていく。新規の申請件数は、一時社会的な現象として騒がれた派遣切りが落ち着いたこともあり、減少傾向にある。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
相談件数(件)	18	11		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
支給人数(人)	4	4	課題・課題を踏まえた今後の展開	この事業は平成26年度末で終了となった。平成27年度から生活困窮者自立相談支援事業の中で住宅支援給付として、新たに実施してしている。		
決算額(千円)	943	627				

◆Ⅳ-Ⅴ 保健・医療

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 健康意識の向上

施策小項目

・健康に関する相談や情報発信、啓発活動の充実に努めるとともに、講演会・研修会の内容を工夫するなど、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、積極的に健康づくりを進めるための健康意識の向上を図る。

事業名	健康教育		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	生活習慣病の予防や健康の保持・増進のため、健康に関する正しい知識を普及することにより、市民の「自らの健康は自ら守る」という認識を高める。平成26年度は、25年度と同じ12回の開催で、テーマを変えて実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
教室・講演等実施回数(回)	12	12		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
教室・講演等参加者数(人)	300	319	課題・課題を踏まえた今後の展開	テーマによっては参加者数が少ないものがある。周知方法などを工夫し、参加者増を図っていく。		
決算額(千円)	861	762				
事業名	健康相談		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	保健師、管理栄養士、歯科衛生士等による個別相談を毎月1回実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
実施回数(回)	12	12		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
相談者数(人)	51	70	課題・課題を踏まえた今後の展開	相談者数が少なく、固定化している。平成27年度からは日時を指定しての相談事業は廃止し、電話や窓口で随時相談を受ける体制に改める。		
決算額(千円)	80	83				
事業名	あいとびあ健康まつり		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	市民健康の発信地としてのあいとびあセンターに集い、健康づくりのヒントとなる事柄について考える機会とするため、健康づくりや子育て、福祉をキーワードとした催し物を開催した。平成25年度は雨天で参加者数が少なかったが、天候に恵まれ増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
参加者数(人)	400	675		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	内容が固定化している。健康づくりを考える機械とするため、実施内容を工夫していく。		
決算額(千円)	347	206				

- ・食育※については、食育推進計画に沿った事業展開を図り、食の観点から市民全体の健康をサポートしていく。

事業名	食育推進事業		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	食育の日や食育月間を普及させ、自らの食や健康に関心をもつためのきっかけ作りを目的とし、料理教室や講習会、講演会を開催した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
事業開催回数(回)	19	18		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
食育関連事業の参加者数(人)	291	299	課題・課題を踏まえた今後の展開	実習を伴う事業では、調理実習室の定員から募集人数が限られてしまう。内容の充実により事業効果を高めていく。		
決算額(千円)	701	656				

施策2. 健康診査の充実

施策小項目

- ・健康診査に関する情報に加え、病気の内容・予防や早期治療の重要性など、情報提供を充実することで、健康診査の受診を促していく。

事業名	健康診査		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	生活保護受給者の健康診査と、40歳以上の国民健康保険加入者に対する特定健康診査での市独自付加検査を実施している。特定健康診査の受診者数が伸びたことにより、決算額が増となっている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
生保健康診査受診者数(人)	236	230		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	生活保護受給者の健康診査では、受診者数が減少した。自己負担なく受けられる検診であるので、周知に努めていく。		
決算額(千円)	65,495	69,244				
事業名	健康診査（後期高齢）		所管課	保険年金課	予算科目	後期3-1-1
事業概要・26年度の成果	健康診査を受けることで生活習慣を見直すきっかけとし、生活習慣の改善、健康の保持・増進を図る。受診者数が年々増加している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
後期高齢受診者(人)	4,233	4,535		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	受診者は増加傾向であるが、さらなる増が望まれる。周知方法を工夫していく。		
決算額(千円)	38,778	42,686				

【脚注】

- ※ 食育：生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

・ 特定健診については、電話による受診勧奨を行うなど受診率向上に努める。

事業名	特定健診・特定保健指導(受診勧奨)		所管課	保険年金課		予算科目	国保8-1-1	
事業概要・26年度の成果		メタボリックシンドロームに着目した健診を実施し、生活習慣の改善や見直しにつなげることで、生活習慣病の予防や重症化予防につなげる。受診者数・受診率とも年々増加している。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
国民健康保険特定健康診査受診率(%)		45.6	47.3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
受診者数(人)		6,787	6,994		課題・課題を踏まえた今後の展開 受診率は向上しているが、目標値に達していない。周知方法の工夫など、さらなる施策展開が必要である。			
決算額(千円)		-	-					

・ がん検診について、啓発活動などを通じて受診率の向上に努め、早期発見、早期治療につなげていく。

事業名	がん検診		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	がんの早期発見・早期治療を目的とし、各種がん検診を実施した。受診者数が、わずかではあるが増加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
がん検診受診者数(人)	10,120	10,865		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	受診者数、受診率のさらなる増が望まれる。周知方法を工夫するとともに、検診の場を増やすなど受診機会を増やしていく。			
決算額(千円)	51,126	61,686					

施策3. 健康づくりの推進

施策小項目

・ 食生活や健康管理などに関する情報の提供を行い、市民が継続して健康の維持・改善に取り組みやすい環境を整備する。

事業名	あいとびあ健康まつり(再掲)		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-1
事業概要・ 26年度の成果	市民健康の発信地としてのあいとびあセンターに集い、健康づくりのヒントとなる事柄について考える機会とするため、健康づくりや子育て、福祉をキーワードとした催し物を開催した。平成25年度は雨天で参加者数が少なかったが、天候に恵まれ増加した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
参加者数(人)	400	675		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	内容が固定化している。健康づくりを考える機械とするため、実施内容を工夫していく。			
決算額(千円)	347	206					

事業名	健康教育(再掲)		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-1
事業概要・ 26年度の成果	生活習慣病の予防や健康の保持・増進のため、健康に関する正しい知識を普及することにより、市民の「自らの健康は自ら守る」という認識を高める。平成26年度は、25年度と同じ12回の開催で、テーマを変えて実施した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
教室・講演等実施 回数(回)	12	12		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
教室・講演等参加 者数(人)	300	319	課題・ 課題を踏ま えた今後の 展開	テーマによっては参加者数が少ないものがある。周知方法などを工夫し、参加者増を認っていく。			
決算額(千円)	861	762					

事業名	食育推進事業(再掲)		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-1
事業概要・ 26年度の成果	食育の日や食育月間を普及させ、自らの食や健康に関心をもつためのきっかけ作りを目的とし、料理教室や講習会、講演会を開催した。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・ 期待通りの成果がでている	B	現状維持・ ある程度の成果がでている
事業開催回数(回)	19	18		C	あまり進捗していない・ あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・ まったく成果がでていない
食育関連事業の参 加者数(人)	291	299	課題・ 課題を踏ま えた今後の 展開	実習を伴う事業では、調理実習室の定員から募集人数が限られてしまう。内容の充実により事業効果を高めていく。			
決算額(千円)	701	656					

・市民が気軽にできる健康づくりに関する事業の推進に努めるとともに、事業に関する情報発信・周知に努め、新規参加者や比較的若い世代の市民の参加を促していく。

事業名	健康増進			所管課	健康推進課		予算科目	4-1-2
事業概要・26年度の成果		運動が必要と認められた者等に、個人にあったトレーニング指導を行い、運動の動機付けを行うことで、生活習慣病の予防と健康維持・増進を図る。平成26年度は参加者数が減少してしまった。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
健康増進事業の参加者数(人)		12,417	12,110		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	登録者・参加者が減少した。参加しやすい曜日設定など、開催日時を工夫していく。			
決算額(千円)		5,563	5,161					
事業名	健康増進(国保)			所管課	健康推進課		予算科目	国保8-1-1
事業概要・26年度の成果		運動が必要と認められた者等に、個人にあったトレーニング指導を行い、運動の動機付けを行うことで、生活習慣病の予防と健康維持・増進を図る。平成26年度は参加者数が減少してしまった。						
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
健康増進事業の参加者数(人)		12,417	12,110		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
				課題・課題を踏まえた今後の展開	登録者・参加者が減少した。参加しやすい曜日設定など、開催日時を工夫していく。			
決算額(千円)		4,862	5,009					

事業名	★一次予防事業(再掲)		所管課	高齢障がい課	予算科目	介護3-1-1
事業概要・26年度の成果	高齢者が要介護状態になることを防ぐことを目的として、公園で遊具を活用した体操等を行う「うんどう教室」、外出・交流促進を狙いとした「会食会」、認知症の予防及び進行の抑制を狙いとした「認知症予防講座」等を実施した。平成26年度は、うんどう教室を1カ所増設したことにより、参加者数が増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
事業回数(回)	243	272		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
事業参加者延べ人数(人)	4,428	4,752	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数は平成25年度に比して増加しており、事業参加への意欲は高く一定の成果は出ている。参加者数のさらなる増に向けて周知強化に努める。また、今後は、新しい総合事業への移行も踏まえ、予防の効果分析を行い、事業の見直しを行う。		
決算額(千円)	15,061	16,111				

・健康診査で「危険性が高い」と判定された支援対象者に対する保健指導を行い、生活習慣の改善を促していく。

事業名	特定健診・特定保健指導		所管課	保険年金課・健康推進課	予算科目	国保8-1-1
事業概要・26年度の成果	メタボリックシンドロームに着目した健診を実施し、生活習慣の改善や見直しにつなげることで、生活習慣病の予防や重症化予防につなげる。受診者数・受診率とも年々増加している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
国民健康保険特定健康診査受診率(%)	45.6	47.3		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
受診者数(人)	6,787	6,994	課題・課題を踏まえた今後の展開	受診率は向上しているが、目標値に達していない。周知方法の工夫など、さらなる施策展開が必要である。		
決算額(千円)	81,578	83,884				

・ストレスから身を守り、心の健康を維持するための意識向上を図るとともに、ゲートキーパー[※]の養成等の自殺予防対策を推進する。また、福祉部門等と連携し、支援が必要な人のサポートに努める。

事業名	健康教育(ゲートキーパー関連)		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-1
事業概要・25年度の成果	市民と関係者が身近なゲートキーパーとなるゲートキーパー養成講座(講演会)を開催し地域での見守り、相談しやすい環境を作る。件数は少ないが相談が入っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
講演会参加者(人) ※ ゲートキーパー関連の講演会等の値	74	82		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	ゲートキーパーとなった人へのフォローと新規にゲートキーパーとなる人の開拓をおこなった。今後は、粕江市の特徴を踏まえたこのころの健康づくり対策が必要である。		
決算額(千円)	861 予算事業決算額のうち、該当部分の額	762				

【脚注】

※ ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

施策4. 母子保健の充実

施策小項目

- ・関係部署と連携して、乳幼児や妊婦の健康を守るとともに、近年社会問題ともなっている児童虐待を未然に防止する観点からも、相談事業の的確な運用を図っていく。
- ・保健師による相談体制については、利用状況や社会状況の変化に応じて、対象者の範囲や周知方法を随時見直していく。

事業名	母子保健事業関係費		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-1
事業概要・26年度の成果	各種健診や訪問事業，相談事業等を実施した。妊婦・出生数が増加している。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
訪問件数(件)	594	599		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	社会情勢の変化により，困難な対応事例が増加している。きめ細かな対応を図っていく。			
決算額(千円)	72,018	78,690					

- ・発達障がいに関する支援等、関係機関との連携を強化する。

事業名	障がい児通所支援事業(再掲)		所管課	高齢障がい課		予算科目	3-2-1
事業概要・26年度の成果		児童発達支援、放課後デイサービス、医療型児童発達支援、障害児相談支援等のサービスを実施。					
指標(単位)		25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
通所児童延べ人数(人)		1,614	1,748		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開	各通所サービスの利用は多いが、障害児相談支援の利用が少ない。担い手不足が大きな原因であり、相談支援事業所及び相談支援専門員をどうすれば増やすことができるのかを検討し、相談支援の利用者の増加を図る必要がある。		
決算額(千円)		99,845	111,675				

施策5. 地域医療体制の充実

施策小項目

- ・休日・夜間診療体制、小児救急診療体制の充実に努めるとともに、関係医療機関とのネットワークづくりを進める。
- ・市民の安心安全を確保する観点から、救急医療体制について、関係機関と連携し、充実を図る。

事業名	小児初期救急平日夜間診療事業		所管課	健康推進課		予算科目	4-1-2
事業概要・26年度の成果	慈恵第三病院及び調布市と共同で、平日準夜間診療を実施している。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
診療日数(日)	242	243		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
受診者数(人)	990	842	課題・課題を踏まえた今後の展開	診療事業は定着してきている。さらなる周知を図っていく。			
決算額(千円)	2,449	2,524					

事業名	休日診療所等関係費		所管課	健康推進課	予算科目	4-1-2
事業概要・26年度の成果	あいとびあセンターにて、休日診療・休日歯科診療・休日薬局を開設している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
診療日数(日)	72	72		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
診療所・薬局・歯科診療利用者数(人)	4,429	5,230	課題・課題を踏まえた今後の展開	診療事業は定着している。インフルエンザ流行期など、混雑時の対応が課題である。		
決算額(千円)	34,148	35,566				

・市広報紙や講演会・研修会などを通じて、かかりつけ医の普及促進に向けた啓発活動を行っていく。

事業名	かかりつけ医の普及促進		所管課	健康推進課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	各種健診事業や予防接種を市内医療機関で実施することで、かかりつけ医の普及を図っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
かかりつけ医がいる市民の割合(%)	71.4	74.8		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	遠方の病院等をかかりつけとしている市民が少なくない。身近な医療機関で健康管理を行うことの重要性を周知していく。		
決算額(千円)	-	-				

施策7. 国民健康保険の安定的な運営

施策小項目

- ・保健事業の推進を通じて、被保険者の健康の維持増進を図るとともに、適切な保険給付に努める。
- ・国民健康保険事業財政健全化計画に沿って、国民健康保険税の適正な賦課と収納率向上、医療費適正化、保健事業の推進等による国民健康保険事業の適正な運営に努める。

事業名	国民健康保険税の徴収		所管課	納税課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	収納率向上に向けた取り組みとして、滞納者の預金や不動産等の財産調査を行い、差押等の滞納処分を積極的に実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
国民健康保険税の徴収率(総合)(%)	79.6	83.7		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市税徴収率(総合)(%)	97.2	98.1	課題・課題を踏まえた今後の展開	収納率向上に向けた取り組みを、継続していきたい。		
決算額(千円)	-	-				

事業名	被保険者の保健事業費		所管課	保険年金課		予算科目	国保8-1-1		
事業概要・26年度の成果	月2回市役所正面ロビーにて、保健師と栄養士による健康相談を行った。また9月に健康フェアとして、健康測定及び診断を行っている。健康相談の相談者は年間のべ78人。健康フェアの参加者は205人。ジェネリック差額通知は計4回、1447人に発送。頻回・重複受診者にする対する指導については47名に訪問指導、17名に電話指導を行った。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
健康予防相談実施回数(回)	25	26		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
ジェネリック差額通知発送回数	2	4		課題・課題を踏まえた今後の展開		健康相談については定期的に相談を受けている被保険者もあり健康維持増進に寄与している。今後はPR方法を工夫し、利用者増を図る。ジェネリック差額通知については、通知回数を増やす等、さらなる充実を図り、普及率の向上を目指す。重複・頻回受診者については、該当者がいれば今後も適正化の指導を行う。			
決算額(千円)	1,718	4,704							
事業名	健康増進(国保)(再掲)		所管課	健康推進課		予算科目	国保8-1-1		
事業概要・26年度の成果	運動が必要と認められた者等に、個人にあったトレーニング指導を行い、運動の動機付けを行うことで、生活習慣病の予防と健康維持・増進を図る。平成26年度は参加者数が減少してしまった。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
健康増進事業の参加者数(人)	12,417	12,110		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
				課題・課題を踏まえた今後の展開		登録者・参加者が減少した。参加しやすい曜日設定など、開催日時を工夫していく。			
決算額(千円)	4,862	5,009							
事業名	特定健診・特定保健指導(再掲)		所管課	保険年金課		予算科目	国保8-1-1		
事業概要・26年度の成果	メタボリックシンドロームに着目した健診を実施し、生活習慣の改善や見直しにつなげることで、生活習慣病の予防や重症化予防につなげる。受診者数・受診率とも年々増加している。								
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている	
国民健康保険特定健康診査受診率(%)	45.6	47.3		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
受診者数(人)	6,787	6,994		課題・課題を踏まえた今後の展開		受診率は向上しているが、目標値に達していない。周知方法の工夫など、さらなる施策展開が必要である。			
決算額(千円)	81,578	83,884							

◆V-i 自然環境

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 水環境の保全と活用

施策小項目

- ・多摩川統一清掃等の河川環境の美化には、各種市民団体や一般市民、学校、企業等に参加を促し、環境美化と環境学習の両面において効果的な取組みとなるよう実施していく。
- ・水環境の保全に向け、様々な意見に広く耳を傾けつつ積極的な環境保全に対して柔軟に対応することで、市民と行政が協力して活動していくことができる環境づくりを推進する。

事業名	地域美化関係費		所管課	清掃課	予算科目	4-1-3
事業概要・26年度の成果	年に1回、市民参加による清掃活動を行うことにより、多摩川の自然を守り、河川愛護の啓発と高揚を図る。平成26年4月12日に多摩川統一清掃を実施し、62団体、1,847人が参加し、790kgのごみを回収した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
多摩川統一清掃参加者数(人)	1,863	1,847		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	近年では河川利用者のマナー向上やバーベキュー禁止条例施行によりごみ量が減少している。そのため、実施方法の整理及び環境保全を目的とするため、平成27年度より環境政策課に移管し、水辺の楽校等の市民団体と協働で事業を実施していく。		
決算額(千円)	628	604				

- ・水環境の保全に向け、様々な意見に広く耳を傾けつつ積極的な環境保全に対して柔軟に対応することで、市民と行政が協力して活動していくことができる環境づくりを推進する。

事業名	河川環境整備費		所管課	環境政策課	予算科目	8-3-1
事業概要・26年度の成果	野川の環境向上を図り、親水性を高めるとともに、身近な生活空間として利活用を推進する地域市民等の連携による清掃活動として野川美化清掃を実施した。また平成25年度より新規事業として開始した「野川生きもの観察会」を発展させ、平成26年度より「野川生きもの調査会」とし、野川の水生生物・昆虫・鳥類の生息状況調査を夏季・冬季の2回実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
野川生きもの調査会参加者数(人)	26 ※観察会という呼称だった	61		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
野川美化清掃参加者数(人)	280	278	課題・課題を踏まえた今後の展開	より多くの市民の方に自然保全及び生物多様性の重要性を理解してもらうため、参加者が増えるよう各事業の周知の強化・徹底を図る。		
決算額(千円)	76	189				

事業名	環境学習		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	6月初旬に環境月間における行事「こまエコまつり」を開催した。10月下旬には市民向け環境学習としてバスツアーを主催した。環境調査として「河川調査(野川・多摩川で年4回)」「NO2調査(約80ヶ所で年2回)」「酸性雨調査(9名の自宅で通年降雨時)」を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
環境学習他事業数(事業)	9	10		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
環境学習参加者数(人)	368	377	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数及び事業数は微増しているが、事業効果の向上に向けて、新たな参加者や事業をさらに増やしていく必要がある。		
決算額(千円)	361	361				

- ・市民レベルでの生物調査の実施に向け、市民団体や学校などと連携・協力して実施していく。

事業名	河川環境整備費(再掲)		所管課	環境政策課	予算科目	8-3-1
事業概要・26年度の成果	野川の環境向上を図り、親水性を高めるとともに、身近な生活空間として利活用を推進する地域市民等の連携による清掃活動として野川美化清掃を実施した。また平成25年度より新規事業として開始した「野川生きもの観察会」を発展させ、平成26年度より「野川生きもの調査会」とし、野川の水生生物・昆虫・鳥類の生息状況調査を夏季・冬季の2回実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
野川生きもの調査会参加者数(人)	26 ※観察会という呼称だった	61		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
野川美化清掃参加者数(人)	280	278	課題・課題を踏まえた今後の展開	より多くの市民の方に自然保全及び生物多様性の重要性を理解してもらうため、参加者が増えるよう各事業の周知の強化・徹底を図る。		
決算額(千円)	76	189				
事業名	緑の基本計画推進		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	緑の基本計画の施策の一つとして掲げる身近な場所での緑の創出として、接道部の緑化を推進するため講演会を2回実施した。また、生物多様性保全への取組みとして多摩川・野川での生きもの調査会を各2回ずつ実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
生きもの調査会参加者数(人)	26(1回)	124(4回)		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	緑について学習する機会の提供に加え、生きもの調査会を継続することなどにより、市民の意識醸成を促すとともに、生物多様性地域戦略策定に向けた情報収集を進める。		
決算額(千円)	591	1,425				

- ・多摩川河川敷全体の総合的な利活用を図るための方針を整理していく。

事業名	★多摩川利活用基本計画策定(再掲)		所管課	環境政策課	予算科目	8-3-1
事業概要・26年度の成果	多摩川利活用基本計画及び実施計画を策定した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩川利活用基本計画及び実施計画に基づき、多摩川利活用の推進を着実に図る。		
決算額(千円)	196 予算事業決算額のうち、該当部分の額	0				

施策2. 水環境の推進と下水道施設の整備

施策小項目

- ・下水道総合計画に基づき、浸水対策や合流式下水道の改善に努めるとともに、マンホールの浮上抑制対策やマンホールトイレシステム※の設置など、震災対策を推進する。
- ・イベントやPRパンフレットの配布等を通じて、雨水流出抑制施設※の有効性や助成制度に関する情報の一層の周知を行い、施設の設置を推進していく。

事業名	管渠維持管理費（雨水浸透ます・貯留槽設置助成）		所管課	下水道課		予算科目	下水2-1-1	
事業概要・26年度の成果	雨水浸透ます，貯留槽の設置に対し助成金を交付し，設置基数の増加につながった。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
浸透ます助成件数(基)	25	31		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
貯留槽助成件数(基)	16	22	課題・課題を踏まえた今後の展開	設置は進んでいるが，引き続き広報等周知に努める。 なお，平成27年度からは既存住宅に浸透ますを設置する場合の現場調査費等に助成対象を広げた。				
決算額(千円)	1,482	2,147						
予算事業決算額の5割、該当部分の額								
事業名	管渠整備費		所管課	下水道課		予算科目	下水2-2-1	
事業概要・26年度の成果	雨水管の整備については，設計及び新設工事を行った。雨水浸透施設については，平成26年度は事業の効果検証を行い，効果が発揮されていることを確認した。							
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている		B	現状維持・ある程度の成果がでている
雨水管渠の整備率(%)	73.5	75.5		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない		D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
雨水浸透施設設置数(箇所)(本施工分)	617	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	雨水管の整備については，100%整備を目指し引き続き整備を進めていく。雨水浸透施設については，平成27年度より設置事業を再開する。				
決算額(千円)	332,859	220,013						

【脚注】

※ マンホールトイレシステム：災害時に断水等により水洗トイレが使用できなくなった場合、下水道に直結したマンホールの蓋を外し、テントと便器を設置して使用する仮設トイレ。井戸やプール等の水を活用して排泄物を下水道本管に直接流したり、下水道本管が使用できないときには、一定期間貯留できる構造となるものもある。

※ 雨水流出抑制施設：雨水浸透施設や雨水貯留施設（貯留タンク、地下貯留槽等）又はこれらを組み合わせた施設。地下水の涵養や雨水の再利用だけでなく、直接下水管に流れる雨の減少により都市型水害の軽減や合流式下水道改善にもつながる。

施策3. 緑の保全と創出

施策小項目

- ・新たな緑の拡大に関する手法の調査・研究を進め、これからの時代に合った緑の創出に努めていく。

事業名	★「花いっぱい」エリア事業		所管課	環境政策課	予算科目	8-4-4
事業概要・26年度の成果	平成22年度より狛江駅南口にプランターを設置して、市民管理により景観を向上させる目的で「花いっぱい」エリア創設事業が開始された。都市計画道路調布3・4・17号線緑地帯や駅前三角地の花壇等の維持管理を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
植栽花苗数(本)	8,257	4,754		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	三角地の中央花壇が芝生に変更したため、その分の植栽花苗数が減少した。花いっぱい事業に協力するアドプト団体が増えるよう周知等の強化を図る。		
決算額(千円)	990	767				
事業名	緑化推進補助		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	平成25年度までの生垣助成制度を改め、平成26年度から新たに道沿いに生け垣、植樹帯及び花壇を造成する際の費用を補助対象に加えた緑のまち推進補助制度を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
補助件数(件)	2	2		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	補助対象を拡大したものの、補助実績が少ない状況を踏まえ、より多くの市民の方に活用していただけるよう周知を図る。		
決算額(千円)	80	142				
事業名	緑化推進		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	相談窓口を設け、市民からの緑化に関する相談に応じた。また、春と秋に開催している「花とみどりの即売会」において、市民に花苗、苗木、球根を配布した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
緑化相談件数(件)	45	42		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
花苗等の配布数	850	850	課題・課題を踏まえた今後の展開	緑化相談窓口を広く知ってもらうため、制度の周知を図る。また、花苗等の配布は今後も継続し、市内緑化を推進していく。		
決算額(千円)	974	836				

・引き続き、緑化基金等を活用した樹林地の保全に努めるとともに、生産緑地[※]等の維持保全に向けた検討を進める。

事業名	自然保護費		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	保存樹木（樹林・生垣）を指定することで、市内の緑を保全し環境の向上を目指している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
保存樹木数(本)	450	455		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
保存樹林箇所数	15	14	課題・課題を踏まえた今後の展開	開発等を理由にした指定の解除により、保全樹木、保存樹林及び生垣箇所数は減少傾向である。		
生垣箇所数	120	118				
決算額(千円)	6,979	6,435				

施策4. 公園の整備と管理

施策小項目

・引き続き公園や緑地等の整備に努めるとともに、既存の公園・緑地等の改修を進める。

事業名	児童遊園費		所管課	整備課	予算科目	3-2-3
事業概要・26年度の成果	旧七小跡地（東京都下水道局貯留施設上部）への児童遊園新設の第Ⅰ期工事を実施した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
公園整備面積	0	0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年9月末に児童遊園新設の第Ⅱ期工事を完了させ、10月の開園を目指しているが、下水道局が施工する街きょ工事を遅れさせないように調整する必要がある。		
決算額(千円)		39,430				

・アドプト制度[※]による市民団体・企業等による公園の継続的な管理の拡大に努めるとともに、広く市民に向けた制度に関する周知を行うことで、市民の認知度の向上と参加を促していく。

事業名	弁財天池緑地管理費		所管課	環境政策課	予算科目	8-4-4
事業概要・26年度の成果	狛江駅前にある「弁財天池特別緑地保全地区 [※] 」は市民団体に管理委託を行っている。通常は閉鎖管理をしているが、月に一度開放して自然観察会を市民団体が開催している。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
開放日(回)	14	17		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	市民団体により適切に管理されているが、高木剪定や管理団体の高齢化等の問題があることから、今後の展望について検討していく。		
決算額(千円)	3,858	7,009				

事業名	自主管理公園費		所管課	環境政策課	予算科目	8-4-4
事業概要・26年度の成果	前原公園，小足立のびのび公園では，開園前のワークショップ時より話し合いに参加した地域住民が市と協定を結び管理をしている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	B	現状維持・ある程度の成果がでている
自主管理公園数(箇所)	2	2		C	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
ボランティア参加者数(人)	1,017	1,244	課題・課題を踏まえた今後の展開	適正に管理されており，市民団体がほぼ常駐していることで苦情も少なくなっている。一方で団体の高齢化がすすんでいるため，人材の発掘等の検討が必要である。		
決算額(千円)	1,348	1,350				

【脚注】

※ 生産緑地：市街化区域内の農地等のうち，良好な都市環境を確保するための都市計画上の制度（生産緑地制度）により指定された農地

※ アドプト制度：道路や公園など公共施設の一部区域について，市民団体や企業等の団体が「里親」となり，市に代わって維持管理を行う制度

※ 特別緑地保全地区：都市における良好な自然的環境を保全するために，都市緑地法の規定に基づき指定された緑地

◆ V-ii 循環型社会

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. ごみ減量化の推進

施策小項目

・ごみ半減新聞及び市ホームページを利用した4R※の推進やごみの分別、市民団体と協働したエコバック等の作成、環境学習、環境教育など、減量化の推進に向けた様々な機会を活用し、広く市民全体の意識啓発に努める。

事業名	ごみ減量対策費(啓発関連)		所管課	清掃課	予算科目	4-2-2
事業概要・26年度の成果	年3回、ごみ行政に関する情報提供のため狛江市ごみ半減新聞発行、年1回狛江市ごみ・リサイクルカレンダーを発行しごみ出しの日程や分別の方法について周知している。集団回収参加団体数については1団体増加した。実施団体増加のため、引き続き町会等に対して働きかけを行う。生ごみ処理機等については予算額までの申請に達していないため、周知方法について検討する。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
集団回収事業参加数(団体)	114	115		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
生ごみ処理機等助成補助件数(台)	28	27	課題・課題を踏まえた今後の展開	ごみ半減新聞で、ごみ収集量・ごみ処理の流れ・ごみ処理経費などについて周知し、ごみ減量について周知・啓発することで、ごみ減量と環境負荷の軽減を図っていく。		
決算額(千円)	4,467	4,508				
予算事業決算額のうち、該当部分の額						

・補助内容のPR等を通じて、生ごみ堆肥化容器や生ごみ処理機等の普及に努め、ごみ排出量の抑制を図る。

事業名	ごみ減量対策費(生ごみ処理機堆肥化容器等購入費補助金)		所管課	清掃課	予算科目	4-2-2
事業概要・26年度の成果	電動式・非電動式生ごみ処理機購入に対する助成、コンポストへの生ごみ減量容器購入費の助成を行う。生ごみ処理機21件、コンポスト6基に対して助成を行った					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	代替による申請が多くなっている。また、購入申請件数が助成予定台数まで達していないため、助成に関する周知の強化を図り、新たに取り組む世帯の増加を図っていく。
生ごみ処理機等助成補助件数(件)	28	27		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開			
決算額(千円)	320	376				
予算事業決算額のうち、該当部分の額						

【脚注】

※ 4R: Refuse(断る:ごみになるものを買わない。), Reduce(減らす:ごみの量を減らすこと。), Reuse(再利用:使ったものを廃棄せずにそのまま使うこと。), Recycle(再生利用:使ったものを廃棄せずに再び資源として使うこと。)

施策2. 安定した資源回収体制の確立

施策小項目

- ・集団回収実施団体への財政的支援や情報提供に努め、資源物の集団回収の拡大を図ることで、収集・分別のコストを抑制する。
- ・集団回収事業の周知を通じて、新たな活動団体の確保に努めるとともに、現在活動している団体に対してフォローアップを行う。

事業名	ごみ減量対策費(資源物集団回収奨励)		所管課	清掃課	予算科目	4-2-2
事業概要・26年度の成果	集団回収実施団体へ、資源回収量に応じて奨励金を交付することにより、ごみの減量と資源の有効利用を推進し、加えて市民のごみに対する関心を高めることを目的とする。集団回収量・参加団体数ともに増加した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
資源物の資源化量のうち、集団回収分が占める割合(%)	23.2	24.0		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
集団回収事業参加数(団体)	114	115	課題・課題を踏まえた今後の展開	引き続き登録団体数増加のため、町会等に働きかけを行うとともに、現在登録している団体についても、分別の徹底による資源化の推進を働きかける。		
決算額(千円)	17,121	17,337				
予算事業決算額のうち、該当部分の額						

- ・リサイクルルートの確保に努め、安定した資源回収体制を築く。

事業名	不燃ごみ、資源物、粗大ごみ処理費			所管課	清掃課	予算科目	4-2-2
事業概要・26年度の成果	不燃ごみ・資源物・粗大ごみの収集運搬等に係る委託料等。継続して安定的に処理することができた。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
なし				C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	今後も分別回収・資源化を進めていく。			
決算額(千円)	236,743	242,381					
事業名	使用済小型家電リサイクル関係費			所管課	清掃課	予算科目	4-2-2・6
事業概要・26年度の成果	使用済小型家電の資源化のため、年3回のイベント回収、狛江市ビン・缶リサイクルセンター窓口での特定15品目の回収、粗大ごみからのピックアップ回収を行った。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
使用済小型家電資源化量（トン）	28	62		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
			課題・課題を踏まえた今後の展開	ピックアップ回収は、粗大ごみからの小型家電の回収となっている。今後は、不燃ごみとして処分されている家電類の回収方法を検討する。			
決算額(千円)	-	3,004					

事業名	リサイクルセンター事業費		所管課	清掃課	予算科目	4-2-4
事業概要・26年度の成果	粕江市ビン・缶リサイクルセンターでのビン・缶・ペットボトルの選別と資源化のための委託料等。安定的に稼動することができた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成6年の竣工時より、大きな設備更新をしておらず、定期的な修繕や点検により設備を延命化している。安定的な稼動のためにも、計画的な設備更新を実施する必要がある、将来に向けた財源の確保が課題である。		
決算額(千円)	36,617	37,273				

・リサイクル活動を活発にするため、リサイクルセンターを市民グループの学習・交流の場として活用し、自主活動を支援していく。

事業名	市民協働(古布再生等)		所管課	清掃課	予算科目	-
事業概要・26年度の成果	古布を再利用して活用する活動をリサイクルセンターで行い、講習会や展示会を実施することでリサイクル意識の高揚と、ビン・缶リサイクルセンターでの資源化事業をPRし、ごみ減量につなげる。古布再生展示会を6月10・11日に実施し、318人が来場した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
裂き織り講習会等実施回数(回)	29	32		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
古布再生講習会実施回数(回)	39	15		課題・課題を踏まえた今後の展開		
決算額(千円)	-	-	参加者の多くが成人であるため、今後の環境を担う子どもの参加を促進するような講習会を開催していく。 夏休みに、子ども向け裂き織りと廃食用油を使ったせっけん作り教室を開催した。			

施策3. 安定的なごみ処理体制の確立

施策小項目

引き続き、ごみ処理の広域支援及び最終処分場との連携を図り、円滑な広域処理を推進する。

事業名	ごみ処理の広域支援及び最終処分場との連携		所管課	清掃課	予算科目	4-2-2・3
事業概要・26年度の成果	粕江・稲城・府中・国立の4市で焼却等の中間処理を行い、多摩地域25市1町でエコセメント化等の最終処分を行っている。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
なし				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	多摩川衛生組合の焼却炉は平成10年から稼働しており、今後は修繕等の経費が増加すると予想される。平成28年度に焼却灰溶融設備の廃止が予定されており、最終処分場に搬入する焼却灰が増加する。最終処分場延命化のためにも、これまで以上にごみ減量を進め搬入量の減少を図っていく。		
決算額(千円)	562,075	554,733				

◆V-iii 環境保全

◇ 事業名の欄に★印のあるものは、重点プロジェクトに掲載した事業となります。

施策1. 環境保全意識の啓発

施策小項目

・市民や事業者と連携して開催するイベントを通じ、環境に対する理解を深め、環境保全意識の啓発を効果的に促進する。

事業名	環境保全実施計画推進		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	環境基本計画に定められた施策の基本方向に則り、環境保全実施計画を具体的に推進するため、環境保全実施計画推進委員会により、環境保全に関する具体的な取り組みを実践する。平成26年度は昨年に引き続き、こまエコまつりへの参加や市民環境ツアー、環境講演会を実施し、また、新規に泊江市エコパートナーシップ制度、環境表彰制度を開始し環境保全実施計画の推進に寄与した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
ワーキンググループ開催数(回)	34	57		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
エコパートナー数	0	363	課題・課題を踏まえた今後の展開	市民を中心に構成されるワーキンググループは、構成メンバーの人員不足、高齢化等の課題がある。そのため、エコパートナーの活用や主催事業で積極的に参加の呼びかけを行っていく。また、環境保全実施計画推進委員会についても市民委員の募集を進めていく。		
決算額(千円)	195	403				
事業名	環境学習(再掲)		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	6月初旬に環境月間における行事「こまエコまつり」を開催した。10月下旬には市民向け環境学習としてバスツアーを主催した。環境調査として「河川調査(野川・多摩川で年4回)」「NO2調査(約80ヶ所で年2回)」「酸性雨調査(9名の自宅で通年降雨時)」を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
環境学習他事業数(事業)	9	10		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
環境学習参加者数(人)	368	377	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数及び事業数は微増しているが、事業効果の向上に向けて、新たな参加者や事業をさらに増やしていく必要がある。		
決算額(千円)	361	361				
事業名	小学生環境サミット		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	各小学校で取り組んでいる環境学習活動の事例発表の場を設け、環境保全の具体的な行動のきっかけとすることにより次世代の地球環境を担う小学生に環境保全を考える契機とするものである。隔年開催である平成24年度の前回開催では122人であった参加者が164人と大幅に増加した。また、今回からサミットで発表した内容を環境月間こまエコまつりで展示することにより市民への活動及び事業周知に努めた。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
参加者数	0	164		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
決算額(千円)	0	150	課題・課題を踏まえた今後の展開	今回から環境月間こまエコまつりでの発表展示で市民への周知を開始したが、より多方面へ周知していくことが課題となる。市ホームページ等周知媒体からサミットの発表内容をより効率的に周知できるものを洗い出し、活用していく。		

・学校を通じた環境教育や環境関連団体と連携した体験学習の充実に努め、子どもたちの環境に関する理解を促進する。

事業名	水辺の楽校推進		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-5
事業概要・26年度の成果	多摩川の水辺の自然と生きものを守り、子どもたちの自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とし、自然観察会、環境保全活動などを実施している。市内外の広範囲から参加者を呼び込むため、案内板の設置を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
主催事業開催数(回)	53	48		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
参加者数(人)	4,015	4,064	課題・課題を踏まえた今後の展開	より広く多摩川の良さを知ってもらうため、事業の増加や新たな参加者の獲得のための周知強化を図る。		
決算額(千円)	309	460				

施策2. 低炭素社会の構築

施策小項目

・市内の街路灯について、順次消費電力の少ないLED街路灯に切り替えていく。切替えにあたっては防犯面など、照度を高めることによる副次的な効果を見据え、関係部署と連携しながら行っていく。

事業名	街路灯維持管理費(再掲)		所管課	道路交通課	予算科目	8-2-4
事業概要・26年度の成果	既設街路灯の維持管理及び路線毎にLED化を行った。要望箇所等については、設置基準に則して新規設置を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果が出ている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
LED設置器数(維持管理委託内での設置を含みます)	82	87		C あまり進捗していない・あまり成果が出ていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	防犯及び交通安全上の問題のある路線を中心に整備を推進する。		
決算額(千円)	39,457	41,792				

・市全体としての環境負荷の低減に向け、太陽光発電システムなど、一般家庭における自然エネルギー・省エネルギー設備の導入に向けた支援を行っていく。

事業名	地球温暖化対策住宅用設備設置助成		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	低炭素社会を実現するため、住宅用太陽エネルギー利用機器または家庭用燃料電池の導入設置する者に対し助成金を交付し、家庭からの二酸化炭素排出量の削減を図る。太陽光発電システム24件、太陽熱ソーラーシステム0件、太陽熱温水器1件に対し助成した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
太陽光発電システム助成件数(件)	27	24		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
強制循環式太陽熱ソーラーシステム助成件数(件)	0	0	課題・課題を踏まえた今後の展開	太陽熱の申請が1件と少なくて少ないので、平成27年度より開始した家庭用燃料電池を含めた助成対象件数を精査し、実際に則した助成をすることでさらなる省エネ機器導入設置の推進を図る。		
自然循環式太陽熱温水器助成件数(件)	0	1				
決算額(千円)	2,567	2,336				

・庁用車に電気自動車を導入することで、市民全体に環境意識の啓発を図るとともに、新たな視点からカーシェアリングや緊急時の非常用電源としてのバッテリーの活用を検討していく。

事業名	公害対策費(電気自動車)		所管課	環境政策課		予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	低炭素型まちづくりの推進のため、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車の普及を図る。環境政策課だけでなく、他課に電気自動車を貸し出し、電気自動車のPRをする。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
庁用電気自動車数	1	1		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
電気自動車走行距離 (km)	1,524	2,762	課題・課題を踏まえた今後の展開	狛江市内における、電気自動車の普及が課題である。庁舎駐車場の管理委託会社が電気自動車の普通充電器を整備をしたことから、本充電器の周知を含め電気自動車の普及啓発を検討する。			
決算額(千円)	510 予算事業決算額のうち、該当部分の額	510 予算事業決算額のうち、該当部分の額					

施策3. 日常生活の環境の維持

施策小項目

・日常生活に伴う騒音・悪臭等の都市生活型公害については、近隣への配慮といった観点からの意識啓発や情報提供に努める。

事業名	環境学習(再掲)		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	6月初旬に環境月間における行事「こまエコまつり」を開催した。10月下旬には市民向け環境学習としてバスツアーを主催した。環境調査として「河川調査(野川・多摩川で年4回)」「NO2調査(約80ヶ所で年2回)」「酸性雨調査(9名の自宅で通年降雨時)」を行った。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
環境学習他事業数(事業)	9	10		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
環境学習参加者数(人)	368	377	課題・課題を踏まえた今後の展開	参加者数及び事業数は微増しているが、事業効果の向上に向けて、新たな参加者や事業をさらに増やしていく必要がある。		
決算額(千円)	361	361				

・典型7公害については、引き続き公害発生源の監視・指導を行うとともに、適切な環境測定を行っていく。

事業名	公害対策費(測定・分析等)		所管課	環境政策課		予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	環境監視・測定等を継続的に実施することで、典型7公害の状況を把握し、防止対策を図った。平成26年度10月から、狛江市建築物の解体工事における計画の事前周知と環境配慮に関する条例を施行ことで、公害苦情対策として重要な事業者と近隣とのコミュニケーションを促している。						
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A	進捗している・期待通りの成果がでている	B	現状維持・ある程度の成果がでている
幹線道路における騒音レベル(狛江通り昼間)	66	66		C	あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D	まったく進捗していない・まったく成果がでていない
幹線道路における騒音レベル(狛江通り夜間)	61	62		各指標の分析及び解決には、各個人、事業者の対応など市内全体で取り組むこと必要である。そのため、有効及び効率的に公害に関する情報を提供していく。			
決算額(千円)	1,752	1,722					
予算事業決算額のうち、該当部分の額							

施策4. 地域美化の推進

施策小項目

・啓発などを通じたモラルの向上を図り、違反屋外広告物やたばこ等のポイ捨て防止を推進するとともに、地域環境の美化に向けた条例の制定に向けた検討を進めていく。

事業名	環境美化推進事業		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-3
事業概要・26年度の成果	狛江市路上喫煙禁止条例策定委員会を2回開催、パブリックコメント及び市民説明会を経て、第2回定例会にて「狛江市路上喫煙等の制限に関する条例」が議決された。平成27年度からの条例施行に向け、市民まつりにおける喫煙マナーアップキャンペーン、重点地区の指定、啓発グッズ配布、路面シート貼付、ポスター掲示、看板設置等、周知啓発に取り組んだ。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
				C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
			課題・課題を踏まえた今後の展開	平成27年4月1日からの条例施行後の歩きタバコ・タバコのポイ捨ての状況を鑑み、さらなる周知啓発や重点地区の見直し等を検討する。		
決算額(千円)	320	2,733				

施策5. 放射線量の測定・公表

施策小項目

・毎月の定点測定による空間放射線量の監視を継続するとともに、市内の道路等の放射線量の測定を実施し、市民への速やかな情報の提供に努めていく。

事業名	★放射線対策費		所管課	環境政策課	予算科目	4-1-4
事業概要・26年度の成果	市内全域道路の走行サーベイによる空間放射線量測定を行い、ホームページや地図で公表した。また平成26年度から、子どもが日中の多くの時間を過ごす小・中学校、認可保育所、学童保育所（児童館を含む）、私立幼稚園などの公共施設等30施設において、四半期に一度定点における空間放射線量測定を実施し、ホームページで順次公表した。このうち市有施設においては年に1回公開測定日を設定し、市が行う測定を市民に対し公開した。					
指標(単位)	25年度	26年度	進捗・成果	A 進捗している・期待通りの成果がでている	B 現状維持・ある程度の成果がでている	
モニタリング地点の空間放射線量の最高値(μSv/h)	0.08	0.08		C あまり進捗していない・あまり成果がでていない	D まったく進捗していない・まったく成果がでていない	
市全域道路の空間放射線量の最高値(μSv/h)	0.10	0.10	課題・課題を踏まえた今後の展開	市内全域道路の測定事業は平成24年度から26年度まで実施した結果、除染が必要となる値が一度も出ていないことや、大きな値の変動が見られなかったことから、平成26年度で終了とする。市内全域道路の測定事業と同様に、現在行っている測定事業に係る回数等の展開を市民の安心安全や他市での動向を勘案し検討する必要がある。		
決算額(千円)	1,000	897				

指標の検証

7. 指標の検証

後期基本計画に定める64の指標のうち、前年度の値が目指す方向に沿っていない指標及び計画当初値より値が下回っている指標について、その原因の検証を踏まえた今後の展開を検討しました。

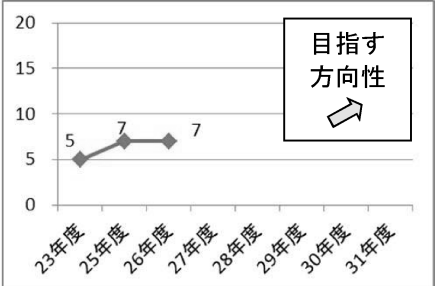
▽ 重点プロジェクト③ 子ども・子育て支援プロジェクト															
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課										
保育サービスの提供率(%)	94.3	90.0	100 (H32.4.1)	・新たな保育施設の新設等による大幅な受け入れ枠の拡充	児童青少年課										
【説明】 保育サービスのニーズ量に対し、実際に保育サービスが提供できている割合															
指標値の推移		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針													
<table><caption>指標値の推移 (保育サービスの提供率)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>23年度</td><td>92.4</td></tr><tr><td>25年度</td><td>94.3</td></tr><tr><td>26年度</td><td>90.0</td></tr><tr><td>目標</td><td>100</td></tr></tbody></table>		年度	値	23年度	92.4	25年度	94.3	26年度	90.0	目標	100	指標が下落した要因は、就学前児童数の増加、また就学前児童における保育を希望する保育需要割合が増加したことである。平成26年12月と平成27年4月に認可保育園2所を開設する等、施設整備を進め130名を超える定員増を図ったが、保育需要の増加に追い付かない状況にある。このような状況を踏まえて、平成27年5月に粕江市待機児対策推進本部を設置し、今後の保育需要に対する保育施設整備計画等を検討している。			
年度	値														
23年度	92.4														
25年度	94.3														
26年度	90.0														
目標	100														

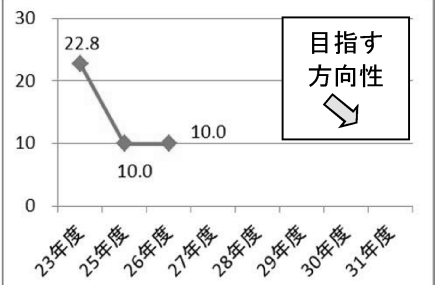
▽ 重点プロジェクト④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト															
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課										
市内の計画相談支援サービス実施(サービス利用計画作成)事業所数(事業所)	3	3	5	・相談支援事業所数の増 ・既存の事業所のサービス利用等計画の作成受入数の増及び相談支援の内容の充実	高齢障がい課・福祉相談課										
【説明】 障がい者がサービス支援を受けるために必要な計画相談支援を実施する事業所の数															
指標値の推移		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針													
<table><caption>指標値の推移 (計画相談支援サービス実施事業所数)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>23年度</td><td>3</td></tr><tr><td>25年度</td><td>3</td></tr><tr><td>26年度</td><td>3</td></tr><tr><td>目標</td><td>5</td></tr></tbody></table>		年度	値	23年度	3	25年度	3	26年度	3	目標	5	計画相談支援は総合支援法・児童福祉法に基づく障がい福祉サービスとして実施されているところであるが、国が定める報酬単価の低さ等から全国的にも相談支援事業所数は伸び悩んでいる。利用者のサービス利用に影響が出ないよう、引き続きセルフプランの作成支援や支給決定の平準化を行っていくとともに、国・都への要望や市独自の施策の検討等を行う。			
年度	値														
23年度	3														
25年度	3														
26年度	3														
目標	5														

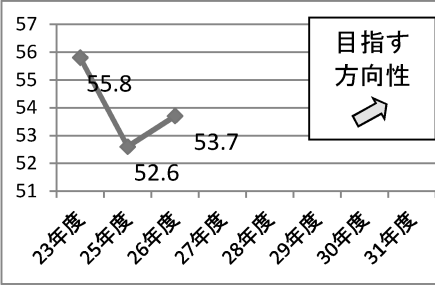
▽ 重点プロジェクト④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
施設サービス・地域密着型サービス(グループホーム・小規模多機能)等の整備施設数 【説明】 今後市が策定を予定している介護保険事業計画に基づく施設の整備状況 ※狛江市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づく施設数	0	0	今後の介護保険事業計画に基づく施設数(1)※	1	地域福祉課
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 平成26年度は、都の高齢者施設整備に係る補助金を活用し、地域密着型サービスである認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所の公募を行い、事業者を選定して、施設整備に着工した。高齢者福祉保健計画・第6期介護保険事業計画に基づき整備を進め、今年度の開設を予定している。			

▽ 重点プロジェクト④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
災害時要援護者支援組織設立箇所数(箇所)(累計) 【説明】 災害時要援護者対策として避難所運営や要援護者支援組織を設立した町会等の箇所数	2	2	20	平成27年度上半期において、長期的間懸案事項であった避難行動要支援者名簿の電子化が完了することから、本年度より実際に要支援者名簿の提供が可能となり、協定締結組織の増加が見込まれる。	地域福祉課
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 平成26年度において避難行動要支援者名簿の電子化整備に取り組んでいたために協定締結には至らなかったが、今年度に名簿の電子化が完了したため、協定締結組織の増加が見込まれる。			

▽ 重点プロジェクト⑤ にぎわいのまち「狛江」プロジェクト					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
新規開発融資制度あっ旋件数(件)(累計) 【説明】 利子負担のない新規開発融資制度を利用したあっ旋件数	1	1	21	1	地域活性化課
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 創業資金及び研究開発資金の申込件数の実績がなかったのは、周知不足が要因の1つであると考えられる。今後は制度のさらなる周知に取り組むとともに、情報収集や情報交換を商工会とも行っていく。			

【個別施策】Ⅰ－ⅰ まちづくり					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
まちづくり協議会等の設置件数 (件)	7	7	↗	・現在進められている協議会に対する支援 ・必要な周知による、まちづくり協議会、地区まちづくり準備会、テーマ型まちづくり協議会等各1件の設立	まちづくり推進課
【説明】まちづくり条例に規定するまちづくり協議会・地区まちづくり準備会・テーマ型まちづくり協議会の累計設置件数					
指標値の推移 		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 制度の周知不足が主な要因であると考えられるため、さらなる制度の周知に取り組むとともに、勉強会等を開催し、協議会が設置するように働きかけていく。			

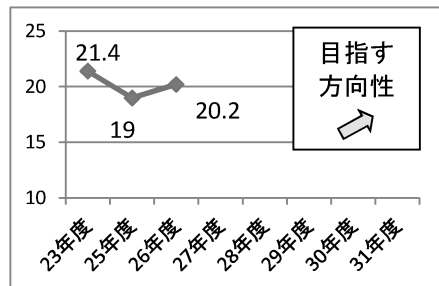
【個別施策】Ⅱ－ⅰ 市民交流					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
町会・自治会未整備地区の面積割合(%)	10.0	10.0	↘	・広報・掲示板等による設立支援の周知 ・関係各課との連携のもと、設立の兆しについての情報収集 ・不動産業界団体との協定に基づく、不動産業者における町会・自治会への加入促進及び新規町会・自治会の立ち上げ支援案内のチラシ配布	地域活性化課
【説明】市の総面積のうち、町会・自治会が整備されていない地区の面積の割合					
指標値の推移 		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 平成26年度は1つの町会が設立されたが、すでに町会がある地域でマンションの町会が設立されたため、未整備地区の面積減少には至らなかった。今後も引き続き新規町会・自治会の立ち上げ支援案内のチラシを配布する等取組みを進める。			

【個別施策】Ⅱ－ⅱ 市民文化					
指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
昨年1年間に文化・芸術活動に触れる機会のあった市民の割合(%)	55.8	53.7	↗	・文化・芸術拠点としてのエコルマホールの自主事業の充実、地域文化のさらなる醸成・成熟に向けた取組み ・市民活動・生活情報誌「わっこ」及び生涯学習情報サイト「こまなび電子版」を通じた生涯学習活動への参加促進	地域活性化課
【説明】昨年1年間に、コンサートホールや美術館・ギャラリーで芸術を鑑賞したり、自ら文化・芸術活動に取り組むなど、文化・芸術活動に触れる機会があった市民の割合(※自宅や通勤通学途中で音楽を聴くことは除く)					
指標値の推移 		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 文化・芸術活動への参加の割合は、景気動向とともに微増となった。平成26年度は生涯学習サイト「こまなび電子版」を開設し、文化・芸術活動の情報発信や活動に参加しやすい環境を構築した。今後もサイトを活用し、生涯学習活動の促進を図っていく。			

【個別施策】Ⅱ－Ⅲ 地域振興

指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
日頃から狛江産の野菜を食べている市民の割合(%)	21.4	20.2	↗	・東京都及びＪＡとの連携による、狛江ブランド野菜の定着を図るため、野菜用ビニール袋作成やイベント参加に対して支援	地域活性化課
【説明】狛江産の野菜を週に１回以上食べている市民の割合					

指標値の推移



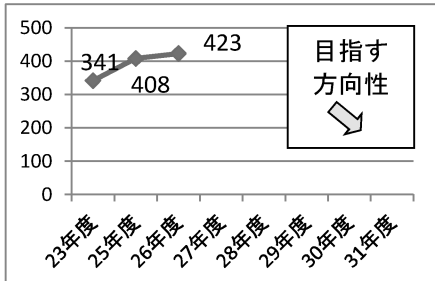
考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

平成25年度から指標が上昇した要因としては、狛江ブランド野菜の誕生及び、市内農家やＪＡ等が連携して独自のロゴマークを作成し、ポスターやオリジナルシール、結束テープ等を作成して、周知活動を行っている他、様々なイベントへの参加による、ブランド野菜の普及活動が考えられる。今後についても、狛江ブランド野菜が更に普及していくようにＪＡ、市内農家、東京都等とも連携し、定着を図っていく。

【個別施策】Ⅱ－Ⅲ 地域振興

指標(単位)	H26.4.1 時点の値	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
消費生活相談の相談件数(件)	408	423	↘	・高齢者を対象とした消費生活問題啓発冊子の配布	地域活性化課
【説明】市の消費生活相談コーナーの相談件数					

指標値の推移



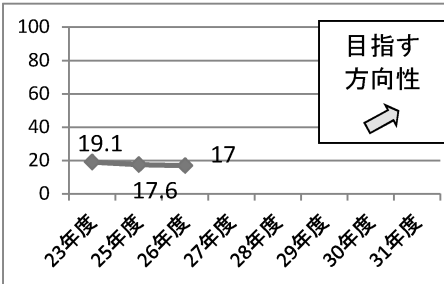
考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

消費生活相談件数の増加は、単に消費者被害の増加によるもののみならず、潜在化していた消費生活相談案件が表面化したことや、消費生活相談コーナーの認知度が高まったこと等も要因として考えられる。そのため、引き続き消費生活相談コーナーの周知を図ると同時に、消費者被害防止のための啓発を行っていく。

【個別施策】Ⅱ－Ⅳ 生涯学習

指標(単位)	H26.4.1 時点の値	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
図書館の利用率(%)	17.6	17.0	↗	図書館情報システム機器を更新し、利用者へのサービス充実に向けての取組み	図書館
【説明】図書館で貸出を受けた個人利用者の数が市の人口に占める割合					

指標値の推移



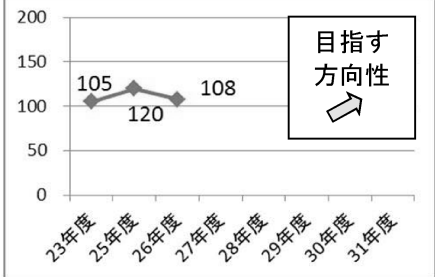
考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

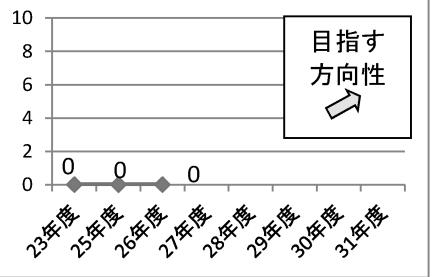
指標値が低下した要因としては、人口の増加と比較して、新規登録者数が微増であったことが考えられる。それに併せて、耐震改修工事に伴う岩戸地域センターの休館（平成25年12月1日から平成27年3月31日）も影響しているものと思われる。今後、さらなる図書館サービスの向上を図り、利用率の向上を目指す。

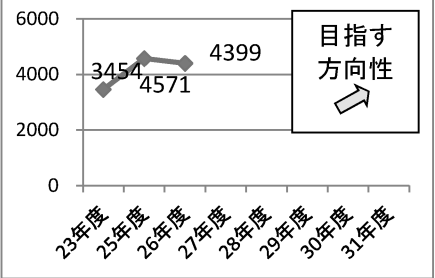
【個別施策】Ⅱ－ⅳ 生涯学習					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
スポーツ大会参加者数(人)	5,196	5,000	↗	・多くの人に魅力がある種目の検討	社会教育課
【説明】市が主催するスポーツ大会の参加者数					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 平成23年度と比較すると467名の減であるが種目により多少の増減があるものの、大きな要因は見当たらない。平成27年度はレクリエーション吹き矢やターゲットバードゴルフなど、誰でも参加しやすいニュースポーツ種目を実施し、参加者数の増加を目指す。			

▽ Ⅲ－ⅱ 青少年					
指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
児童館・児童センターの年間利用者数(人)	31,728	31,694	↗	・イベント内容の見直しや広報等での周知	児童青少年課
【説明】児童館・児童センターの年間利用者数(小学生・中学生・高校生)					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 岩戸児童センターでは、事業の見直しを行い、主にイベント内容の改善により、好評を得ることができた。そのため、前年度や23年度と比較しても利用者数の増加が見られた。今後は継続して来館者数を増やすための取組みとして、引き続き事業の見直しと改善を推進していく。和泉児童館については前年同様に来館者数の減少が続いている。現状を改善するため、岩戸児童センターをロールモデルとし、事業の見直しや新規来館者を獲得するための取組みを推進していく。また27年度中に建替えを実施し、平成28年度から装い新たに事業を展開するため、市域への周知に尽力し、利用者増に向けた取組みを推進する。			

【個別施策】Ⅲ－ⅲ 学校教育					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
学校安全ボランティア登録者数(人)	112	105	↗	120	学校教育課
【説明】学校安全ボランティアの登録者数					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 登録方法を変更した昨年度に続き、ボランティア登録者数は減ったが、特段の要因は見当たらず、また、今年度初めに学校を通じて在学生の保護者に登録をお願いした結果、直近の登録者は139人となっていることから、実稼働人数の精査が行われた結果と捉えている。今後もタイミングや対象などを見計らって、保護者に効果的に働きかけることができるような方法を探る。			

【個別施策】Ⅳ－ⅰ 地域福祉					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
笑顔サービス協会員数(人)	120	108	↗	・引き続き、チラシ・ポスターの掲示、新聞折込み等の広報を積極的に行い、協会員数の増強を図るとともに、協会員に対する研修を実施し、やりがい・安心感を持って活動できるようコーディネートを行うことで定着化を図る。	地域福祉課
【説明】社会福祉協議会で実施する「笑顔サービス」の協会員数					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 笑顔サービス協会員の減少については、就職、介護、自身の体調管理を理由とした退会が多く、加えてアルバイトやパートに比べ、時給が安いことも減少の理由となっている。継続して広報やホームページ等を活用することにより、協会員の増強を図るとともに協会員が動きやすいと感じてもらえるよう利用会員とのコーディネートを行うことで、協会員の定着を図る。			

【個別施策】Ⅳ－ⅰ 地域福祉					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)	0	0	↗	・既存補助制度を見直し、新たな少額補助制度を含めた新要綱の制定、補助実績件数の増加に努める。	地域福祉課
【説明】民間施設のユニバーサルデザイン推進に向けた補助の件数					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 申請件数が増加しない要因としては、同様の制度を持つ他自治体の制度と比較すると、当市の補助率が突出して低率であることが挙げられる。対策としては、補助率の引き上げに加え、簡易なバリアフリー化にも少額の補助を行う少額補助制度を導入し、より利用しやすい制度に改正するための基盤整備を行っている。整備後は新制度の周知に努め、申請件数の増加を図り、さらなるユニバーサルデザインを推進する。			

【個別施策】Ⅳ－ⅱ 高齢者福祉					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
高齢者に対する総合相談事業相談件数(件)	4,571	4,399	↗	・市や包括、関係機関との役割分担の明確化及び更なる協働体制の構築	高齢障がい課
【説明】各地域包括支援センターで実施している高齢者に対する総合相談事業の年間相談件数					
指標値の推移 		考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針 相談件数は微減したが、地域包括支援センターの実施する総合相談事業の成果としては、前年度と同程度である。今後は、目指す方向性に沿うよう、センターの周知強化を図る。			

【個別施策】Ⅳ－ⅱ 高齢者福祉					
指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れあう機会のある高齢者の割合(%)	51.9	50.0	↗	・高齢者の交流・外出促進に資する既存の取組みの大きなイベントを活用する等の効果的な周知	高齢障がい課
【説明】日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れあう機会がある高齢者の割合					
指標値の推移		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針			
		当初値と比較して値が下回るものの、昨年度からは値が向上しており、引き続き、高齢者の外出・交流を促進するため、高齢者福祉大会、うんどう教室や会食会等の介護予防教室、老人クラブ等への参加を促す。			

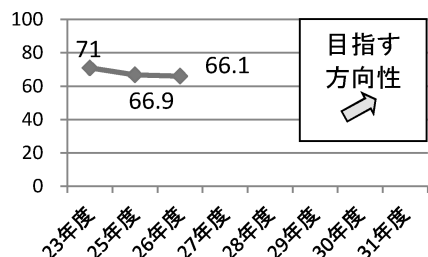
【個別施策】Ⅳ－ⅱ 高齢者福祉					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
特定高齢者の介護予防事業参加率(%)	17	16	↗	・基本チェックリストの手法変更により、実態を把握する高齢者数の向上を図るとともに、介護予防の必要性が高いと判定された高齢者に対して、積極的かつ適切に介護予防事業の案内	高齢障がい課
【説明】特定高齢者のうち、介護予防事業に参加した人の割合					
指標値の推移		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針			
		指標値については前年度からのほぼ横ばいであると認識している。平成25年度と同様、対象者に対し、地域包括支援センターが精力的に案内を行ったものの、すべての事業の定員を埋めることはできなかった。平成27年度は、対象者の把握方法を郵送方式に変えたことにより、回収率とともに対象者の数も大幅に上昇したため、各教室の参加者数は増えると想定される。 なお、新しい総合事業への移行に伴い、一次予防事業と二次予防事業の区分けが取り払われることから、効果分析等を通じた介護予防事業の再構築を図る必要がある。			

【個別施策】Ⅳ－ⅲ 障がい者福祉					
指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
新たに就労した障がい者の人数(人)	31	26	↗	・職場見学や実習の機会の提供、保護者に向けた説明会の実施により、就労に関心を持つ障がい者の増加や保護者の就労に対する価値観を変え、職場への定着支援の充実を図る。	高齢障がい課・福祉相談課
【説明】サポート（就労支援センター）の新規就労者数とそれ以外に福祉施設から一般就労した人数の合計					
指標値の推移		考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針			
		新たに就労した障がい者の人数は、前年度と比べやや減少したが、全体的には増加傾向にある。現在、市内に就労移行支援事業所がなく、創設に向けた検討を行っているところである。			

【個別施策】Ⅳ－ⅳ 生活福祉

指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
生活保護受給世帯のうち就労者の いる世帯の割合(65歳以上の方の みの世帯を除く)(%)	66.9	66.1	↗	・傷病又は障害を抱えている受給者で、 少しでも就労意欲がある者に対しての医 療機関の確認を取りながらの就労支援の 実施	福祉相 談課
【説明】生活保護を受給している世帯のうち、就労している人のいる世帯の割合(※65歳以上の方のみの世帯を除く)					

指標値の推移



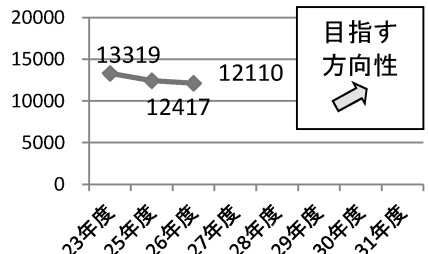
考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

稼働能力を的確に見極め、就労支援相談員やハローワーク支援に繋げていく。特に、今後はハローワークとの関係を強化していく。

【個別施策】Ⅳ－ⅳ 保健・医療

指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
健康増進事業の参加者数(人)	12,417	12,110	↗	・事業実施日の改善、啓発活動の充実	健康推 進課
【説明】健康増進事業の延べ参加者数					

指標値の推移



考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

若い年代の参加を促すために土曜日のセミナーを実施したが、休館日との関係で開催日数の減少となったことが指標値低下の一番の要因である。しかしフリーの参加者数も減少してきている。生活習慣病予防という事業目的を果たすため土曜日のセミナー実施を継続するとともに、あいとびあセンターから離れた地区での「出張セミナー」の開催などにより、本事業の周知を図っていく。

【個別施策】Ⅳ－ⅳ 保健・医療

指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
国民健康保険被保険者1人当たり 年間医療費(円)	296,751	312,309	→	・特定健診受診率向上のための電話勧 奨、ジェネリック医薬品差額通知、重 複・頻回受診者に対する訪問指導の実施 ・柔道整復師施術の療養費の適正化に向 けた啓発活動の推進	保険年 金課
【説明】国民健康保険被保険者一人当たりの年間医療費					

指標値の推移



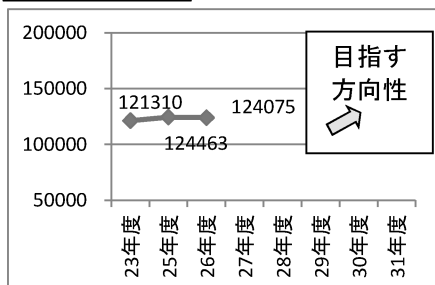
考えられる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

指標値が上昇した原因としては、診療報酬の改定(0.1%増)や被保険者の高齢化等が考えられる。この要因への対策として、今年この目標を掲げたところであるが、現状でも医療費は増加傾向となっており、今後についても着実に事業を実施していくことで、増加傾向に歯止めをかけていきたいと考えている。また、取り組みの拡充として、ジェネリック医薬品利用差額通知を年に4回から6回に増加する。

【個別施策】V-i 自然環境

指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
樹林地・都市公園・児童遊園の合計面積(m ²)	124,463	124,075	↗	- 取得候補地のリスト作成・整理 - 国・都の補助金等の調査・研究	環境政策課
【説明】市が保有する樹林地・都市公園・児童遊園の面積の合計					

指標値の推移



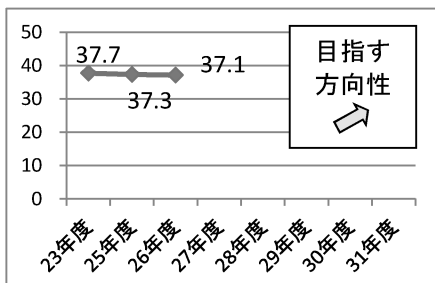
考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

指標値が低下した要因としては、土地返還により児童遊園を閉園したためである。まちづくり全体の取組みの中で、樹林地・都市公園・児童遊園を増やすことを検討する。

【個別施策】V-ii 循環型社会

指標(単位)	H26. 4. 1 時点の値	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)	担当課
ごみの資源化率(%)	37.3	37.1	↗	- 分別方法についての啓発活動による資源物や発火物等の適正排出の促進 - 使用済小型家電製品資源化の強化	清掃課
【説明】ごみの総排出量のうち、総資源化量が占める割合					

指標値の推移



考えらえる要因・今年度の目標等を踏まえた今後の方針

指標値が低下した要因としては、資源回収量全体が減少している。主な要因はビンと古紙の回収量が減少しているためである。ビンについては、より軽量のペットボトル・缶等に飲料容器が移行していることにより排出量が減少している。古紙については、新聞を購読しない家庭が増加したことなどが影響していると考えられる。分別排出指導の強化や小学生などに環境問題が自分自身の問題であることを学習してもらい、資源化率の向上を目指す。

【参考】後期基本計画に掲げる指標・現状値一覧

I) 重点プロジェクト（優先的に取り組む施策）に設定された指標

重点プロジェクト①		まちづくり推進プロジェクト			
No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	目標値 (31年度)	27年度の目標
1	公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	-	23.53	100	42.59※

※ 公共施設整備計画（平成27年度ローリング版）に基づき進捗率を算出

重点プロジェクト②		安心で安全なまちづくりプロジェクト			
No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	目標値 (31年度)	27年度の目標
1	避難所運営協議会設置数(件)(累計)	2	11	13	12
2	市内刑法犯認知件数のうち、窃盗犯・粗暴犯・その他の合計件数(件)	740 (H22)	591 (H26)	640 (H31)	(継続) ・こまめ安心安全情報メール、地域による防犯パトロール等の実施 ・防犯パンフレット等による意識啓発事業の実施 ・特殊詐欺・防止に向けた戸別注意喚起の実施 (新規) ・防災行政無線や青パトを通じた特殊詐欺の注意喚起
3	修繕を行った道路の延長(m)	-	3,394 (累計)	18,000 (累計)	4,804 (累計)
4	昨年1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合(%)	18.7	20.3	30.0	・東京消防庁との合同による大規模な水防訓練の実施 ・市内全域での避難所運営訓練の実施

重点プロジェクト③		子ども・子育て支援プロジェクト			
No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	目標値 (31年度)	27年度の目標
1	保育サービスの提供率(%)	92.4 (H24.4.1)	90.0	100 (H32.4.1)	・新たな保育施設の新設等による大幅な受け入れ枠の拡充
2	子育てひろば年間利用者数(人)	25,016	27,750	26,300	28,500
3	全世帯に対する子育て世帯の割合(%)	14.7 (H24.3.1)	15.1	14.7 (H32.3.1)	14.7
4	授業でICT機器を活用している教員の割合(%)	59.2	91.9	100	95.0

重点プロジェクト④		いたわりのあるまちづくりプロジェクト			
No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	目標値 (31年度)	27年度の目標
1	市内の計画相談支援サービス 実施(サービス利用計画作成) 事業所数(事業所)	3	3	5	- 相談支援事業所数の増 - 既存の事業所のサービス 利用等計画の作成受入数の 増及び相談支援の内容の充 実
2	経済的自立により生活保護を 廃止した世帯の数(世帯)	25	27	50	被保護者就労支援事業の 強化と就労自立給付金の有 効活用
3	施設サービス・地域密着型 サービス(グループホーム・小 規模多機能)等の整備施設数	-	0	今後の介 護保険事 業計画に 基づく施 設数(1)※	1
4	災害時要援護者支援組織設立 箇所数(箇所)(累計)	1	2	20	平成27年度上半期におい て、長期の間懸案事項で あった避難行動要支援者名 簿の電子化が完了すること から、本年度より実際に要 支援者名簿の提供が可能と なり、協定締結組織の増加 が見込まれる。

※ 狛江市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づく施設数

重点プロジェクト⑤		にぎわいのまち「狛江」プロジェクト			
No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	目標値 (31年度)	27年度の目標
1	新規開発融資制度あっ旋件数 (件)(累計)	-	1	21	1
2	狛江ブランド野菜生産農家数 (軒)(累計)	-	18	3	20
3	週に1回以上の頻度でスポー ツ活動をしている市民の割合 (%)	38.5	39.1	50.0	だれでも気軽に取り組む ことができるチャレンジ デーの実施

Ⅱ) その他個別施策に設定された指標

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)
Ⅰ－ⅰ まちづくり					
1	まちづくり協議会等の設置件数(件)	5	7	↗	・現在進められている協議会に対する支援 ・必要な周知による、まちづくり協議会、地区まちづくり準備会、テーマ型まちづくり協議会等各1件の設立
2	耐震性能が確保された住宅に住んでいる市民の割合(%)	59.0	62.6	↗	・耐震化に向けた周知 ・木造住宅の耐震診断・耐震改修、緊急輸送道路沿道対象建築物の補強設計・改修工事の促進に向けた以下の助成制度の申請数の確保 【木造住宅耐震診断】30戸 【非木造住宅耐震診断】2棟 【木造住宅耐震改修】15戸 【緊急輸送道路沿道建築物補強設計】1棟 【同耐震改修工事】2棟
Ⅰ－ⅱ 交通					
3	放置自転車の年間撤去台数(台)	2,408	1,131	↘	・歩行者、車両の安全な通行や災害時の避難経路の確保 ・駅周辺の放置自転車の撤去、見回りを中心とした事業の展開 ・自転車駐輪場の増設(1か所)
4	市内交通事故発生件数(件)	211	138 (H26.12末)	↘	・LED街路灯の増設 ・交通安全施設の設置及び修繕 ・関係団体と連携した交通安全教室等の開催
Ⅱ－ⅰ 市民交流					
5	町会・自治会未整備地区の面積割合(%)	22.8	10.0	↘	・広報・掲示板等による設立支援の周知 ・関係各課との連携のもと、設立の兆しについての情報収集 ・不動産業界団体との協定に基づく、不動産業者における町会・自治会への加入促進及び新規町会・自治会の立ち上げ支援案内のチラシ配布
Ⅱ－ⅱ 市民文化					
6	昨年1年間に文化・芸術活動に触れる機会のあった市民の割合(%)	55.8	53.7	↗	・文化・芸術拠点としてのエコルマホールの自主事業の充実、地域文化のさらなる醸成・成熟に向けた取組み ・市民活動・生活情報誌「わっこ」及び生涯学習情報サイト「こまなび電子版」を通じた生涯学習活動への参加促進
7	エコルマホール稼働率(%)	58.1	60.0	↗	【平成30年度目標値 66.2%】 ・自主事業と貸館事業のバランスを考慮した上での稼働率の向上及び指定管理者事業への広報等の支援
Ⅱ－ⅲ 地域振興					
8	日頃から狛江産の野菜を食べている市民の割合(%)	21.4	20.2	↗	・東京都及びJAとの連携による、狛江ブランド野菜の定着を図るため、野菜用ビニール袋作成やイベント参加に対して支援
9	消費生活相談の相談件数(件)	341	423	↘	・高齢者を対象とした消費生活問題啓発冊子の配布

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)
Ⅱ－ⅳ 生涯学習					
10	図書館の利用率(%)	19.1	17.0	↗	・図書館情報システム機器関係を更新し、利用者へのサービス充実に向けての取組み
11	スポーツ大会参加者数(人)	5,467	5,000	↗	・多くの人に魅力がある種目の検討
12	市の歴史や伝統に関心を持ったり、見聞きたことのある市民の割合(%)	57.6	63.6	↗	・子ども向けガイドブック(小学校6年生対象)を活用した歴史の授業 ・小学校3年生、中学生を対象としたガイドブックの作成 ・文化財ウィークにおける成人を対象とした歴史講座・文化財めぐり等普及事業、民家園を中心とした子ども向けの体験事業等の実施や文化財ブックレット等の書籍刊行 ・郷土カルタづくりを通じた地域の歴史・文化財等の普及 ・指定文化財の案内板設置
Ⅱ－ⅴ 防災・防犯					
13	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)	60.6	63.2	↗	・講演会等を通じた過去の災害の教訓継承 ・防災意識の啓発
14	耐震化していない公共施設数(施設)	12	2	↘	2
15	空き巣・ひったくり・振り込め詐欺などの犯罪に対して何らかの対策をとったり心がけていることがある市民の割合(%)	59.6	59.8	↗	・こまめ安心安全情報メール、地域による防犯パトロール等の実施 ・防犯パンフレット等による意識啓発事業の実施
Ⅲ－ⅴ 子育て					
16	認可保育所受入定員数(人)	920	1,168	↗	・宮前保育園の民営化等に伴う受入定員の拡充
17	子ども家庭支援センターでの相談受理件数(件)	94	101	↗	・新規相談へと繋げるための子育てひろば等での保護者への声かけや関係機関への相談窓口周知
18	ファミリー・サポート・センター事業会員数(人)	1,042	1,295	↗	・広報等での周知、窓口による案内の実施
Ⅲ－ⅵ 青少年					
19	児童館・児童センターの年間利用者数(人)	31,728	31,694	↗	・イベント内容の見直しや広報等での周知
20	学童クラブ入所・入会者数(人)	448	463	↗	・定員枠の拡充についての検討

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)
Ⅲ－Ⅲ 学校教育					
21	特別支援教室を設置している学校数(校)	0	3	↗	・一小・五小・六小に設置した特別支援教室での巡回指導における個別指導の充実 ・小集団による指導の拡充 ・全小学校の教室整備及び特別支援教室の教材・教具等の充実
22	学校安全ボランティア登録者数(人)	170	105	↗	120
23	非構造部材耐震化学校数(校)	0	校舎0 屋体10	↗	現状維持
24	空調設備を設置している教室数(室)	265	279	↗	283
Ⅳ－ⅰ 地域福祉					
25	笑顔サービス協力会員数(人)	105	108	↗	・引き続き、チラシ・ポスターの掲示、新聞折込み等の広報を積極的に行い、協力会員数の増強を図るとともに、協力会員に対して研修を実施し、やりがい・安心感を持って活動できるようコーディネートを行うことで定着化を図る。
26	民間施設ユニバーサルデザイン推進事業補助件数(件)	0	0	↗	・既存補助制度を見直し、新たな少額補助制度を含めた新要綱の制定、補助実績件数の増加に努める。
Ⅳ－ⅱ 高齢者福祉					
27	高齢者に対する総合相談事業相談件数(件)	3,454	4,399	↗	・市や包括、関係機関との役割分担の明確化及び更なる協働体制の構築
28	日頃から地域の行事や活動に参加したり、他の人と触れあう機会のある高齢者の割合(%)	51.9	50.0	↗	・高齢者の交流・外出促進に資する既存の取組みの大きなイベントを活用する等の効果的な周知
29	特定高齢者の介護予防事業参加率(%)	10	16	↗	・基本チェックリストの手法変更により、実態を把握する高齢者数の向上を図るとともに、介護予防の必要性が高いと判定された高齢者に対して、積極的かつ適切に介護予防事業の案内
Ⅳ－ⅲ 障がい者福祉					
30	障がい者の支援に関する相談件数(件)	4,454	6,134	↗	・ワンストップの相談支援体制を実施しつつ、極め細やかな相談体制の構築と関係機関との連携
31	外出支援サービス(移動支援)利用時間数(時間)	6,971	12,020	↗	13,300時間/年。 ・ヘルパーの資格要件緩和、養成研修の実施、多様な利用形態に対応した制度の検討
32	新たに就労した障がい者の人数(人)	8	26	↗	・職場見学や実習の機会の提供、保護者に向けた説明会の実施により、就労に関心を持つ障がい者の増加や保護者の就労に対する価値観を変え、職場への定着支援の充実を図る。

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)
Ⅳ－ⅳ 生活福祉					
33	生活保護受給世帯のうち就労者のいる世帯の割合(65歳以上の方のみの世帯を除く)(%)	71.0	66.1	↗	・傷病又は障害を抱えている受給者で、少しでも就労意欲がある者に対しての医療機関の確認を取りながらの就労支援の実施
34	生活保護受給世帯の小・中学生のうち、学力向上や進学に関する支援を受けている人の割合(%)	0	42.3	↗	・進学や学習意欲が乏しい世帯に関して、親を含めた説得と子どもの学習意欲の喚起
Ⅳ－ⅴ 保健・医療					
35	食育関連事業の参加者数(人)	144	310	↗	・継続事業の充実
36	国民健康保険特定健康診査受診率(%)	42.6	47.3 (速報値)	↗	52.0%(狛江市特定健康診査等実施計画)
37	健康増進事業の参加者数(人)	13,319	12,110	↗	・事業実施日の改善、啓発活動の充実
38	かかりつけ医がいる市民の割合(%)	70.8	74.8	↗	・啓発活動の継続
39	国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費(円)	280,530	312,309 (暫定値)	→	・特定健診受診率向上のための電話勧奨、ジェネリック医薬品差額通知、重複・頻回受診者に対する訪問指導の実施 ・柔道整復師施術の療養費の適正化に向けた啓発活動の推進
Ⅴ－ⅴ 自然環境					
40	多摩川・野川対象のイベント等の参加者数(人)	5,783	1,847 (多摩川統一清掃) 4,466 (その他)	↗	・水辺の楽校、多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・野川、多摩川を対象とした生きもの調査の実施 ・多摩川外来種対策としてアレチウリ駆除イベントの実施
41	雨水管渠の整備率(%)	69.0	75.5	↗	76.0
42	雨水浸透ます設置基数(基)	3,547	6,642	↗	6,822
43	樹林地・都市公園・児童遊園の合計面積(m ²)	121,310	124,075	↗	・取得候補地のリスト作成・整理 ・国・都の補助金等の調査・研究

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H27.4.1 時点の値	めざす 方向性	27年度の目標 (指標の値や取組み内容)
V－ii 循環型社会					
44	市民1人当たりの年 間ごみ排出量(kg/ 年)	274.81	257.37	↘	・これまでの取組みと併せて、特に子どもへの4Rの普及に努め、更なるごみ排出量の削減と資源化率の向上に取り組む。 ・ごみ処理経費等の積極的な情報提供
45	ごみの資源化率(%)	37.7	37.1	↗	・分別方法についての啓発活動による資源物や発火物等の適正排出の促進 ・使用済小型家電製品資源化の強化
46	資源物の資源化量の うち、集団回収分が 占める割合(%)	23.6	24.0	↗	・集団回収実施団体へのフォローアップ ・新規回収団体増加のためのPR
V－iii 環境保全					
47	市内の年間二酸化炭 素排出量(t/年)	115,256	106,252 (暫定値)	↘	・家庭・事業所等への省エネルギー及び再生可能エネルギー機器の設置促進
48	市内の太陽光発電設 備の累計設置数(軒)	317	544	↗	・住宅用太陽エネルギー利用機器設置助成金交付制度における以下の申請数の確保 【発電システム】30件 【ソーラーシステム】5件 【温水器】5件

登録番号（刊行物番号）

H27-34

平成27年度内部評価結果報告書
（平成26年度実施事業評価）

平成27年10月発行

発	行	狛江市
編	集	企画財政部 政策室
		狛江市和泉本町一丁目1番5号
		電話 03（3430）1111
印	刷	庁内印刷
頒布	価格	220円